

【1】株式会社アービズ

〒791-1114

愛媛県松山市井門町 99-1-A 号

人文学部英語英米文学科 2年次生 古山 萌

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は、興味があった IT 企業について知ること、そして、自分を色々な面で成長させることです。この2つの目的の中でも、最も私が重視したのは、自分を成長させることです。前期のインターンシップの授業で、社会人には、協調性よりも主体性が重要だと学びました。私は話し合いを行うとき、責任を負うのが怖くて、自分の意見をきちんと言うことを避けていました。そのような自分を変えて、成長するためにもインターンシップ研修に参加することを決めました。

2. インターンシップ研修先の選択

インターンシップ研修先の選択において、まず一番重視したのは、自ら考え、話し合う機会があるかどうかです。アービズさんのインターンシップは問題解決型で、企画立案ということでした。このお話を聞き、私が直面している問題を乗り越えるのに合っていると考えました。また、個別懇談会で担当の方とお話しした際、会社のことを教えてくれるだけでなく、私自身の話も興味を持って聞いて下さり、良いコミュニケーションが取れたので、この研修先にしようと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

<研修1日目>

まず午前中に、アービズさんの大体の業務説明、使用しているアプリや、インターンシップ研修中にぜひ使ってほしいアプリなどを教えていただきました。その後、取引先の打ち合わせに同行させていただき、社会人同士の話し合いに参加しました。研修初日からこのような体験をさせていただけるとは思っていなかったのですが、独特の雰囲気を味わうことができ、いい経験になりました。午後からは、SNS を使った企画を立案したり、社長さんのお話を聞いたりしました。プレゼンを聞き、図式化して考えること、生産性をあげることなど、新しい考え方や知識を得ることができました。そして、この5日間のテーマ、「時短」について教えていただきました。この「時短」というテーマのもと、アービズさんの業務改善プランを考え、最終日に提案するというのが今回の研修内容です。

< 2日目 >

アービズさんの業務改善をするためには、まず業務内容について知る必要があると考えました。そのため二日目は、社員の方々に業務内容や、困っていることなどのヒアリングを行いました。チームで質問を考えた後、各自、質問に移りました。

< 3日目 >

ヒアリングで得た情報をグループで共有しました。その後、どの業務に時短できる要素があるか、問題点、改善点はどこか整理し、まとめ、話し合いました。この話し合いが一番のポイントだと考えていたので多くの時間を費やしました。

< 4日目 >

3日目にでた問題点や改善点を解決する策を一人一人考え、チームで共有しました。お昼まで、1日目に企画した SNS を使った宣伝動画を作りました。午後からは、最終日の改善案発表に向けて話し合い、発表資料作りをしました。

< 5日目 >

プレゼン発表を行う 15時まで、解決案をもう一度話し合い、プレゼンを作りました。15時からのプレゼン発表では社員の方も時間を取ってくださり、社員さんの前で発表を行いました。その後は、質問に答えたり、評価をいただいたりする時間でした。

4. インターンシップ研修を終えて

このインターンシップを経て、良かった点と改善点が2つずつあります。

まず、良かった点として、話し合いを円滑に進めることができたことです。学年も学校もバラバラでしたが、きちんと自分の意見を言えることができました。それぞれ違う意見を持っており、意見がぶつかることも少なからずありましたが、相手の意見を否定せず、受け入れてから発言できました。話し合いがうまくいったのも一人一人が話し合いにおいて、自分自身の課題をもち意識していたからだと思います。

2つ目の良かった点として、社員の方々と良い関係が築けたことです。社員の方々に一人一人にヒアリングすることによりいろいろな人とお話しできました。また、社員の方も気さくで、お昼休みに一緒にご飯を食べたり、ごちそうしていただいたりしました。その時間に、将来のことについて相談に乗って頂いたり、悩みを聞いていただいたりしました。社員さんの今までの経験や、若いころの話も伺うことができ、とても貴重な経験ができました。

次に悪かった点として、IT の知識が少なかったということです。今回のテーマは、IT の技術を使って業務改善し「時短」というものでした。しかし、私たちのなかに、プログラムを組めたり、IT の技術に秀でていたりする人がおらず、わたしも得意ではなかったので、IT をうまく活用して、解決策を提案することができませんでした。

2つ目は、解決策が抽象的だったことです。私たちのプレゼンテーションには多くのアイデアが詰め込まれていましたが、どれも具体性に欠けたもので、実際にアービズさんで取り入れるには少し詰めが甘かったと感じています。その原因として挙げられるのが、

ヒアリングの時の質問事項に具体性がなかったということです。私たちはチームで質問内容を考えたのですが、そのときに質問内容を漠然と決めてしまい、社員さん一人一人の答えに差ができてしまいました。また、全く数値化して調査していなかったのも、プレゼンテーションを作る際にも、内容が漠然としてしまいました。

以上が良かった点と悪かった点です。改めて、研修をフィードバックしてみると、悪かった点もありましたが、今回のインターンシップの目的である、主体性をもって話し合いに取り組むことが自然とできていることに気づきました。今回、意見を出し合いアイデアを一つにまとめることはできたので、そのアイデアをいかに具体的に、現実的に応用してプレゼンできるかを次の課題にしたいです。目的を達成し、次の課題まで見つけることができたのは、自分の力だけでなく、研修仲間、そしてインターンシップを受け入れてくださったアービズさんのおかげです。5日間という短い間でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。

【2】株式会社アイクコーポレーション

〒791-1102

愛媛県松山市来住町 1288-1

経営学部経営学科 3年次生 山内 沙耶

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は、自分自身の強みや弱みを理解するためです。そのための目標を2つ設定しました。

1つ目は、その日ごとに自分がしたことを振り返るという目標です。インターンシップ中は新しいことで精一杯になっていると思うので、一通り終わったあとに自分の行動をゆっくり振り返ることで気づきがあると思われるからです。

2つ目は、質問をたくさんするという目標です。業務以外にも、他人から見た自分や質問がきっかけで意外な発見があるかもしれないと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私がアイクコーポレーションに研修に行こうと思った理由は、多くの職種を知りたいという好奇心からです。まだ社会に関する情報が乏しいので、多くの職種を体験できる研修先にしました。また、合同説明会での説明の際に元気に堂々と説明をしてくださるアイクコーポレーションの社員さんが強く印象に残ったので選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年9月11日(月)～2017年9月15日(金) (5日間)

研修時間：9:00～18:00 (初日は8:30出勤)

毎日やること：朝礼、清掃、1日の振り返り会

研修日	研修部署	研修内容
9月11日	生活情報事業部	会社見学、事業部説明、名刺作成、 事業部説明、営業同行(4件)
9月12日	生活情報事業部	編集部MTG、取材同行(1件)、原稿作成、 校正、入稿

9月13日	生活情報事業部	取材同行(1件)、原稿作成、校正、入稿
9月14日	インターンシップ チーム	自己紹介、ブレスト会議、企画案決め、 企画書作成、企画発表
9月15日	販売部	事業部説明、POP作成、報告プレゼン作成、報告会

【1日目】9月11日

初日のため、朝礼にて社員の前で挨拶をし、その後自己紹介などのオリエンテーションをしました。インターンシップ生は私を含め3人で、しっかりしている様で、私は気を引き締めていこうと思いました。

事業部の説明を受けた後、名刺作成を行いました。今回では3種類のソフトを使用しましたが、実際にKomachiのページ作成では多くのソフトを使用すると思うと1Pに多くの努力が注ぎ込まれているのだなと感心しました。

名刺作成の後、各担当に別れて営業へ向かいました。私は主にウエディング関係の営業先へ向かい、そこで営業を実際に拝見しました。いきなり本題に入らず、アイスブレイクを行ってから本題に入ったり、相手とあわせていくための工夫を見つけました。その中で話を広げるためには様々な知識が必要で、普段から様々なものに興味を持つべきだと痛感しました。

【2日目】9月12日

編集MTGのあと、各担当に別れて取材に同行しました。プライベートジムへと向かい写真撮影や実際に質問をしましたが、あまりうまくいきませんでした。目に見えるものを聞いてみると良いとアドバイスを頂き、ここでも興味を持つ大切さに気付かされました。

取材同行のあと、原稿を作成しました。短い文の中に相手が見たくなるような情報をいかにうまくいれこむかということの難しさを感じました。この日の振り返りでは、短い文で伝えることをしたので、1日の報告を簡潔にまとめることができたという評価をいただきました。

【3日目】9月13日

2日目と同様に、取材の同行を行いました。2日目の反省を生かし、うまく質問することができました。しかし、原稿作成では辛い部分が多くありました。一から構成をするので短く伝えることの難しさをより実感しました。また、時間が経つと記憶頼りにはいかなくなるので、もっとメモをとらなければいけないなと感じました。印象ワードを中心に肉付けすると良いというアドバイスを頂いたので、今後の文章作成時に生かそうと思います。

【4日目】9月14日

この日は、ブレスト会議を中心に企画発表を行いました。ブレスト会議では、とるに足

らないような案をむしろ出すべきと言われて、脳をフル活用してみるという目標の中臨みましたが、自分が思ったよりも意見が出せて驚きました。また、周りの意見と自分の違いを見て、可能性は無限大だと感じました。

企画発表では、プレゼンをするという緊張感いっぱい、相手を楽しませるということをおぼれていました。雑誌を楽しんでもらうための企画が、ただの紹介になっていたのも、目的をしっかりとって物事に臨むことを学びました。また、フィードバックでは、できたところやもっと伸ばすところを教えていただいて新たな発見をしました。フィードバックは普段からしようと思いました。

【5日目】9月15日

最終日は売上促進に関する働きと、5日間を通しての報告会を行いました。午前中は販売部にてPOP作成と書店訪問をしました。残り数日で9月号が撤去されるので、買い忘れてない？というイメージをコンセプトにPOPを作りました。POP一つにイメージがあったり、あとわずかで撤去される雑誌にPOPを作る諦めない精神があったりして驚きました。

午後は報告会がありました。社員の方に対してプレゼンをする緊張や、時間がなく練習ができなかったこともあり、思ったよりできてなかった印象でした。しかし、周りからは褒めていただきました。ここでは、自分が思うことと相手が思うことの違い、悲観的になりすぎる傾向、もっと自信をもつことの大切さを学びました。報告会、振り返りともに社員さんが良いところ、改善すべきところをしっかりと意見をおっしゃってくれたのでとても勉強になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

研修を終えて、結果的に目的、目標ともに達成することができました。自己評価はもちろんです、他人からの評価をしっかりと知ることが大事だと感じました。あまり相手に評価を求める機会がなく、できなかったというマイナスの感情ばかり溢れてきて自信を失っていることに気が付きました。自分が立派な人間になるためには、自分のいいところも悪いところも把握したうえで自信とやる気をもって物事に取り組むことだと思います。そのためには今後もいろいろなことに挑戦したり、普段から様々なことに興味をもって理解を深めたりしていこうと思います。

社員の方々には、大変貴重な体験をさせていただいたこと、たくさんの学びを享受するきっかけをいただいたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

【3】株式会社アステティックスジャパン

〒791-8057

愛媛県松山市大可賀 2 丁目 1-28 愛媛国際貿易センター内

人文学部英語英米文学科 3 年次生 渡邊 菜央

1. インターンシップ研修の目的

自分の中で曖昧な「働く」ということについて、もっと具体的なイメージを得るため。また、就職活動の際に、何を重視するかの基準を明確にしたいと思ったから。

2. インターンシップ研修先の選択

昨年度のインターンシップ研修の発表会があったとき、アステティックスジャパンに行っている学生の話聞いて、面白そうだなと思ったから。合同説明会では分科会にも行き、担当者の方のお話を聞く中で興味を持ったため選択した。

3. インターンシップ研修の内容

今回の課題「ブランディング強化」のために、まずブランディングについての基礎知識をまとめ、そこから株式会社アステティックスジャパンにあったブランディングの方法を提案した。

「SNS を利用したブランディング強化」が最終課題となり、パワーポイントにまとめ、社員さんの前で発表した。

8 月 21 日(月) まずは会社の概要について知るために、公式 HP を閲覧し、企業研究を行った。

8 月 22 日(火) ブランディングについての基礎知識をネットで調べ、まとめた。

8 月 23 日(水) これまで調べたことを踏まえ、「SNS を利用したブランディング強化」について報告することが最終課題になった。この日は、来客者にお茶を出す業務も行った。

8 月 24 日(木) 外部へのヒアリングを行うため、アポを取るメールを作成。並行して発表資料の作成を行った。

8 月 25 日(金) 発表資料のパワーポイント作成の続き。

8 月 28 日(月) 問い合わせ先のスーパーマーケットに提出する企画書を作成。

8 月 29 日(火) パワーポイントと、Word の最終確認。

8 月 30 日(水) 午前中は、あるスーパーマーケットの店長さんと面会。会社に帰って最終的なまとめをし、午後から社員さんの前で発表をした。

4. インターンシップを終えて

今回のインターンシップでは今後の課題を発見することができ、有意義な時間を過ごすことができた。研修生が私一人ということもあり最初は少し不安を感じていたが、皆さん気さくで優しく、お昼の休憩中には一緒にご飯を食べたりした。

初日に言われた目標は「ブランディング向上のための事業の調査・報告」だった。企業の知名度を上げるためどのようなことができるか、既存の事業をどのように広報していくか、思いついたことをメモすることから始まった。そしてそれを踏まえて、今回の私の最終目標が、SNS を利用したブランディング強化ということになった。まずブランディングとは何かという基本的なことから調べ、基礎知識を身に着けたうえで、株式会社アステックスジャパンの場合はどうか、ということをもとめた。

取り組みには、発行している雑誌の設置場所や、フォトコンテストのポスターの掲示場所に関して提案するという内容があった。その際、自分一人では考えが及ばず、ネットで調べるだけでは具合的な提案をすることができないと思ったため、外部の方にヒアリングを行いたいと社長に相談した。許可をいただけたので実際に企業に問い合わせを行なった。ビジネスメールの知識がないため一つ一つの文章を確認しなくてはならず、作成に時間がかかった。土日の間に問い合わせの件で進展があり、実際に訪問してお話をきいていただけることになった。休日もメールでのやりとりをしていたため、実際に働くときも休みの時も仕事のことが関係してくるのだということを実感した。自分の一つの提案で物事が進み、嬉しく思う反面、インターンシップ先の企業に対しての責任感も感じた。

後半になると疲労も溜まり、取り組みにも行き詰まりを感じることもあった。また一人での作業でどうしても単調な時間になってしまいがちだったため、自分のしたいこととやるべきことの目標時間と実際にかかる時間を計ってみた。多くの作業に想像していたよりも時間を要し、慣れないことばかりの新社会人になるとこのようなことの連続なのだろうなと思った。

最終日の午後、全社員さんの前で最終成果の報告を行った。人前で話すことが得意ではなく途中何度も止まってしまうことがあり、終わったときには自分が30分間も話していたとは気がつかなかった。人前で話すことは慣れが必要なので、余裕をもって聞き手の反応などをうかがいながら話せるようになりたい。その後、社員さん一人一人から感想と助言をいただいた。助言に関しては自分の苦手なことばかり指摘されたため、今後優先的に改善していこうと思った。中でも、発表のときもう少し自信をもって発表するともっと相手に伝わるというご指摘は、自信を持つということは長年私が不得意としていることだったので、克服したいと改めて思った。

業務としては、来客者へのお茶出しや資料発送の準備を手伝わせていただいた。なるべく効率よくできるように工夫をして取り組むなど、一つ一つの作業に対して自分で考えて取り組むことができたと思う。それでも多くの時間がかかり、働いていると時間はあっという間なのだなと思った。

資料作成に関しては、もともと、パソコンに向かっている業務は自分には向かないだろ

うなと思っており、効率が良いわけではないので、様々なことを並行して進めることが大変だった。普段、ほとんど一日中のパソコン作業を行うことはなかったため、疲労がたまり、体調管理も大切だと思った。現在の私は、エクセル、パワーポイントなどを使う基本的な事務作業に関しても能力不足だ。このことがいかに作業が滞る要因になるかを実感することができ、学生の間にも基礎的な知識と能力を身に付けようという一つの目標ができた。また、今回の取り組みを通して、ビジネスメールや、企画書やプレゼン資料の作成、報告書の作成など、今後社会に出た時必要なことを学ぶことができた。

今回、私が最も頑張ったと言えることは、自分から能動的に動くことができたということだ。提案するときには何かただ軽い気持ちの提案が実際にお会いする機会を設けていただき、結果として良い方向に収まったため、本当に嬉しかった。

思いついたことは提案してみる。駄目だったらそこで割り切り、次に生かす。今回学んだことで一番大きいことだ。今回の成功体験を自信に繋げ、今後も積極的に動いていきたい。

様々な気づきを与えていただき、研修を受け入れていただいたことに感謝している。今回の経験を今後の生活や就職活動に生かしたいと思う。

【4】株式会社ありがとうサービス

〒794-0832

愛媛県今治市八町西 3 丁目 6-30

人文学部社会学科 3年次生 川島 夏子

1. インターンシップ研修の目的

私が、インターンシップ研修に参加した目的は3つある。

1 つ目は、社会に出て働くということはどういうことなのかを見つけることである。2 つ目は、現在の自分の長所と短所を見つけることである。3 つ目は、社会人として最低限必要なマナーを少しでも多く身につけることである。

いずれの理由も、大本はこれからの就職活動に向けての糧にしたいという考えからきている。私は、以上の目的を持って今回のインターンシップ研修に参加した。

2. インターンシップ研修先の選択

私が、株式会社ありがとうサービスさんを研修先に選択した理由は3つある。1 つ目は、単純に会社名が気になったからである。「ありがとう」という言葉がついている会社名というのは珍しいなと思い、なぜつけたのかを社員さんに直接聞いてみたかったのだ。2 つ目は、個別面談会でお話を聞いて株式会社ありがとうサービスさんのお仕事にとっても興味を持ったからである。私は、もともと公務員系のインターンシップ研修を選択しようと考えていた。しかし、株式会社ありがとうサービスさんの事業の1つであるリユースについても興味があり、この機会にリユース事業について知りたいという気持ちが起こり、このような選択をした。3 つ目に、面接やマナーについてご指導いただけるということである。事前に受講したインターンシップ活用 I で学んだことを実際に使えるかを試すよい機会になるのではと考えたのである。以上の理由から、私は株式会社ありがとうサービスさんを研修先に選択した。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月25日（金）～8月29日（火） 合計：5日間

日付・研修場所	研修概要
8月25日（金）ブックオフ松山駅前店 ありがとうサービス本社	自己紹介 会社紹介 グループワーク 社長インタビュー参加

8月26日(土) ありがとうサービス. 夢スタジアム (今治市)	親善試合のサポート (ドリンク配布、スコアボード係など)
8月27日(日) オフハウス松山中央店 ホビーオフ松山南店 ブックオフ松山駅前店	発声練習・業務体験 (オフハウスにて) 現場見学 グループワーク
8月28日(月) ありがとうサービス本社	社員会に参加・プレゼンテーション 先輩社員さんとの座談会 社長タイム出席
8月29日(火) ブックオフ松山駅前店	面接指導 夢を描いて表現しよう (作成&発表) グループワーク・まとめ

〈8月25日(金)〉

1日目は、はじめにインターンシップ研修生5名と担当者さん2名の計7名で自己紹介をした。その後、ブックオフ松山駅前店からありがとうサービス本社まで移動し、法政大学の学生が企業訪問でありがとうサービスさんのI社長にインタビューする場に同席させていただいた。会社設立の経緯や福利厚生、将来のビジョン、人間関係の大切さなどI社長さんが自ら答えておられた。

〈8月26日(土)〉

2日目は、今治市に完成したありがとうサービス. 夢スタジアムにて行われたサッカーの親善試合のサポートを行った。サポートの内容としては、ドリンクブースの設置・配布、ボールボーイ係、スコアボード係などである。この日をとおして、会社の地域貢献を実際に体感することができた。

〈8月27日(日)〉

3日目は、オフハウスとブックオフで現場研修を行った。オフハウスでは、発声練習と棚卸を行った。ブックオフでは、値下げ作業とコミックのクリーニングを行った。業務を正確に行うことに意識が向きすぎて、お客様への挨拶を怠ってしまうこともあり、周囲の状況を把握しながら仕事する必要があることを学んだ。

また、ホビーオフとオフハウスでは見学と社員さんへの質問を行った。どのように価格をつけているのかなど普段ではなかなか聞けないお話を聞くことができた。

〈8月28日(月)〉

4日目は、社員会に参加し、2組に分かれてプレゼンテーションをした。プレゼンテーションを作る過程でどれだけ短くても決められた時間内に仕上げることの大切さを学ぶことができた。

その後、先輩社員さんと座談会を行い、インターンシップ生が事前に考えてきた質問に答えていただいた。就職活動をする上で気をつけていたことを実際に聞くことができ、今後の参考になった。

〈8月29日（火）〉

5日目は、ブックオフにて朝礼に参加した。朝礼では、経営理念などの共有する価値観を全員で唱和した後、社長からの一言が読まれた。

その後、担当者さんに面接指導をしていただいた。前期の講義内で、ある程度ポイントを学んでいたはずだが、いざとなると緊張してしまい、練習することの必要性を感じた。また、担当者さんからもアドバイスをいくつかいただくことができたので、就職活動までに直したいと思った。

そして、「夢を描いて表現しよう」ということで、A4用紙に切り抜いた写真や言葉を使って自分の夢や願望を表現した。自分がどういう社会人になりたいのか、また、どういうことをしたいのかということ表現することで自分の中にあるイメージがはっきりとしたものになった。

4. インターンシップ研修を終えて

わたしは、この5日間をとおして業務体験や面接指導ももちろんなのだが、プレゼンテーションや将来の夢について考えるなど、日頃やってこなかったことを体験することができた。また、I社長さんや担当者さんをはじめ多くの社員さんとお話することもでき、これから実践していきたいと思うことも教えていただいた。なかでも、「表情や言葉をポジティブなものにすると行動や思考も変わり、その先の運命や人生も変わっていく。」ということまさに今、実践できることだなと思意識し続けている。

そして、これらを経て自分のなかで働くとはどういうことかについて得るものがあった。それは人のために動くということだ。目の前や自分の周囲にいる人たちのために何かをすることはもちろんのこと、その先にいる自分の目に見えないところにいる人のためにも動くことができることが働くということではないだろうか。

今回のインターンシップ研修は、本当に得るものが多くあった。しかし、得たものをそのままにするのではなく学校生活や就職活動、ひいてはその先の職業人生に生きるようにしたいと考えている。

最後に、株式会社ありがとうサービスの皆さま、貴重なお時間をインターンシップ研修に割いてくださり本当にありがとうございました。

【5】社会福祉法人育和会久万保育園

〒791-1201

愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 1447

人文学部英語英米文学科 3年次生 村上 哉太

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップを受けた理由として、保育ボランティアとしての活動だけではなく、実際に保育現場で働き、保育現場の一日の流れを体験したいと思ったからです。保育士の資格試験に向けて勉強している今、保育現場の大変さややりがいを現場から多く吸収したいと思っていたため、インターンシップ研修を受けました。

2. インターンシップ研修先の選択

いくつか保育現場が合同説明会にご来場している中、子どもたちの笑顔の写真が数多くある現場、保育が楽しいということがひしひしと伝わり、説明が非常に丁寧だったため、この保育現場しかないと思い、志望しました。面接が自分一人であったため多くの説明を受けることができ、面接で必要な積極性が出せ、これが自分にとって、成長のチャンスになる現場に違いないと思ったことも志望理由の一つです。

3. インターンシップ研修の内容

日付	曜日	研修内容
9/4	月	それぞれのクラスで園児と遊ぶ
9/5	火	2歳クラスで活動
9/6	水	3歳クラスで活動
9/7	木	1歳クラスで活動
9/8	金	5歳クラスで活動

「9月4日(1日目)」

初日は、外遊びからスタートしました。午前中は、様々な年齢の園児と触れ合いましたが、人見知りする子どもが多く、苦勞した。一人である子供に声をかけること、危険なことに注意して危険を未然に防ぐことができるよう注力した。午後からは、5歳クラスに入り、昼食後はお絵かきをするなど室内遊びをした後外遊びを行った。このクラスは、人見知りをする子供は少なかったため鬼ごっこなど子どもたちと数多くのコミュニケーションを図って、1日目は終了した。気づきとしては、年齢によって自身で考えることができるか、保育士がどれほどのサポートを行えばいいのか臨機応変に取り組まなければならない

ということです。子どもの判断力では危険を未然に防げないことや喧嘩をしたりすることが多々ある。保育士が広い視野を持ち、保育に努めなければならないと把握しました。

「9月5日(2日目)」

2日目は、2歳クラスについて。保育ボランティアでは経験したことのなかった年齢であったため保育士の方々の活動を見ながら笑顔に気をつけながら活動を行うことを心がけた。この年齢は寝かしつけがあるため、布団の準備を行って寝かしつけを行った。子どもの差によって、すぐ眠りにつく子やなかなか寝付かない子がいたり苦労が多かったが、寝顔を見て癒されたりとこれも保育士のやりがいの1つだと感じた。寝かしつけを行ったことがなかったのでいい経験となった。それが終わった後清掃活動を行った。子どもたちはすぐあらゆるものを口に入れるため消毒作業を行った。また、ものが散らばっていないか点検を行った。気づきとしては、積極的に話しかけていくにつれ子どもたちから近づいてきてくれるため意識していかなければならないということです。笑顔も大切にしていこうと子どもたちも「この絵本読んで。」と近づいてきてくれたので、保育士の活動方法によって保育の質が大きく変わってきてしまう。責任感がなかったわけではなかったが、いろいろ考えさせられた。

「9月6日(3日目)」

3日目は、3歳クラスを担当しました。絵本などの室内遊びを中心に活動を行いました。昼食の見守り、介助を行った。好き嫌いや気分で食べる量が左右されてしまうので特に苦労した。寝かしつけを行った後園庭の清掃活動を行った。子どもたちの反応を見ると楽しそうに活動していたので自身の活動がしっかりできていたように思う。気づきとして、1人でやりたい意識が芽生え始める年齢なため、保育士のサポートのレベルを見極める必要があるように思った。保育士のサポートが時として子供の成長を遅らせることにもなりかねないからだ。それぞれの子供たちの成長段階に応じて行動しなければならないのは保育士の仕事の難しさであるように感じた。

「9月7日(4日目)」

4日目は1歳クラスを担当しました。クラスに入った途端、人見知りがあり大泣きする子が多かったため不安があったが、人見知りがないことを中心に活動に取り組んだ。この年齢は、養護と介助が必要不可欠で保育士がどれほど子供たちの気持ちをくみ取ることが出来るかだと気付かされた。寝かしつけの際もほかの子供の泣き声で起きてしまうこともあるので迅速に対応することと実際に現場で数多くの経験によってなせる業だと感じる場面が多かった。優しく抱っこして極力穏やかに接することを心がけたことによつてくれた子供もいてやりがいを感じた。

「9月8日(5日目)」

最終日は、多少の馴れもあり、初日に多くのコミュニケーションを取っていたので、活動しやすかった。子どもたちに考えさせ活動させることが出来たのは大きい成果であったように思う。子供たちがケンカしそうな時など必要に応じてある程度臨機応変な行動がとれていたように思う。今回のインターンシップでの一つの成長であると感じた。最後に先

生と子供たちから「かなたせんせいありがとう」とプレゼントと歌をもらったのはこの 5 日間自分なりに考えて行動してきてよかったなと感じたのと同時にこれが保育士としてのやりがいなのかもしれないと思った。

4. インターンシップを終えて

インターンシップを終えて、子どもの気持ちをくみ取ることは非常に難しいと改めて実感した。なおかつ広い視野を持って危険を未然に回避しなければならないので、慣れが必要なのでそれもまた社会人として働くということなのだと思った。残りの学生生活の中で社会人として働く際に、自分が何を武器として働くか、考え、意識して磨いていきたい。責任は非常に重たいものだが、その分活動の幅も広がり、やりがいもついてくる。保育士の資格試験の勉強にも非常に有意義な活動になった。毎日年齢の異なるクラスに配属していただいたため、今の自分に必要不可欠な活動だった。丁寧に教えてくださったため、能力の低い自分が活動をしっかりできたためこの活動を活かして残りの学生生活にどのように生かしていくかより明確になってきたためインターンシップの授業を受講したことは非常に有意義だった。目標としては、子どもそれぞれの個性を明確に把握していくこと。それは日ごろの学生生活の中で人間関係などから意識していきたいと思った。

【6】社会医療法人石川記念会H I T O病院

〒799-0121

愛媛県四国中央市上分町 788 番地 1

経済学部経済学科 3年次生 湊 佳晃

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップを研修した理由は、3回生になり来年には就活を控える学年になりインターンシップ研修を行い自分のやりたいこと、どんな仕事に向いているのかを知ることによって就職への意識を高めようと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

3回生になり自分は就職を決める際に何を重要視しているのかを考えたときに地元である新居浜で就職したいというのが一番だと分かりました。新居浜には大きな病院があり、隣の西条にも大きな病院があるという事で病院での仕事に就こうと思いました。しかし、今まで病院で働くという事を考えたことがなく、医療事務という仕事についても全く知識がありませんでした。そこで、合同説明会の際に HITO 病院の全体会と個別会に参加してここで研修して医療事務を学ぼうと思い石川記念会 HITO 病院を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

一日目は人事課で研修しました。内容としては、まず朝礼に参加させていただき 40 人近くの関係者の前で自己紹介と抱負を述べました。研修の前日から事前に考えていたので自分が言おうと思っていたことをしっかり言えて、言葉遣いの面でもしっかりとできたので事前の準備というのは本当に大事だなと感じました。その後、院内見学で院内全体を回り、病院はいろんな状況を想定して造られていて患者が過ごしやすい、医者が治療に集中しやすいようになっていました。そして人事課の事務作業として社員の出勤簿の整理や就職案内のパンフレットを送る看護学校と看護大学の記録を作りました。出勤簿は社員の給料に関わる事なので非常に大事な仕事で、看護学校の記録も作業としては地味ですが、この病院に来てもらうためには必要不可欠な仕事で、病院にとって大きな役割をもっているなどおもいました。

二日目も人事課で一日目と同じことをして、電話対応と名刺の受け渡しのマナーについて人事課長に教えていただきました。電話対応は院内と院外で対応が違って、院外の人と電話するときにはメモをできる環境を作り、名前、用件、電話番号などを正確に聞き他の人への用件であればそれをその人に伝えなければならないし、院外の人と対話すると

きは上司の名前を呼ぶときはさんなどはつけずに名前だけで呼ぶという事も学び社会での電話は日ごろの自分の電話とは大きく違い、日ごろの電話から気を付けていかないといけないと思いました。

三日目は財務経理課で研修しました。病院での昨日の売上金を処理したり、請求書をまとめてその金額をExcelにまとめる作業をしました。現金を扱う部署なので責任が大きいし、記入で1円でも違えば何回でも計算をしないとイケないのでとても神経を使いました。この部署で仕事を経験して自分はパソコンの技術が足りていないなと感じました。Excelをもっと使えるようになることで効率的に進めることができるのでパソコンのスキルを上げていこうと思いました。

4日目は総務監理課で研修しました。まず亡くなった人の親族の方への送付状を作成しました。ご家族の手へ実際に届くものなので丁寧に細かいところまでしっかりと作成しました。そして院内の修繕確認を行いました。すべての階を確認してみると壁に擦り傷があったり、入院室では汚れがあったりしました。ほんの少しの傷や汚れですが、患者様であったり親族の方が安心して気持ちよく過ごせる環境を作るためには必要な仕事であると思いました。確認のために回っている時も患者様が声をかけてくださったりして患者様とのコミュニケーションも大事だなと思いました。

5日目は購買課で研修しました。ここでは医者や看護師がスムーズに仕事ができるように針やおむつ等を補充する仕事でした。患者様とも関わることがほぼない部署なので病院にとっては裏方的存在でした。しかし購買課がいないと、器具の発注や補充ができずに患者様に良い治療ができないのであまり目立つ仕事ではないですが、非常に重要な部署であると思いました。

6、7日目は医事課で研修しました。この部署では早速、受付に立ち実際に患者様と関わりました。患者様に処方箋を渡したり、患者様が診察を終えたあとのレセプトの回収であったり、名前を呼んだりして会計をしました。研修に来て初めて患者様と直接関わったので最初は緊張しましたが、患者様がありがとうございますと言ってくれたりお疲れさまと声をかけてくださり徐々に緊張もほぐれて笑顔で対応することができました。受付は患者様が病院で最初に立ち寄るとこなので、病院の第一印象を決めるところだと言われて確かにそうだと思います。また、笑顔で言葉をはきはき正確に伝えることはもちろん、会計の方法がわからなかったり場所がわからなかったりしている人を自分たちから声をかけていくことが大事だと感じました。

8日目は健診センターで研修しました。この部署では人間ドッグや生活習慣病に不安がある人が来るところで、仕事としてはその検査結果をまとめたり、案内したりしました。研修した日は、院内の看護師の健康診断の日だったので受付で登録して案内などを行いました。健診センターに来られる方は前日から食事をとれないのでイライラしている人もあるので気を遣い、細かなとこまで気配り、目配りが大事な部署だと思いました。

9、10日目は人事課で研修しました。9日目は看護学校訪問に付き添わせていただき、看護師の状況や看護学生の就職先についての情報などを聞きました。看護師はまだま

だ足りておらず、病院側から伺って就職してもらおうという状況で、来ていただくために直接話して誠意を見せることが大事だと思いました。10日目は実際に面接を行っている人事課の方に模擬面接をしていただきました。私がこれまでしてきた面接とは違い、深いところまで質問され、うまく答えられないところもありました。まずは自分を知ってどんな質問がきてもはきはきと答えることができる力が必要だと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を終えて、私は働くというのは大変ですが、人のために何かをするというのは相手も嬉しいし、自分も嬉しいのでやりがいがあると思いました。実際に仕事を経験することで自分の考え方が大きく変わり、これからの学生生活に良い影響を与えられると思います。研修先の方々は皆さん本当に優しく、わからないことも丁寧に教えてくださりました。医療事務という仕事について理解を深めることもでき本当に収穫が多い研修になりました。

【7】一宮運輸株式会社

〒792-8584

愛媛県新居浜市西原町 2-4-36

経済学部経済学科 2年次生 森 久也

1. インターンシップの目的

私がインターンシップの研修に参加した目的は二つあります。

一つ目は社会の厳しさを知ることです。私は大学を卒業して、社会に出ることに不安を感じています。社会に通用できる人材になることができるか、耐えきれなくなって途中で仕事を辞めてしまうのではないかと心配です。アルバイトを始めても簡単な仕事なので自分が仕事を将来するという実感がわかりません。そこで、インターンシップという実際に仕事ができる機会をいただき社会の厳しさを学ぶことにしました。

二つ目は足りないスキルを身につけることです。私はあまり勉強ができない方だと思っています。だから、仕事をする力がないと感じています。だから二回生のうちに自分の足りないスキルを見つけ、取得できるようにこの研修をいかして一つでも成長していきたいと思います。

この二つの目的より、インターンシップ研修を通して自己分析をし、別の視点から勉強することにしました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来何をしたい、何になりたいなどの夢がなく、困っていました。二回生ということで、いい研修先にはいくことは出来ないと思っており、少し疑問に思うことをすることにしました。それは商品が届くまでの過程です。

私はアルバイトで品入れ品出しをしており、商品を入れる作業や決められた数だけ出すピッキングを何気なくしていました。ある日、企業に荷物が届くまでの過程が気になり、合同説明会で運輸をしている企業をさがしました。そこで見つけたのが一宮運輸株式会社でした。個別面談時、すごく親切にいただき、熱心だと思ったのでこの企業にしました。また、老舗ということでこだわりや、強みがあって面白そうと思い選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 9月4日～9月8日までの5日間

日付	主な実習内容
9月4日	インターンシップ実習説明 自己紹介、会社概要説明、スケジュール確認 安全品質部研修 経営方針 安全最優先、当社における安全の取り組み、コンプライアンスについて 冷凍倉庫見学 冷凍倉庫見学・作業内容説明、食品冷凍保管・管理・荷役、情報処理：作業帳類説明 一般倉庫見学 一般倉庫見学・作業内容説明、製品保管・管理・荷役、情報処理：作業帳類説明
9月5日	フレッシュ現象見学体験 輸送業務同乗体験 リサイクルセンター見学体験 静脈物流、廃棄物処理、リサイクル事業の取り組み 総務課研修 売上、検収の仕組み、会計システムの活用、月次/年次決算、予算立案、10日単位収支予想
9月6日	AST 就業体験 就業時、事前研修、医療品等についての基礎知識、実務についての基礎知識、医療品入庫業務、入庫設定バラ・梱包、医療品棚積業務、緊急補充・通常補充、オリコン等の棚積み、医療品ピッキング業務
9月7日	AST 就業体験 医療品 DAS 検品業務、食品・消耗品 入出庫業務、医療品以外の入出庫
9月8日	今治支店研修、トラック乗務体験

研修に対する考察・反省

<9月4日>

一宮運輸は規模が大きく、とても安全に気を付けており整理、整頓、清掃、清潔、躰、習慣の6S活動をしていました。特に、危険物の取扱には厳しく、保存状態や、包装がしっかりしていることが分かりました。企業間のかかわりが多くあり、他の業者さんが、インターンシップ中に一宮運輸に来ていらっしゃっていたので、少し驚きました。

<9月5日>

今回の研修では、いろいろな仕事があることが分かりました。教育委員会からの仕事や、

新居浜市からの仕事など、あまり想像できなかったことを体験することができました。人と多くかかわることができたので、積極的に話しかけるなど、関りをつなげたいです。

<9月6日>

AST へ行き、医療品の管理から、出庫まで、一連の流れを見学しました。医療品なので厳重に管理されており、表彰をされるぐらいなので、すごく学ぶべきことが多かったです。特に気になったのは検品のシステムで、商品を入れるところを機械が視覚的に教えてくれる動作に興味を持ちました。少しの傷や、場所を間違えたら、大事なので、丁寧に仕事をすることが大切ということ学びました。

<9月7日>

入庫から出庫までをしました。AST では、検品が厳重に行われており、ヒューマンミスの軽減を特に気を付けていました。毎回目標が設定されており、指差唱和をし、工夫されていました。私にとっては難しいことでしたが、頑張っについて行けたかなと思います。総務部では予算立案の10日予想が気になり、売上を上げる取り組みを10日単位で行っていることに驚かされました。

<9月8日>

通関のことを今治市支店で学びました。倉庫など、海外の保管されるものがある場所は、外国で保管されているとしていて、倉庫から出庫するとき、通関士を通して海外との取引をしていることが分かりました。とてもコンテナが大きくそれを運ぶ作業を慣れているのがすごいと思いました。

トラック乗車体験では、高い位置から広い視野でみることができました。事故が起こらないようにヒューマンミスをへらす工夫をされていて面白いと思いました。

4. インターンシップを終えて

5日間という短い間でしたがとても濃い内容でした。運輸というあまり日常では見ることができない仕事でしたが今回のインターンシップで物流の素晴らしさを実際に体験して学ぶことができました。従業員の方々にはとても優しくしていただき、お忙しい中にも関わらず質問や相談など丁寧に返答していただきとても感謝しています。そのため楽しく学ぶことができました。私は研修先で思ったことが二つあり、一つ目はビジネスマナーが身につけていないと感じたことです。従業員の方々には言葉遣いや電話対応がしっかりしていると思い私にはできないことと感じました。二つ目は整理整頓が徹底されていることです。書類や道具など置く場所が決まっておりスムーズに仕事が行える環境にされていました。この二つが私の課題と感じました。

一宮運輸の従業員を目標にし、インターンシップで学んだことを生かし、少しでも近づくことができるようにこれからの二年間頑張りたいと思います。5日間という短い間でしたが本当にありがとうございました。

【8】伊予鉄道株式会社

〒790-0012

愛媛県松山市湊町4丁目4番地1

経済学部経済学科 3年次生 後藤 悠太

1. インターンシップ研修の目的

私が今回インターンシップ研修に参加した目的は3つあります。1つ目は、安心感を与えられる笑顔をつくれるようにすることです。私は笑顔が苦手で、第一印象があまり良くないと思っているため、今回、接客業を通してお客様に安心感を少しでも与えられる笑顔ができればいいなと思ってこの目的を設定しました。2つ目は、説明力を身につけることです。相手に物事の説明を明確に行うことは、とても難しいことだと思います。また、説明力は社会人にとっても重要なことなので、ぜひ身につけたい能力だと思います。3つ目は、将来どのような人間になりたいかを実際の職場を通して考えようと思ったからです。私は、将来の夢が明確にはないので、インターンシップ研修を通して考えてみようと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

上記でも記したように、笑顔づくりや、説明力を身につけるために多くの人と関わることのできる企業にいきたいと思い伊予鉄道株式会社を選択しました。職場の方々が、お客様に対してどのような対応をしているのかを間近で見学し、ぜひ体験してみたいと思っていたため伊予鉄道株式会社を希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月29日（火）～9月4日（月）土日休日 合計5日間

○1日目：8月29日（火）

1日目は伊予鉄道本社と車両課で研修させていただきました。伊予鉄道本社では、自己紹介、オリエンテーション、坊っちゃんミュージアム見学、伊予鉄道の従業員として必要な能力を身につけるための講座を受けました。講座では、滑舌のトレーニングや発声練習、笑顔の作り方等の接客力、ビジネスマナーについて学びました。また接客力に関してのDVDを観て、言葉遣いや礼の仕方など社会人には欠かせないことを学びました。車両課では、車両の点検作業、部品の組み立て等が行われている工場の見学に行きました。鉄道といえば、運転手に目が行きがちですが、工場で見学を行っている方々のおかげで運転が

可能になっているという鉄道を支えている人らの仕事を見ることができました。また、車両内アナウンスや、運転席に座る体験をさせていただいて初めての経験ばかりで、とても良い思い出になりました。

○2日目：8月30日（水）

2日目は、松山市駅で就業体験をさせていただきました。まず、業務内容の説明、施設の見学を行いました。そのあとは、北口改札口で切符切り、誘導・案内業務を行いました。切符切りは人生で初めてのことでとても良い経験になりました。誘導・案内業務は、駅員さん補助のもとで行いましたが、とても難しいと感じました。お客様が何を聞きたいのかをくみ取るのがとても難しく、また駅名や場所の名前も完全には把握していなかったので案内するのも苦労し、残りの日にちの間に改善しようと思いました。

○3日目：8月31日（木）

3日目は、映画「真夏の方程式」のロケ地にもなった高浜駅で研修させていただきました。まず、駅周辺のゴミ拾いを行いました。そのあと、2日目と同様、改札口で切符切り、誘導・案内業務を行いました。市駅とは異なりお客様が少なく、落ち着いて業務をおこなうことができました。お客様とも駅員さんともゆっくりお話しすることもでき、これからの人生におけるアドバイス等もいただいてとても良い勉強になりました。海もすごく綺麗で、空気も美味しく3日目はリラックスしながら就業体験を行いました。

○4日目：9月1日（金）

4日目は、松山市駅で2日目、3日目同様、北口・南口の改札口で切符切り、誘導・案内業務を行い、そのあと社内施設見学をさせていただきました。4日目は、2日目・3日目の経験のおかげでスムーズに接客できました。助役さんにも良い声と良い笑顔で接客できていたとお褒めの言葉もいただきました。社内施設見学では、運転指令所を訪れて、機材の説明や質疑応答を行いました。社員の方でもめったに入ることのできない場所を見学でき、とても良い経験になりました。

○9月2・3日（土、日）休み

○5日目：9月4日（月）

5日目の最終日は、伊予鉄道本社で研修を行いました。坊っちゃん列車の乗車体験と先輩社員の方とお話し、イベントの企画を行いました。坊っちゃん列車には初めて乗ったのですごく楽しい思い出になりました。先輩社員の方とは、仕事のやりがいについて、学生の間でやっておくべきことなど多くのことを質問して、アドバイスももらったのでとても良い機会となりました。イベント企画については、鉄道の日に行うイベント内容をインターンシップ生で企画し、発表するというものでした。最初は、なかなか話が進まず、不

安でしたが途中で担当者さんがアドバイスをくださり、そのあとはスムーズに話を進めることができ、楽しく話し合いながらグループワークを行えました。発表では、人事課の方に聞いていただき、改善点やアドバイスをいただきました。改善点が多くあったので、次の機会までに改善したいと思います。いろいろな人の、考え方や発想に触れることができ、とても良い勉強になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

伊予鉄道株式会社の研修を終えて、学んだことが3つあります。1つ目が、笑顔です。笑顔には、周囲の人々に安心感を与える力があり、また常に笑顔であれば、愛される人間になるということがわかりました。駅員さんの方々は、常に笑顔でお客様と接していました。私もこれからの学生生活や就職活動では常に笑顔で臨みたいと思います。2つ目は、挨拶です。私は、今まで特に何も意識せずに挨拶をしていましたが、元気よく、滑舌良く、心を込めて言うほうが、好印象を与えお互いの気持ちも心地よくなるということに改めて気づかされました。3つ目が、将来の夢についてです。私は将来就きたい仕事がありませんでしたが、今回のインターンシップ研修で接客業も楽しそうだと感じました。

最後に、お忙しい中インターンシップ研修を受け入れてくださりご指導して下さった伊予鉄道株式会社の研修担当者様をはじめ社員の皆様には大変感謝しています。この5日間で学んだことを今後の学生生活や就職活動に活かしていきたいと思います。

【9】医療法人財団尚温会伊予病院

〒799-3101

愛媛県伊予市八倉 906-5

経営学部経営学科 3年次生 渡部 千晴

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は、働くとはどのようなことなのかを知ることです。私は、アルバイトはしているのですが、社員の人がする仕事はやはりアルバイトとは違うと思うので、仕事内容の多さや、責任の重さ、社会人の常識などインターンシップに行かなければ知ることができないことを、知りたいと思いました。

また、将来の方向性を決めるためにもインターンシップに行きたいと思いました。私は、まだ将来が漠然としているので、一つの将来を決める始点となればいいなと思います。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、今でも就きたい職業と聞かれても本当にそれでいいのか、向いているのかと思う時があります。そこで、興味のある事務関係に行って、自分に向いているのかを知りたかったので、伊予病院を選びました。また、医療事務の分野を選んだ理由は、資格がなくても働けるという点に惹かれたということと、知らない言葉が飛び交う職場で、どれだけ理解できるのかが知りたかったということと、保険のことに無知なので少しは勉強できるのではないかと思い、選びました。

3. インターンシップ研修の内容

8/21(月)～8/24(木) 4日間

8/21(月)	8:30～9:30	オリエンテーション(朝礼、自己紹介、病院内案内)
	9:30～12:00	午前受付(診察・リハビリ・入院受付、外来費の会計)
	13:00～15:00	クラーク業務(伝票の貼り付け、リハビリ実施計画書の印刷・封筒作り電話対応の説明)
8/22(火)	15:00～16:30	午後受付(リハビリ受付、外来費の会計、病棟名札作成)
	16:30～17:10	レポート作成(学んだこと、反省など)
	8/22(火)	8:30～12:00
8/22(火)	13:00～15:00	クラーク業務(伝票の貼り付け、リハビリ実施計画書の印刷・封筒作り、電話対応の説明)
	15:00～16:30	クラーク業務(伝票の貼り付け、病名の打ち込み)

	16:30～17:10	掃除、レポート作成(学んだこと、反省など)
8/23(水)	8:30～12:00	クラーク業務(カルテ作成、事務用品の補充、封筒作成、用紙のコピー、伝票の貼り付け)
	13:00～15:00	午後受付(リハビリ受付、入院費・外来費の会計、内線での電話対応、精算)
	15:00～16:30	午後受付(リハビリ受付、入院費・外来費の会計、精算)
	16:30～17:10	レポート作成(学んだこと、反省など)
8/24(木)	8:30～9:30	クラーク業務(請求書の郵送、外線での電話対応、入院費の請求書作り)
	9:30～12:00	クラーク業務(入院費の算定、リハビリ実施計画書の印刷・封筒作り、退院カルテの整理、伝票の貼り付け)
	13:00～15:00	外来打ち込み(リハビリカルテの出し入れ、リハビリ算定・記入・確認、保険証の確認・コピー)
	15:00～16:30	退院処理(入院伝票の作成・確認)
	16:30～17:10	レポートを作成(学んだこと、反省など、お礼の言葉)

8/21(月)

まず、朝礼があり、そこで自己紹介をし、その後、オリエンテーションでは、病院の規則や病院内の案内をしていただきました。受付にいと、場所を把握しておいた方がいいとのことでした。次に、午前受付をしました。診察の受付とリハビリの受付と入院の受付を実際に見ながら、教わりました。

午後からは、クラーク業務を教えてくださいました。そこでは、カルテの作成やレセプトの管理の重要性を学び、実際にカルテに検査結果などを貼ったり、カンファレンスに使う計画書の確認をして、記入漏れの場合には、パソコンで打ち込んで印刷をしたりしました。また、電話対応では簡単に説明を受け、取ってみることになったのですが、職員の方のほうが取るのが早く、取れませんでした。午後からは、受付をしました。午前と業務は変わりませんが、朝とは違い、リハビリの方を中心に受付をしました。また、明日入院する方の病棟名札の作成もしました。

8/22(火)

朝礼から始まり、朝の設置・準備などをしました。午前受付では、入院の方がいらっしゃる前に、入院準備で書類の準備や入院者の登録を行いました。この日は、午前だけで6人入院とのことだったので、とてもバタバタしていました。入院の受付は書類確認が重要なので、見学をしました。それ以外は、診察とリハビリの受付と会計を行いました。

午後からは、クラーク業務で、伝票の貼り付けやカンファレンスに使う用紙の確認と印刷をしました。電話対応では、対応の仕方を丁寧に教えてくださいました。次に、他の階の伝票の貼り付けや、先生が記入した病名をパソコンで打ち込む作業をしました。

8/23(水)

朝礼から始まり、午前はクラーク業務を行いました。入院してくる患者さんのカルテの

作成や、病棟の詰所内の事務用品の補充、患者さんに渡す封筒の作成、足りない用紙のコピー、伝票の貼り付けを行いました。午後は、受付をしました。1、2日目同様同じ業務を行ったり、受付にいらっしゃった方や荷物等のことを、内線電話で職員の方に連絡したりしました。

8/24(木)

朝礼から始まり、午前は、クラーク業務で、入院費の請求書を作りました。また、外線の電話を取りました。あまり電話は得意ではなく、明確に聞くことができず、担当の方が助けてくださいました。失敗はしましたが、とても貴重な体験ができました。そして、入院費の算定という医療事務ならではの業務を行いました。いろいろな決まりがあり、難しさを感じましたが、教えていただきながら行うことができました。退院した方のカルテ作りでは、閉じていく順番があり、それを見ながら行いました。

午後には、受付で受け取った診察券を元にカルテを探して、受付に渡す作業をしました。また、リハビリの算定で打ち込みをしたり、記入やハンコを押したりという業務を行いました。退院の処理では、入院伝票の作成をしました。そして、インターンシップ最終日なので、事務長やお世話になった職員の方々に挨拶をしました。

4. インターンシップ研修を終えて

この4日間では、専門的なことも学びましたが、一番は、社会人として当たり前なことは何なのかということ、コミュニケーションの大切さを実際に見ることができました。また、業務中には、いろいろ話しかけていただいたりして過ごしやすい環境でした。そのため、私からも聞きやすく、いくつか質問をすることで知らなかったことも知ることができました。そして、担当の人が1人というわけではなく、たくさんの職員の方々と話すことができ、さまざまな体験談を聞くことができました。初日には、事務長さんから、「大学では身につけられないものをポイントポイントで押さえていくといい」とアドバイスを受けました。この4日間色々な業務を体験させていただいたことで、頭が混乱しそうになることもありましたが、1日1日ポイントをつかむことで、整理しながら学ぶことができました。受付では、姿勢や笑顔、電話では、はっきりと明るい声で素早い対応、クラーク業務では、確実性・正確性と多くの力が必要であることを、このインターンシップで学べたことは、とても貴重で私の将来にも重要な力だと思います。このような機会をいただけて本当にありがとうございました。自分の目標であった、考えて行動する場面はあまりなく目標達成することはできませんでしたが、このインターンシップ研修を生かすために、今後の大学生活では、目標を明確にして、一つ一つ確実にやるべきことをやっていきたいです。

【10】株式会社ヴァンサンカン

〒790-0002

愛媛県松山市二番町4丁目2-18

経営学部経営学科 2年次生 藤田 紗奈

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は大きく2つあります。1つ目は、自己理解を深めることです。学生生活やアルバイトでは体験したことのないような環境に置かれたとき、自分にどんな能力があるのか、これから何を身に付けなければいけないのかが再確認できる良い機会になると思いました。

2つ目は、私の専攻の流通・マーケティングについて、今後の研究にプラスになることを吸収することです。これまでに学んだことを実際に体験したり、拝見したりすることで今後の研究の絞り込みに繋がり、また、将来自分がどういう職に就きたいかが明確になると思いました。

この2つの目的の達成のため、様々な人と交流し、多面的な考えを知ること、指示されたこと以外に挑戦することを目標とし、研修に参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が、株式会社ヴァンサンカンを選択した理由は大きく3つあります。1つ目は、社員全員が女性であることです。女性が働くことは、結婚、出産、育児と様々な状況に対応していかなければならず、どんなシステムで産休や育休をとり、助け合っているのか、女性の生き方に興味があり、説明会の際の話し方や表情、姿勢などがとても美しく、こんな女性になりたいと率直に感じました。二つ目は、説明会の際に特に広告活動を行っていないことを伺いして疑問を持ちました。私自身肌が弱いのもっとこのような化粧品と出会いたかったと思ったからです。いかに顧客を呼び込むのか、固定顧客を生むかを実際に見てみたいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月8日(金)、11(月)～15日(金)、23日(土) 6日間 (木は除く)

9月8日	9:00～9:50	受入研修(会社案内・組織理解)
	9:50～10:00	朝礼参加
	10:00～11:00	受入研修・プリスティン紹介
	11:00～12:30	社長と昼食会

	12:30～15:30	食育講座会場設営
11日	9:50～10:00	朝礼参加
	10:00～11:00	インタビュー準備
	12:00～12:30	インタビュー
	12:30～14:00	スキンケア体験
	14:00～14:30	インタビュー
	14:30～15:00	受付指導
	15:00～16:00	館内チェック指導
	16:00～16:30	インタビュー
12日	9:00～ 9:50	朝準備(3・4・5階)
	9:50～10:00	朝礼参加
	10:00～15:00	館内チェック(内休憩1時間)
13日	9:00～ 9:50	朝準備(3・4・5階)
	9:50～10:00	朝礼参加
	10:00～11:00	朝準備続き
	11:00～12:00	受付研修
	13:00～15:00	受付研修
15日	9:00～ 9:50	朝準備(3・4・5階)
	9:50～10:00	朝礼参加
	10:00～11:00	朝準備続き
	11:00～13:00	館内チェック
	14:00～16:00	成果発表準備
23日	9:00～11:00	朝礼実習、成果発表、社長と対談

● 朝礼参加

ヴァンサンカンの朝礼は活力朝礼といわれており、その名の通り挨拶練習や企業方針を再確認できる場となっており、とても活力が湧いてくるような朝礼です。一日のうちで1番スタッフが揃うのでそれぞれの顔を合わせる大切なものでした。内容は、挨拶練習、スローガン、基本行動理念の斉唱、連絡事項(当日の予約の方の連絡など)でした。実際に参加させていただいて朝一で発声練習を行うと気分が爽快になり、集中力がアップしたように思えました。また、組織の企業理念や、行動指針などを改めて声に出して確認することで新たな気持ちでその日の業務に取り組むことができるので、だらけることがなくなりました。

● 朝準備

1・2階と3・4・5階に分かれてお客様をお迎えするための準備をします。主に、ロッカーやシャワールーム、洗面台に髪の毛や汚れがないかの確認、水温や室温の確認、お手入れの部屋の準備、トイレチェックなどです。まず、その日のご予約のお客様の状況を

確認することから始まり、それによって優先順位を決めていました。実際に体験させていただきましたが、何か一つでも見落としがあればお客様に感動・満足していただけないため、とても緊張感がありました。また、開店が10時であるため、9時から50分の間にある程度まで準備しておく必要があり、時間との戦いでもありました。いかに効率よく、丁寧にできるかが求められる業務だと実感しました。

● 館内チェック

使用済のシャワールームやロッカーお手入れのお部屋、トイレなど、定期的にチェックしていく業務です。朝準備と同様なこともありましたが、お客様がすでに来店されている状態なので動き方をとても考えなければなりません。この館内チェックを重要視している理由は、二人目のお客様でもいつ来ても私がここを初めて使うのだという特別感を持っていただくためです。そのため、髪の毛はもちろん水滴一つ残された状態でも許されません。とても責任感が問われる業務でした。「これぐらいでいいや」という気持ち一つないようなところでした。しかし、社会人としての責任感とは何かということ自分を問いかけるととても良い機会となりました。

● 受付

お客様を迎え、体温測定後、エレベーターへ案内、お手入れ後にお茶出し、商品のお渡しなどし、帰る際はお店の外までお客様をお送りします。その一連の流れをスムーズに行い、お客様に感動満足のままお帰りになってもらうための業務です。予約の急な変更にも迅速に対応し、お客様の体調やご予約も把握しなければいけません。マニュアルにプラスαで行動しなければならぬと感じました。実際にお客様の予約の時刻より遅れるとの連絡があり急きょ準備を変更する時がありました。しかし、たった10分ほどの間に違う担当のスタッフと協力してすぐにお客様をお迎えできる準備を整えていました。その時お客様を担当したスタッフが不在でも、ほかのスタッフで情報を共有できていたことによりスムーズに準備ができたようでした。日頃の朝礼や日常のコミュニケーションの大切さを感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

担当者含めスタッフの皆さんのおかげで掲げていた2つの目的を果たすことができました。ヴァンサンカンには利益のためだけではなく、一人でも多くの人の肌を綺麗にしてあげたいという気持ちがとても伝わってきて、セールスという概念が変わりました。またインタビューの時間を設けて頂いたことで、様々な女性の生き方をお聞きすることができ、社会人として、一人の人間、そして母親としての役割や責任など多くのことを学ばせて頂きました。その中で私にはさらに豊富な経験を積む必要があると感じ、またその機会はいつ訪れるか定かではなく、一日一日、その一瞬が貴重な経験あり、軽い諦めは後悔を生むので不安で嫌なことでも大切に行いたいと思いました。

【11】株式会社エイチ・アイ・エス

〒790-0005

愛媛県松山市花園町 3-2 安井ビル 1 階

人文学部英語英米文学科 3年次生 西 楓子

1. インターンシップ研修の目的

私がこの研修に参加した目的は主に3つあります。1つ目は、『自分の適性を知るため』です。私は将来どんな職に就きたいのか、どのような環境で働くのが自分に合っているのか明確ではありません。そこで、大学と社会の違いを学び、実際に研修先で仕事をすることで少しでも自分を知るためのきっかけにしたいと思いました。2つ目は、『自分に足りないスキルを見つけるため』です。社会での最低限のマナーや礼儀、言葉遣いなど、研修に参加することで今の自分に足りない知識や経験を発見し、今後の大学生活で将来の役に立てるため改善していけるように取り組んでいきたいからです。3つ目は、『来年の就職活動をする際の自信にするため』です。就職活動は、将来の自分を決める大事な活動です。今の私には何も経験せずに就職活動に臨む自信がないため、研修を通して不安や疑問を解決し、就職活動に対する心構えを意識することを目的としました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、6月3日に松山大学で行われた合同説明会に参加するまでは研修先が全く決まっていなかったためとても焦っていました。しかし、株式会社エイチ・アイ・エスの個別面談会に参加させて頂いた時に、初めて旅行会社について詳しく話を聴くことができ、興味を持ちました。また、以前友人が伺った時の話を聞いたこともあったので、疑問や気になることを積極的に質問しました。担当者の方が丁寧に詳しく答えてくださったので、株式会社エイチ・アイ・エスの強みややりがい、大変なこと、お客様との接し方やカウンター業務というものを実際に現場で体験したいという気持ちが強くなりました。また、研修生には明るさと元気を求めているとのことでしたので、お客様や社員の方達とのコミュニケーションも含めて今の私にどこまでできるのか挑戦してみたいと思い、研修先として希望させていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月1日～9月14日（うち5日間は休日、計9日間）

研修時間：10：00～18：00（うち休憩60分、計7時間）

<1日目：9月1日>

インターンシップ初日は、まず出勤している社員の方たちに挨拶をし、その後に顧客登録というものをしました。顧客登録とは、来店されたお客様の情報をパソコンで打ち込んでいく作業です。項目が細かく分かれていたり、お客様の大事な個人情報が多く含まれていたりしたため、分からないところがあればすぐに社員の方に聞き、慎重に取り組むように心掛けました。その他には、社員の方に頼まれた資料のラミネート作業、ビラ配りをする際の広告作りをしましたが、この日の大半は顧客登録でした。

<2日目：9月2日>

2日目は、初日の広告作り作業の続きから始まりました。大量に作る必要があったので時間がかかってしまいましたが、一人でも多くの人に宣伝できるように集中して取り組みました。午後からは、店内にあるパンフレットや広告の整理をしました。有効期限が切れているものの処理をし、取り出しやすいように自分で考えて工夫したりなど、全てのパンフレットの確認作業をしました。

<3日目：9月4日>

3日目の午前は顧客登録やパンフレットの整理を行い、午後からは社員の方の接客を見学させていただきました。お客様との接し方や電話対応を見ていると、丁寧な言葉遣いや社員同士のスムーズな連携が印象に残りました。空いている時間には自分にはできないことはないか考えて行動するようにしました。しかし、来店されたお客様への対応の仕方が分からず、社員の方に頼ってしまうことがあったので臨機応変の行動が必要なのだと感じました。

<4日目：9月5日>

4日目は様々な体験をさせていただきました。顧客登録やラミネート作業、社員の方に頼まれた資料のコピー、社員の方に頼まれた雑用、社判押しが主な内容でした。この日の午後に、2回に分けて初日に作った広告を使って松山市駅前でビラ配りをしました。1回目は社員の方に教えてもらいながら行い、2回目は1人で行いました。ビラ配りの経験は初めてだったので緊張しましたが、明るく元気よく配るように意識しました。

<5日目～9日目：9月8・9・10・13・14日>

5日目～9日目の業務内容は主にダイレクトメール（以下「DM」と表記）作りの作業でした。DMを送ることは、実際にお客様より予約を頂ける効果的な手段なのだと教えていただきました。手順として、まず一人ひとりのお客様に商品ご案内のお知らせを作成し、それをパンフレット3部と共に封筒に入れて封をしました。単純な作業でしたが、非常に多くのお客様にお送りするので時間がかかったり、送付するパンフレットもすぐに無くなってしまいうので自分でコピーしたりなど、想像していたよりも大変な作業でした。もちろんこの5日間はDM作業だけではなく、顧客登録やパンフレットの整理、社判押しや社員の方に頼まれた仕事など他の作業も同時にこなす必要があったので、DM作業に集中してしまうことが多かったですが、周囲にも目を向けることを意識していました。また、社員の方が来店されたお客様へどのような対応の仕方をしているのかを見ていたので、研修後半からは

積極的にお客様に話しかけるようにしました。社員の方に許可を頂いて、接客しているカウンター席の隣でDM作業をして、お客様との関りやより良い旅行にするための親身な提案、デスクワークや電話対応などを間近で見学することもできました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップ研修に参加してみて、9日間という期間の中で学べたことや感じたことは私にとってとてもいい刺激になったと思います。社会に出て働くということの意味、大変さ、達成感は実際に体験してみないと気づけないのだと感じました。研修中、感じたことがあればその都度ノートに書き留めるようにしていたのですが、研修が終わって振り返ってみると、反省点や後悔したこと、実行できなかったことの方が多かったです。来店されるお客様が多い日は、社員の方に話しかけることで迷惑をかけてしまうのではないか、指示を待つべきなのか聞きに行くべきか、失敗しないように慎重に行動すれば時間がかかってしまい作業効率が落ちてしまったなど、不安に感じたことも多々ありました。しかし、そこで何もしないことだけは絶対に避けるように心掛け、自分にできることを自分で考え臨機応変に行動することが大切なのだという事を学びました。思い切って行動することで、目的として掲げていた『自分に足りないスキルを見つける』こともできました。そして、大学生によくある不適切な言葉遣いも使わないように研修中は意識していたのですが、時々間違えて使ってしまったことがあります。やはり普段から意識していないと身につかないものなので、今後の大学生活に活かして改善していきます。

自信になるお言葉を社員の方からかけていただく機会もあり、お客様への対応など最初はできなくても、繰り返し行動すれば達成できるようになるし、自信を持つことができたいい機会になりました。反省点ばかりではなく、非常に充実した経験ができたと思っています。お忙しい中私を研修生として受け入れ、ご指導をくださった株式会社エイチ・アイ・エスの方々には感謝しています。ありがとうございました。

【12】SMB C日興証券株式会社

〒790-8666

愛媛県松山市三番町 3-8-4

人文学部社会学科 2年次生 高木 陸

1. インターンシップ研修の目的

私は、金融関係の仕事に興味があります。しかし、金融関係の仕事は銀行や証券会社などいろいろな仕事があります。その中でも証券会社とは、どのような仕事をしているのか、銀行との違いは何なのかなどの具体的な知識を詳しく知ること、今後の就職活動に役立たいと考えました。

私のインターンシップ研修の目的は、2つあります。1つ目は、コミュニケーション能力を向上させることです。大学生活では、決まった友達や先輩との交流が多いですが、インターンシップ研修では初対面の人や年上の方と関わることで、コミュニケーション能力を向上させたいと考えました。また、仕事を始めると人付き合いは必要なことだと考えました。2つ目は、自分が社会に出て「働く」ことをイメージするためです。「働く」ことには、自分が思っているイメージと実際に社会人になって「働く」ことは違うと思います。だから、自分が働く前に、「働く」とはどういうことなのかを学びたいと考えました。

2. インターンシップ研修の選択

私が SMBC 日興証券株式会社を研修先に選択した理由は、私は銀行に就職したいと思っているので、銀行と日興証券の違いが知りたかったこと、自分の興味のある仕事を体験してみたいと思ったからです。また、日興証券は株のイメージもあってすごく硬いイメージだったのですが、合同説明会の個人面談に行ったとき社員の方とお話しているととても気さくな方が多くて、自分が思っていた硬いイメージがなくなりました。仕事の魅力についてもたくさんお話ししてくださったので、この職場で研修してみたいと思ったし、SMBC 日興証券ではグループワークが毎日あるのでコミュニケーション能力の向上にもなると思い、私は SMBC 日興証券株式会社を研修先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

<1日目>

1. オリエンテーション
2. グループワーク
3. 金融経済セミナー 「金融とは？」

<2日目>

1. 新聞読み合わせ
2. 金融経済セミナー 「株式会社制度と証券市場のしくみ」
3. グループワーク

<3日目>

1. 店頭・支店内見学
2. 新聞読み合わせ
3. 社員さんとの質疑応答
4. 金融クイズ
5. グループワーク

<4日目>

1. 新聞読み合わせ
2. グループワーク
3. 金融経済セミナー 「国債について」

<5日目>

1. 支店長のお話し
2. 新聞読み合わせ
3. グループ発表
4. 若手社員との質疑応答

・日経新聞読み合わせ

毎朝日経新聞の読み合わせをします。この日経新聞の読み合わせでは、まずグループを作り、自分の気になる記事を選び、記事の要約をし、その記事を読んだ感想や考えなどをグループで出しあい、その中から一つを選び発表するという形でした。私は普段、新聞を読みません。そのため、最初はどこを読めばいいのか、どこにどのジャンルの記事が書かれているかわかりませんでした。それに、日経新聞なので分からない内容や難しい言葉がたくさんありました。しかし、社員の方が新聞の読み方や抑えるべきページなどを教えてくださったり、研修生が発表した内容を一つ一つ丁寧に解説してくださったりしたおかげで、最終日には日経新聞を読むことにすこし慣れることができたのではないかと思います。また、幼いころは、新聞に興味がなかったので全く面白くないものだと思いますが、久しぶりに読んでみると、政治のことや企業のことや自分の興味のある記事も書かれていて、とても面白いと思いました。また、図書館などで読んでみようと思いました。

・金融経済セミナー

5日間の講義で「金融とは何か」というところから始まり、専門知識まで詳しく時間をかけて金融・経済のことについて学びました。私は、この5日間で金融の専門知識やSMBC日興証券とはどういう仕事をしているのかについて学べたことは、将来とても役に立つと思います。証券会社は、お金のやり取りをする会社なのでとても客との信用が大切になっ

てきます。だから、社員の方々は毎日勉強をして、知識を得て信頼されている事が分かりました。社会人になっても勉強することが大切だと改めて思いました。

・グループ発表

研修生が数人のグループを作り、今後の経済の流れや技術の発展を考えながら、企業を一社選び、その企業の株をライバル会社との比較なども交えながら、その企業の株を買ってもらうためのプレゼンテーションをしました。グループのメンバーと協力しあい教わった知識も取り入れながら作業に取り組みました。少ない時間の中で自分が納得し、しかも他のグループの人にも分かってもらえるようなものにしていくのは、大変なことだと感じました。それでも、リーダーを決めて役割分担で作業を進めていったり、グループの人が困ったらみんなで協力して解決していったり、短い間でしたが打ち解けあうことができました。発表はどのグループも素晴らしいプレゼンテーションだったと思います。私たちのグループも苦戦した個所もたくさんありましたが、最後は自分たちが納得いくプレゼンテーションができたと思います。社員の方が、反省点や良い点をアドバイスしてくださって確かにと思うことが多かったので、参考になりました。あとは、社員のかたも言っていた「慣れる」ことが大切だということを改めて実感しました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間のインターンシップ研修は、長いようであつという間でした。多くの社員の方と体験談などたくさんのお話が聞けたのでとても身になりました。この研修を経て、自分には何が足りないのか、それを改善するためにはどうしたらいいのか知ることができたと思います。そして、私がインターンシップ研修の目的に挙げていたコミュニケーション能力の向上と自分が社会に出て「働く」ことをイメージすることの2つは、達成できたと思います。コミュニケーション能力は、積極的にグループワークで意見を出したり社員の方と話したりして向上したと思います。自分が社会に出て「働く」ことをイメージすることは、あと2年後には自分が働いているイメージも出来たし、働くために今やっておくべきこともたくさんあって、就職活動や仕事に対する意識も変わってきました。この経験は必ず今後の就職活動などにも役に立つと思います。

【13】株式会社愛媛 CATV

〒790-8509

愛媛県松山市大手町1丁目11-4

経済学部経済学科 3年次生 大野 圭太郎

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は、「働く」とはどういうことかを知るためと、「自分を成長させる」ためです。

これまで「働く」ということに対して明確なイメージが持てていませんでした。そのためインターンシップを通して、実際に社会人の方と接することで働くことに対するイメージが持て、自分の課題も見つかるのではないかと考えました。また、自分の興味のある業種にインターンシップに行くことで、自分がその業種に対して適性があるかどうかを見極めるいい機会になると思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私はメディア業が興味のある業種の一つでした。そしてインターンシップ研修ではメディアの会社に行きたいと考えていました。実際インターンシップを募集しているメディア企業はいくつかありましたが、最終的に愛媛 CATV のインターンシップに参加したいと思ったのは、大学で開催された合同説明会で話を聞いたからです。

私は合同説明会で会社の概要や、インターンシップでの内容を聞いたとき面白そうだと思います。また、ここで研修ができれば自分の挙げた目的が達成できるのではないかと感じ、研修先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月17日（木）～2017年8月22日（火）（日曜除く5日間）

8月17日（木）	自己紹介・日程確認・目標設定 研修事前指導・社内見学 業界研究、会社説明 テクニカルサポートセンター研修・同行 ミーティング
8月18日（金）	放送部同行
8月19日（土）	お客様センター研修、お客様サービスセンター研修 営業部同行

8月21日(月)	総務部研修、若手社員との懇談会、 社長インタビュー、ミーティング
8月22日(火)	グループワーク、プレゼン仕上げ、研修成果発表

初日は自己紹介から始まり、基本的な会社説明や名刺交換のやり方などを学びました。ここで愛媛CATVはTVを作るだけの会社ではなく、地域に必要不可欠なインフラであり、みんなに求められるサービスの提供をしている地域密着型の会社という説明を受けました。

実際に午後からテクニカルサポートセンターという技術部に同行した際、街の電器屋と協力して仕事をしていて、地域との結びつきが感じられました。

2日目は放送部の同行でした。ここでは、機材の説明や実際に外へ出て、テレビ中継の準備や番組収録の同行をさせていただきました。放送部は取材から動画の編集まで一人で行うと知り、社員の方の働きぶりや仕事量の多さが印象的でした。また、番組を作るうえで出演者の伝えたいことを的確に拾うことや、相手の目線に立つことの大切さを学びました。さらに入社するまで映像編集など未経験だった方もいるということが驚きました。

3日目は最初、お客様センターで接客を体験しました。ここでは来店されたお客様が快適に過ごせるために接客をすることが大切だと教わりました。

次にお客様サービスセンター研修では、コールセンターで問い合わせのヒアリングや、お客様の情報入力を体験しました。コールセンターは相手と声だけでのやり取りのため、聞き取りやすく丁寧な対応することが重要で、お客様に寄り添うことを学びました。

午後からは営業部で、初めに工事許可の同意書をアパートの管理人にもらいに行くのを同行しました。その後、書店で行われていたケーブルショップのイベントの補助をしました。ここでは社員の方から会社が行っている営業はどんな内容であるかだけでなく、仕事以外の話を聞かせていただきとてもためになりました。また、イベントは新入社員の方が企画したと聞き、1年目から積極的に働く姿が印象的でした。

4日目は、総務部研修で今後の就活アドバイスやキャリアプラン設計を行いました。将来自分がどうなっていたいかや長所・短所を考え、大学生の間になにをすればいいかなど考えるいい機会になりました。次に若手社員との懇談会があり、同年代の方の就活の話や経験したことなど多くのことを教えていただきました。

そして社長インタビューでは、経営者として愛媛CATVをどのように考えているか、これまでの経歴、どういう人材を求めているかまで教えていただきました。予定時間を大きく過ぎても質問を受けてくださり、多くのことを学べて勉強になりました。

最終日はまず他の研修生とグループワークをしました。しかし、役割分担や意思の疎通がうまくいかず、多くの時間を費やしてしまいました。しかしここで反省点や自分自身の課題が新たに見つかったことは良かったです。

そして研修成果発表は、グループワークと個人での発表があり、このインターンシップ研修で感じ学んだことや会社に対する提言、これからの決意表明などが内容でした。発表時には、部署同行で担当してくださった方も来ていただき、自分の学んだことを伝えられてよかったです。

最後に修了式があり、本当に充実した5日間だったと感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間のインターンシップ研修によって多くの気づきや学びを得ることができました。

まず「働く」とは多くの人との関わり合いで成り立っていることです。小さな子供から街の電器屋まで会社の外で人との関わりが見られ、コミュニケーションを取っていくことが大切だと感じました。また、仕事をするうえではより相手の気持ちを考えることで、伝えたいことを的確に伝えられ、快適に過ごせる環境が作れるということを知りました。そして、希望した仕事に就けなくても自分の見方ひとつで楽しいと思えることを教わりました。

次に自分を見つめなおし、出来ていることやこれから見直していく必要があるところなど自分の今がわかりました。インターンシップ研修を通して少し変わった部分もありますが、ここからさらに成長できるように、目標や計画に具体性をもつことが大切だと思います。

私が最初に挙げていたインターンシップの目的はすべて達成できたと思います。さらに自分が大学生の間にやっておくべきことも見付き、期待していた以上のことを学びました。

最後に、インターンシップを受け入れてくださった愛媛CATVの皆様、本当にありがとうございました。決意表明をしたように、インターンシップ研修で得たことをこれからさらに伸ばしていけるように、今後たくさんの経験を積んでいきます。また今までで一番充実していた5日間だったと思います。お世話になりました。

【14】愛媛トヨタ自動車株式会社

〒790-0066

愛媛県松山市宮田町 109-1

経済学部経済学科 3年次生 三瀬 倭

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修での目的は三点あります。一点目は私の課題でもある積極的な行動をとれるようになることです。二点目はたくさんの社員の方々とお話し、広い視野を養うことです。三点目は営業などの業務を通して、今後、自分の目指す働き方を考えることです。

インターンシップの目的を達成するために、私は三つの取り組みテーマと具体的実施事項を設定し、インターンシップ研修に臨みました。一つ目は「万全な準備を行う」そのために、早寝早起き(夜一時までに就寝し、朝七時までに起床)と朝、前日の振り返りシートを読み返すことです。二つ目は「積極的に行動し、広い視野を養い、軸を広げる」そのために、名刺交換を一日七名以上の方と行うことです。三つ目は「振り返りをしっかり行う」そのために、活動中に気づいたこと、わからないことなど、メモを取り、寝る前に分からないことを調べる。活動後にメンバー同士で、その日の気づきを意見交換し、フィードバックしあうことです。

2. インターンシップ研修の選択

私が愛媛トヨタ自動車株式会社さんのインターンシップ研修を希望した動機は、愛媛トヨタ自動車株式会社さんのインターンシッププログラムでは、業務体験よりもインターンシップ生の人間力育成に重点を置かれているというお話を合同説明会で伺い、私のインターンシップ研修の目的にマッチしていると感じ、希望しました。また、インターンシップ中に、課題図書を2冊読むことや毎日3分間スピーチを行うなど、とても中身の充実したプログラムだと思い、魅力を感じたからです。

3. インターンシップ研修の内容

愛媛トヨタ自動車株式会社さんのインターンシップ研修は11日間(内休みが1日)でした。インターンシップ研修中は、毎朝、出社してから清掃を行い、朝礼での司会・3分間スピーチは当番制でした。また、研修生同士で Good & New(3分間スピーチ)、活動終了後に、振り返りシートの記入も行いました。それ以外にも、インターンシップ期間中に課題図書2冊読書、社員の方と名刺交換を行い、社員の方々とたくさんお話させていただく

機会もありました。

インターンシップ11日間のスケジュールは下記の通りです。

Day1	オリエンテーション、代表取締役専務の方のお話、自己紹介
Day2	インターンシップ担当者の方のお話、マナー研修、目的・目標の設定
Day3	洗車実習
Day4	洗車実習の振り返り、小学生への出張授業に向けた話し合い
Day5	Day off
Day6	出張授業の準備、出張授業に参加
Day7	出張授業の振り返り、松山全日空ホテルのインターンシップ生と中間振り返り
Day8	営業同行(今治店)
Day9	ゲストスピーカーによる講話、営業同行の振り返り
Day10	店舗実習(久米店)
Day11	発表会準備、インターンシップ研修発表会

4. インターンシップ研修を終えて

愛媛トヨタ自動車株式会社さんのインターンシップ研修に参加させていただいて、毎日たくさんの気づきを得ることができました。その得られた気づきから、私が「働く」ということに対する考え方が大きく変わり、私が今後目指したい働き方が明確になりました。

「働く」ということに対して、私は今まで、個人としては、お金を稼ぎ、生活するために、会社としては、利益をあげて、会社を大きくするためにという結果にばかり焦点を当てていました。インターンシップ研修に参加させていただいて、たくさんの社会人の方々とお話させていただき、結果を生むプロセスがいかに大切か、またそれがやりがいへとつながることを教えていただきました。それを強く感じたのが、営業同行をさせて頂いた際に、私は営業という職業は、商品を買ってもらうために、お客様が欲しいと思うように、商品の魅力を伝えること。商品を買ってもらうために、働くというのが営業職に対するイメージでした。しかし、実際に営業同行させていただき、営業スタッフの方は営業という仕事をする上で、「商品ではなく、人をかってもらえるように働いている」ということをおっしゃられていました。営業職では、スタッフがお客様に認めてもらい、信頼していただくことがとても重要で、そのために、お客様の大切にされているものを大切にすることを心掛けているそうです。商品を買ってもらうという結果に対して、お客様と信頼関係を築くために、お客様の大切にされているものを大切に、小さなことを積み重ねていくプロセスが大切で、やりがいでもあり、結果ばかり見ていた私自身の物事を見る視点の浅さを感じました。今後は表面上のことだけではなく、しっかり中身をみられるように力を養っていきたいです。

私は将来、会社の中心人物となり、会社の内部、外部をバランスよく見ることができ、影響力のある人間になりたいです。今回、インターンシップ研修で学んだことを残りの大学生活で、生かし、今後の生活を充実させるために、目標設定を行いました。まず、今の

私は周りの様子を伺い、まだ積極性に欠ける時があり、小さなことで落ち込みやすい。時間にルーズで、時間がない時、イライラしてしまう。モチベーションを維持するのが苦手などの特徴があります。残りの大学生活では、さらに積極的に活動し、たくさんの人と関わり、関係性を深め、自分の軸を広げたいです。また、スキルアップとして、英語力を向上させ、ニュースや新聞などを見る時間を作り、知識を増やしたいです。そして理想の自分に近づくための取り組むテーマ、具体的な実施事項(目標)は、三つあります。一つ目のテーマは、「スキルアップ」、具体的実施事項は英語力を伸ばすため、TOEIC の問題を一週間に三題以上をこなし、年末までに TOEIC650 点以上を目指します。また、新聞を週に三回以上読む時間を作り、インターンシップ期間中から始めた、わからない単語・気になった言葉をメモしておき、夜寝る前に調べることも継続して行い、知識力も向上させていきます。二つ目のテーマは、「積極的な行動」具体的実施事項は九月から十一月の期間中にインターンシップに参加し、また、授業で司会や発表の際には、自ら積極的に、取り組みます。三つ目のテーマは「心に余裕を持つ」、具体的実施事項は、毎日 8:30 までには起きることを心掛け、早寝早起きをして、授業の開始 10 分前までに着席しておきます。また、毎日日記をつけて、一日の振り返りを行います。残りの大学生活で、自分の立てた目標をコツコツと取り組み、自分の目指す人物像に近づいていきたいです。

愛媛トヨタ自動車株式会社の皆様にはたくさんの経験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

【15】愛媛トヨペット株式会社

〒791-8512

愛媛県松山市空港通5丁目7番9号

経済学部経済学科 2年次生 清水 亜美

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は、社会で働く人たちの働いている様子、モチベーションを知ることです。合同説明会に参加してみて実際に話を聴くことの大切さを学びました。報告書だけの企業のイメージと実際に話を聴いてみての企業のイメージは大きく変わっていました。インターンシップ研修を通して、合同説明会では理解できなかったこと、気がつかなかったことを学び、より詳しく企業について知りたいと思いました。また、私は将来就きたい職業が決まっておらず、漠然としています。これまでのインターンシップの講義で目的・目標設定の大切さを学びました。インターンシップ研修を通して今後何をすべきか考え、将来に向けてしっかりとした目的・目標を持ちたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先として愛媛トヨペット株式会社さんを選んだ理由は、合同説明会の際に話を聴いて興味を持ったからです。お客様との信頼関係を築くために絵手紙作成、納車時のボードの作成と多くの工夫をされていること知りました。インターンシップ研修で身をもって体験したいと思いました。また、自分がお客さんとなって車を買う体験ができると聴き、接客する立場だけでなく接客される立場も体験できるので良い経験になると思いました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 2017年9月1日(金)～9月6日(水)

4日(月)を除く5日間

研修時間 8:20～17:30 昼休憩1時間

<1日目>

・全体朝礼

全体朝礼は発声練習をしたり報告を行ったりします。月初めであったため多くの社員さんが集まっていました。前に出て自己紹介するだけでもとても緊張しました。

・オリエンテーション

取組目標を3つ決めた後に会社概要について詳しく説明していただきました。車が完成するまでの動画も視聴しました。車が完成するまでの工程を初めて見ました。車が完成す

るまでには多くの工程があることを知りました。

・マナー研修

ビジネスマナーを学んだ後、接客対応の練習をしました。姿勢、表情は普段から気をつけないと身につかないということを実感しました。今後気をつけたいと思います。お客さんが車から出てくる時の立ち位置は運転席のドアの後ろであるということを知りました。運転席の正面に立っていると特に女性の場合は威圧感を与えてしまうそうです。運転が苦手な方もいらっしゃるので代わりに運転をすることもあるそうです。駐車場案内の時の工夫を知ることができました。

< 2日目 >

・商談体験

商談の流れを知ることができました。車に詳しい人には簡単な説明で、車に詳しくない人には分かりやすく一から説明してもらえてとその人に合わせた説明をするということも学びました。

・松山中央店 店舗見学

店舗ごとの違いを知ることができました。松山中央店のショールームの色調は茶色で落ち着いた雰囲気になっていました。

・絵手紙作成

絵手紙作成は本を見たりインターネットで調べたりして描くため、絵が苦手でも簡単に描くことができます。

< 3日目 >

・店頭接客対応

店頭スタッフさんに教えてもらいながらドリンクサービスを行いました。ドリンクの種類によって作り方が全く異なるため、なかなか一人でできませんでした。特にホットの飲み物の場合はスプーン、シュガー、ミルクとそれぞれ置く位置が決まっています。ドリンクを作るのに精一杯でお客様のお出迎え、お見送りまではできなかったのですが、店頭スタッフさんは忙しい時でも迅速かつ丁寧に行っていたので凄いなと思いました。

< 4日目 >

営業スタッフさんに同行させていただき、仕事を見学しました。

・車査定

まずボディに傷がないかを見ていきます。見落としがないようにいろんな角度から確認して見積書に書きます。次に車の中に入りエンジンをかけ、走行距離やカーナビが壊れていないかを確認します。最後に車検証をみて必要事項を書き込んでいきます。この作業は短時間で終わらせなければならないそうです。査定が終わった後は、中古車販売店にファックスを送り確認してもらいます。査定するだけでも多くの仕事があることを知りました。

・事務作業

パソコン、書類、カレンダーに予定を記入します。また、今月の目標設定、先月の目標の達成度を記入し、提出します。この作業をしている時に電話対応も同時進行で行ってい

たので大変だなと思いました。

- ・挨拶

お客様の家まで挨拶をしに行きました。土地勘も必要ですが、細い道に入ることもあるため、運転技術も必要になってくることを知りました。

< 5 日目 >

- ・事務作業

昨日と同様に営業スタッフさんの仕事を見学させていただきました。必要な書類の手続き、今月の目標設定を記入して提出していました。

- ・代車受け取り

営業スタッフさんの特典は、お客様の車であったり、代車であったりと色々な種類の車に乗ることができることだと教えていただきました。

- ・インターンシップ総括

研修日誌をもとに研修を振り返り、取組目標が達成できたかどうかや学んだことをまとめました。

- ・修了式

まとめた内容を発表しました。その後修了証書をいただきインターンシップが終了したことを実感しました。

4. インターンシップ研修を終えて

店頭スタッフさんのお仕事、営業スタッフさんのお仕事、商談体験、絵手紙作成とたくさん貴重な体験をさせていただきました。店頭スタッフさんのお仕事が一番印象に残っています。日曜日の午後のお客さんの多さには驚きました。とにかく忙しかったです。私は、すぐに疲れてしまいました。店頭スタッフさんはほとんど休まず仕事をこなしていて店頭スタッフさんの凄さが分かりました。どんなに忙しくても優しく、丁寧に教えてください本当にありがとうございました。この日曜日の接客応対を体験したからか、火曜日、水曜日のドリンクサービスは前よりスムーズにできるようになりました。このインターンシップで学んだことは失敗を恐れないことです。失敗することで成長ができることを実感しました。これからの学生生活は多くのことに挑戦したいと思います。

最後に、お忙しい中インターンシップ研修に受け入れてくださり本当にありがとうございました。

【16】株式会社えひめリビング新聞社

〒790-8583

愛媛県松山市千舟町7丁目2-8

法学部法学科 3年次生 高橋 雛絵

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップを受けようと思った目的は2つあります。

1つ目は、就職活動に備え、「働くことについて理解を深めること」です。私自身、「働く」ということに関して、楽しみな気持ちもありますが、やはり不安な気持ちが大きいです。その不安を少しでも取り除くためには、実際に自分自身で体験することが1番の近道だと思いました。そして、職業選択の幅を広げることにも繋がるのではないかと考えました。

2つ目は、「自分の力を試すこと」です。これまで、まわりに合わせて行動することが多く、1人で踏み出すことを恐れていました。そこで、このインターンシップでは、自ら進んで社員の方に声をかけ、正しいと思うことは行動に移す等、「積極性」を養おうと心掛けました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、将来就きたい業界が定まっていませんでしたが、広告・出版業界には興味がありました。情報の最先端に立って伝えることの面白さ、紙媒体が減少している中でどのような工夫がされているのかといった疑問も多くありました。合同説明会では同業種の企業さんが多く参加されていたりしましたが、「リビングまつやま」は、幼い頃から目にしていたものであり、フリーペーパーという特殊な形態の出版物を扱っていることから、株式会社えひめリビング新聞社をインターンシップ先に選択しました。また、アルバイトでは体験できない企業であったことも選択した理由の1つです。

3. インターンシップ研修の内容

研修日程	研修内容
8月28日(月)	朝礼 社内研修 ・社長 会社概要 ・常務 業務内容・リビング新聞社で働くにあたって ・本部長 営業の仕事について

	・業務管理室長 社会人としての心構えについて
8月29日(火)	朝礼 営業同行 訂正作業
8月30日(水)	朝礼 営業同行 リビング新聞の折り込み作業
8月31日(木)	朝礼 営業同行
9月1日(金)	朝礼 営業同行
9月5日(火)	朝礼 セキ工場見学

えひめリビング新聞社では、毎朝8時55分から社員の皆さんが会議室に集まり朝礼を行います。朝礼では、当番の方の進行で、挨拶発声、部門・ルーム報告が行われた後、「今日の心がけ」が書かれた月刊誌を音読します。最後に、気を付けることを唱和し、終了です。このように、毎朝決められた時間に行うことで、気持ちの良い仕事のスタートが切れるのだと感じました。そして、この朝礼が、各部門の情報交換という大切な時間であることがわかりました。

・1日目

初日は、1日を通して、社長をはじめ、4名の管理職の方のお話を伺いました。設立当初から携わっていらっしゃる社長のお話は、会社に対する思い入れがとても伝わってくるものでした。常務は、社員の基礎として、「企画力」「提案力」「編集力」「チーム力」を身に付けなければならないとおっしゃっていました。特に、リビング新聞社は、社員さんの人数が少数であるため、一人一人に求められる力が大きいことがわかりました。本部長は、営業は押し売りではなく、「親近感」と「信頼感」をお客様と築くことのできる人が優れた営業マンだとおっしゃっていました。室長は、学生と社会人の違いについて詳しくお話してくださり、それは、私たちのインターンシップが有意義なものになるためのメッセージでもありました。

・2日目～5日目

2日目からは企画情報部(営業)の社員さんとマンツーマンの営業同行が始まりました。社員さんによって担当している業種や業務内容が異なり、毎日新しい発見がありました。1つの記事の掲載に対しても、何度もお客様のもとを訪れ、打ち合わせを行っていました。打ち合わせの時間は、短ければ3分で終わるものから1時間半以上かかるものまで様々あるそうです。営業同行させていただく中で、コンプライアンスに注意しつつ、お客様の思いを汲み取り、文章で伝えることは難しいと感じました。毎週水曜日は、翌日の発行に先立ち、「リビングまつやま」に関わりのある広告代理店さんへ配達に回る日でした。この週

は、年に一度の「お医者さんガイド」の発刊日でもあり、掲載されている医療機関へも配達に行きました。さらに、リビング新聞社では年に一度「キッズフェスタ」というイベントを開催しており、本部長に随行して会場となるエミフル松前へ行かせていただきました。イベントの計画は約1年前から行われ、関連機関との連絡等は主に本部長一人で行うことが多いこともわかりました。また、移動中の車内では、営業の仕事に関することから就職活動の相談まで多くの質問をさせていただきました。皆さん丁寧に答えてくださり、疑問を解消することができました。当初私が疑問に思っていた紙媒体の減少に関しては、悩まれている社員さんも多く、誌面だけでなく、Webへの展開も始められているそうです。しかし、一方では、「紙の良さ」も残していきたいそうです。

訂正作業の広告は12万部もあり、全て手作業で行うことは大変だと思いましたが、1枚1枚が商品であることを考えると、仕事に対する責任感が湧きました。

・6日目

最終日は、えひめリビング新聞社の出版物を印刷されているセキ工場さんへ見学に行きました。普段は見学に応じていないようなので非常に貴重な体験でした。リビング新聞社の印刷を行っている機械は、数ある中でも最も早く印刷を行える機械で、1日半で約18万部印刷するそうです。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップを終えて、まず何より、お忙しい中私たちのために時間を割いてくださったえひめリビング新聞社の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。6日間を通して、社員さん全員が会社を心から誇りに思っていることがよくわかりました。今回のインターンシップでは、目標でもあった自分から進んで声をかけることによって、社員さんとの交流を行うことができ、アドバイスもいただき、「働く」ことについて再度深く考えていきたいと思いました。えひめリビング新聞社は、設立当初から掲載広告に関して高い基準を設け、「地域の人々に対する信頼」を大切にしています。「信頼」という言葉は多くの社員さんがおっしゃっていましたが、それを築くためには、長年揺るがないルールを徹底していかなければならないことを実感しました。

えひめリビング新聞社は、若い方の意見も率先して反映させる会社です。社員さんは20代の方が多く、たくさんの責任ある仕事を任せられています。私にはまだまだ足りない部分ばかりなので、残りの学生生活で社会に出ても恥じない人間に成長したいです。

最後になりましたが、このような経験を与えてくださり本当にありがとうございました。

【17】株式会社エフエム愛媛

〒790-8565

愛媛県松山市竹原町 1-10-7

経済学部経済学科 3年次生 井伊 栞月

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は3つあります。1つ目は、働くこととはどういう事なのか、しっかりと明確にしたかったからです。私は普段、大学に通いながらアルバイトをしています。しかしアルバイト生と会社の社員さんとは責任感や、やりがいなど違うと思います。だから実際インターンシップへ行き、働くこととはどういう事なのか社員さんの思いや熱意など感じたかったからです。2つ目は、他大学の学生と交流し、良い刺激をもらいたかったからです。このインターンシップでは4大学が参加しています。だから松山大学以外の学生と関わることで、自分の足りない所を知り、他大学の学生のいい所をいっぱい吸収し今後の就職活動に生かせたらいいなと思いました。3つ目は、社会人としてのマナー礼儀をしっかりと身に付けるということです。私は、まだまだ社会に出るには不十分な点があります。だから意外と欠けている、当たり前のことを当たり前にする、相手の立場になって物事を考えたり、気遣いや気配りができたりすることを学びたかったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、マスコミ、メディア関係の仕事について興味があります。特にラジオ局に行ってみようと思ったきっかけは学生で番組を企画し制作できると知ったからです。インターンシップの5日間という短い期間ですが中々できない貴重な経験ができると思いました。いつもは聞いている側だからどのような仕組で出来ているのか裏側を知りたかったです。裏側を知ることで、今後違った視点からラジオを聞けると思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月28日～9月1日 計5日間

1日目：まずエフエム愛媛の会社概要でした。エフエム愛媛の JOEU-FM の E の意味は全国で5番目にできたという意味だと聞きました。現在全国たくさんのラジオ局がある中、エフエム愛媛はローカル局の中では早くできたのだと知りました。また自社制作を積極手に行っていて6割はエフエム愛媛が制作していると聞き、地域密着型のラジオ局だと分かりました。また地域の情報を伝えることがテレビ局とは違うラジオの役割だと話していた

だけました。次に編成制作業務の仕事内容について担当の方から聞きました。時間帯にターゲットを決め番組を制作していると聞きました。例えば、朝の時間帯はサラリーマン向け、お昼はOL向けに番組を企画し工夫しているなど思いました。そして社内見学も行いました。普段は入れないスタジオに入らせていただきました。そして一つ一つ機械の説明を受けそこで働いている人がどんな仕事をしているのか教わりました。どの仕事もとても重要でミスが決して許されないと思いました。

2日目：最初に営業局の方からお話をききました。営業局は民間放送だからスポンサーがいないと成り立ちません。だからスポンサー契約の際は双方が納得するよう契約を考え工夫していると聞きました。その後は、販売促進事業の方からお話を聞きました。主にこの部署はエフエム愛媛の強みを生かし新しい分野に挑戦するというラジオ業界の生き残り作戦、また宣伝をするという新しくできた部署だそうです。主に、イベントの企画を地域と連携し上浮穴にコンサートホールを作ったり、野球教室を開設したりしています。幅広い分野でラジオとは直接関わらず社会に貢献しているそうです。次にCM制作を見学しました。BGM一つやアナウンサーの声色一つで全く違う雰囲気のCMになると分かりました。いつも聞いているCMが間近で聞けて感動しました。そして、午後からは模擬番組制作についてみんなで意見を出し合い企画書を作りました。7人全員の意見をまとめ決定するという事は様々な意見があり難しかったです。最後にエミフルMASAKIのスタジオへ行きました。公開収録はラジオに興味がなくとも身近に感じてもらえ、社内のスタジオと違い季節ごとに世の中の様子が知れその情報を伝えることができると聞きました。

3日目：朝から「Fine」という番組見学をしました。打ち合わせから参加させていただき限られた時間でディレクターと相談し今日の番組の流れの確認をしていました。その後私たちはサブスタジオで番組をみました。この番組はディレクターとアナウンサー2人で作っていてチームワークがよかったです。全国的にも2人で番組をすることは珍しいようで、とてもせわしそうでした。しかし生放送だからミスをしないよう最善の注意を払いながら行っていました。終了時間をぴったりと合すためその時その時、臨機応変に対応しているところが、プロだと感じました。そして次は、お昼の番組 noonday pop の見学をしました。朝の番組とは内容ががらりと違いました。最後に模擬番組制作の続きを行いました。役割や番組名を決定し次の日スムーズに制作に取り組めるようにしました

4日目；主に模擬番組制作を中心に行いました。実際にスタジオ入りし機械の操作を覚えたりBGMを決めたりしました。細かな作業が多く大変でしたが番組を作る大変さがわかりました。私たちは流行をテーマに番組を作りましたが聞いている側が楽しめるよう意見を出し合いました。そしてニュース見学もしました。実際原稿をもらい分かりやすく丁寧に伝えることが大切で朝とお昼の番組とはまた違った感じでした。

5日目：最終日は番組収録をして試聴会をしました。実際スタジオで話し録音し一つの番組を完成させました。収録で大事なことは、テレビと違い聞いている人が見えないから、言葉の言い回し、滑舌、声の大きさなどたくさん注意すべき点がありました。また音声と話している人との息を合すということが意外と難しく何度も打ち合わせをしました。そし

て番組が完成し試聴会では、達成感がありました。実際のアナウンサーをしている方から講評をいただきました。まだまだ不十分な点は多かったけれど、短期間で完成できたことはとてもよかったです。いい経験ができました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間のインターンシップを終え、自分自身大きく成長することができました。研修を通して放送業界の仕組み、役割など知ることができました。また模擬番組制作では意見を出し合う場が多かったです。私は最初、自分の意見を中々言えず話し合いに参加出来ていなかったです。しかし2日、3日経うちに、自然と自分から意見を言えるようになりました。意見を伝えるという事はどの仕事に就くにしても、社会人になったら当たり前のことであり、必要なことです。他の学生がたくさん意見を交わす中で自分も頑張ろうという気持ちになりました。目的で述べたよう、良い刺激をもらいました。また働くということは、責任感が大切だと思いました。ミスは誰にでも起こり得ることですが、許されていいミス、悪いミスあります。しかしどんなミスでも事前に自分から防ごうと思えば防げるミスはたくさんあります。例えそのことが面倒くさくても必ず行うということが必要です。この2つの事は今後の日常生活でも使えることだから、意識して、実践します。お忙しい中私たちの為にたくさんの事を教えてくださったエフエム愛媛の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。

【18】株式会社オートクチュール

〒790-0003

愛媛県松山市三番町7丁目11-9第2竹田ビル3F

経済学部経済学科 2年次生 中川 さくら

1. インターンシップ研修の目的

私はインターンシップを受けようと思った理由が3つあります。1つ目にコミュニケーション能力を向上させるためです。特に自分の言いたいことを的確に伝えられるようになりたいと思いました。どのような職においても、仕事中は非常に忙しく、だらだらと話をしているのは本当に伝えるべきことが伝わるわけではありません。いうべきこと、言わずに要約すべきことの分別をつけることを経験したいと思ったからです。2つ目に自分の将来について考えるためです。私はまだ2回生なので、就職活動までにまだ時間があります。しかし、就職活動を始める間にある程度どの分野の企業を受けるのかなど将来のことについての不安要素の一つでも消したかったからです。最後に、自分に何が足りていないのかを考えるためです。大学の講義では就職に必要なものは教えてはくれません。資格だけでなく、考え方、使い方、アプローチの方法など実践を踏まえて勉強したかったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私を受け入れてくださった会社はIT企業でした。ワードやエクセルやパワーポイントの使い方くらいは知っていましたが、どのアプリがどんなことが出来るなどについて詳しいことはわかりませんでした。そんな中応募したのは、募集要項に「英語・中国語が出来る人歓迎」という文字が見えたからです。私は英語しか得意なものはなく、英語を使った職に就くことは考えていたので経験してみる良いチャンスだと考えたので応募をしました。研修前は研修先が決まり安堵した一方、ゲームのこともパソコンのこともあまり知らない私が行っても意味あるのか、と正直不安のほうが大きかったです。

3. インターンシップ研修の内容

会社の中にはいくつかの部署に分かれています。私はその中のクリエイティブチームのディレクターのお仕事をさせていただきました。クリエイティブには、イラストレーターの方々もいらっしやいます。ディレクターは主に進行管理のお仕事ではありますが、作家さんや様々な案件がスムーズに進むことを一番に考え、これからの仕事につなげていくものでした。その中でも作家さんの進み具合を確認する進捗管理シートやガントチャートの作成がお仕事の理解を深めるのに役に立ったと思います。どの作品がいつまでに提出さ

れるべきなのか、期限はいつかなど、「見える化」させておくことは私たちにも、作家さんたちにも非常に大切なことであると学びました。それがあることによってその案件だけでなく、ほかの案件も同時に進行させマルチタスク的に進めることが可能になり、効率よく仕事出来るようになりました。作家さんたちは必ずしも私たちと一緒にオフィスの仕事をしているというわけではありません。顔を合わすことが出来ない分良い印象を持ってもらうことは非常に難しいと座学で教えていただきました。そのためにもチャットやビデオ通話で誰が見ても分かるように「安心」を提供することで結果が変わることもあります。そのほかにも、イメージ画像に合う絵を描ける作家さんをピックアップしたり、作家さんが書いてくださった絵をより良いものに近づけるためにフィードバックをしたりするのも私たちディレクターの仕事の一つです。また、ランディングページと呼ばれる、様々なネット広告やリンクをクリックした際に表示されるサイトを含むウェブページの作成をしました。私は英語が得意で、それを活かした職に就きたいと考えているので、英語のランディングページの作成に挑戦してみました。ホームページに書かれていることや自分で考えた言葉を英語に訳してページを作っていました。サイトを出来るだけかわいく、目に留まるように配色の工夫をしたり、アイコンを一から自分で工夫して手作りしたりして製作しました。また、毎週月曜日と木曜日に全体朝会という東京本社と松山支店のスカイプ朝礼がありました。そこでは一分半スピーチがあり、私も指名をされたのでお話をさせていただく機会がありました。私は自分の過去の経験を踏まえてお話をさせていただきました。指名をいただいたときには何となく何を話すかは決まっていたのですが、それを短時間にまとめ上げることが難しく、端的に自分の言いたいことをまとめて、伝える良い経験が出来ました。

4. インターンシップ研修を終えて

ディレクターの仕事はディレクターだけで成り立つものではありません。イラストレーターの方々の作品があり、初めてフィードバックという仕事ができます。私たちの考えたスケジュールに沿って提出してくれるイラストレーターさんがいて納期を守れます。中には実際にお会いしない方々もいます。そのような方々が私たちを信じ、気持ちよく仕事をしてもらえるような環境づくりもディレクターの大切な仕事の一つであると学びました。フィードバック一つ返すにしても、作家さんを探すときも、相手がいるからこそ成り立っていることを念頭にいて、相手の気持ちに寄り添いつつ円滑に進めていくスキルが必要だと思いました。それを得るためには経験が必要になってきますが、それはどの職業においても場面は異なりますが必要なスキルだと思います。そのことを日ごろのアルバイトなどで、日常的に意識しておくべき点だと思いました。私のパソコンはエラーが出てしまい、エクセル等主要なアプリケーションが使えず困ってしまったこともありました。しかし、代替策を考え他の人よりも手間も時間もかかりましたが、期限内に提出出来た際は達成感と自分でもできた、という自信につながりました。私は今まで漠然と英語を使える職に就くこと、仕事について詳しく知ることを目標に掲げていました。しかし研修中は漠然と考

えている余裕はなく、身をもって自分の甘さを痛感しました。まずは経験を積むことです。物によったら日々の中で考えられることもたくさんあります。英語を使った職に就くことも、使いようによると感じました。私は IT 関係はあまり英語と密接に関係していないと思っていましたが、実際はむしろ非常にグローバルでした。インターンを終えて私は今までの自分がいかに頭が固く、周りが見えていなかったのかを痛感しました。これからの私の課題は、インターンでしてきたことを出来る限り続けることと日ごろから相手の気持ちに寄り添いつつ自分のすべきことを進めるためにはどうすべきかを考えながら行動することです。たくさんの人と一緒に仕事をしたことでたくさん考える事柄があり、これからの自分に一つ一つ反映していきたいと思える、非常に充実した研修でした。

【19】株式会社かがやき総合保険企画

〒799-0422

愛媛県四国中央市中之庄町 70-1 輝ビル 1F

経営学部経営学科 3年次生 中泉 日葵

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は、自分のキャリアデザインを明確にイメージできるようになりたいと思ったからです。就活を目前に、私はなりたい自分を具体的にイメージできず、資格取得に向け勉強するにも、なりたい自分を想像できていないため、何のためにしているのか、今を過ごしているのか分からず、ふわっとした大学生活を送りがちな自分に不安を抱いていました。しかし、将来なりたい自分をイメージできれば、将来のために自分をもっと磨けるように努力できるのでは。なりたい自分を見つける事ができれば、今自分がやるべきことが見えてきて、日々の大学生活にもっと意味を見出して過ごせるのでは。と思いインターンシップ研修に参加することにしました。また、社会人になった時に恥ずかしくないように、少しでも社会人のルールやマナーを身に付け、社会人としての意識づけになればと思い、インターンシップというチャンスを活かそうと思い、参加を決めました。

2. インターンシップ研修先の選択

研修先を決めた理由は2つあります。1つ目は、営業職に興味があり、営業職で最も難しいと言われるのが、生命保険の営業であると知り、保険セールスの営業のコツや、ノウハウを知ることができれば、営業職を理解することに早く近づくことができるのではと思い、中でも、「最新生命保険ランキング1位のオリックス生命」の全国オスカーコンクールで、30万人の中で3年連続全国1位になっている社長の営業セミナーを受けることができる株式会社かがやき総合保険企画で研修を受けさせていただきたいと思い応募しました。2つ目は、福沢諭吉の名言に、「保険は人類最高の英知である」とあり、保険は相互扶助の理念により生まれた人間を守り合うものであるということを知り、一人の働きで多くの人と、その人の家族を守ることができる仕事に携わってみたいと思い、この機会に保険会社に関わり、形無い保険というものがどんな思いで、どんな形でお客様と関わり、またお客様はどんな思いで、何を基準として保険に加入するのか知りたいと思い研修先を決めました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月28日（月）～9月8日（金）10日間（土日は除く）

8月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除 ・朝礼参加（ラジオ体操・挨拶実習・会社の経営理念と姿勢と7アクトの斉唱・職場の教養輪読・社長のお話・今日の予定の報告） ・東京海上日動出向社員による保険提案のロールプレイングの実習 ・事務作業（お誕生者カード作成・名刺整理・お客様へのお茶出し）
8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼参加 ・経営者モーニングセミナー参加（朝6:00～100名の参加者と経営者の講和を聴いた） ・保険の基本学び（生命保険・損害保険についてテキストを読みながら詳しく教えていただいた） ・事務作業（お誕生者カード作成・かがやき通信のお客様送信用のまとめ作業）
8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼参加 ・事務作業（お誕生者カード作成・お客様への封筒のあて名書き） ・出向社員の方のお話（東京海上日動の研修生のスケジュールや研修内容について） ・社員の方によるロールプレイング実習（保険のプランの立て方・お客様との距離を縮める話し方のコツ・見積書の見方・提案の仕方）
8月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼参加 ・事務作業（お客様に送る写真の整理・あて名書き・お客様へのお茶出し・お誕生者カード作成） ・法務局へ同行（登記簿謄本の受け取り、必要性を教えていただいた）
9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼参加 ・MDRTのDVD5本分を鑑賞（生命保険セールスのおもい・生命保険の大切さについて） ・事務業（事務の方と市役所・法務局・銀行に同行し保険事務の仕事を学んだ） ・弁護士のお客様のお話
9月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼 ・四国中央商工会議所にて経営セミナーに参加（「モノ売りではなくコト売りの魅力を知った」） ・事務作業（お誕生者カード作成・お客様へのお茶出しと片付け） ・MDRT会長講演DVD（ホール・パーソンのコンセプト、FPの3つのリスクについて）

9月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼 ・経営者モーニングセミナー参加 ・事務作業（顧客ファイル出し・お客様へのプレゼントの準備・お客様への郵便物の住所書き） ・会社ミーティングの見学
9月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼 ・東京日動火災保険株式会社による、オフィス業務態勢強化に向けたプロセスヒアリング会議の見学 ・報連相セミナー ・事務作業
9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼 ・社員の方から、ライフプラン・人生設計の大切さについてのお話をいただいた ・保険のテキスト読み・リスクマネジメントについて等 ・事務作業
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除・朝礼 ・セミナーの準備と片付け ・かがやき営業セミナー「買いたいを作ろう」参加 ・事務作業

●「東京海上日動火災保険株式会社による、オフィス業務態勢強化に向けたプロセスヒアリング会議」見学

東京海上（代理店から見ると本社側）の契約業務サービス推進部の主任と副主任、地方支店の副主任、マネージャーが会社に来られての会議で、経営会議の活発さ有効さ、すばらしさに驚きました。本社側が代理店の社長・社員の一人ひとりまで分析し、企業の問題点・改善点を報告し、代理店のシステム化、仕組み作りまで、代理店の社長の思いや理念を考慮したうえで提案し、意見をすり合わせるという形を取っており、最大限に代理店の良さを発揮できるように、いつまでに何をやるか決めましょう。こういうリズムでやっていきましょう。という会議の運び方のリズムの良さに感動しました。中でも、個人のお客様概念をやめ、組織（会社）のお客様概念にしていくために、TNETを使って、いつ誰が対応し、どんな話をしたか、どんな方か、どの保険に入っており、保証はどうかといったお客様情報を社員全員で共有していきましょうという経営戦略に魅力を感じました。私も将来、会議を円滑に進められるような人になりたい、会社や人に合ったプランをより具体化して伝え、何かいい方向へ自分のプランで変えていけるような仕事をしたいと思いました。

●MDRTのDVD鑑賞

生命保険は形無いものを売っているの、そこにはどんな思いがあるのか、またどんな思いでお客様は加入するのか知りませんでした。しかし、DVDのある場面で、母の介護と仕事に疲れた息子が保険に入っていなかったため生活が困窮し、母親に殺してほしいと言

われ、無理心中してしまった事件を思うと保険セールスマンとして自分はこの息子さんの将来に光をともしせるような保障のある保険を早く紹介できていたらこんな事件にならなかったのではと思うと悔いてならないとあり、保険はいたたまれない事件を防ぐことができ、人とその人の家族の未来までお守りできるものであるため、保険営業者には、関わった人とその人の家族の未来の不安を少しでも安心に変えておまもりしたいという思いがあるのだなと知ることができました。また、加入者は保険金に、自分がもし何かあった時に自分で自分を守りたいという思いや、家族に保障の面での迷惑や不安を与えないようにしたいという大切な人を守りたい思いを込めていると感じました。保険業の素晴らしさを感じ、やりがいを感じました。

4. インターンシップを終えて

私はインターンシップを通して、目的としていた自分のキャリアデザインをイメージできるようになりました。10年後の自分は人を守れる人でありたい。人を守れる仕事に関わりたい。そのためには、自分が誰かを守るためには自信を付けなければならない。知識がなければ、守れるための知恵は浮かばない、根拠のある自信でなければ、人を安心させることができない。今できることは知識を付け、人とコミュニケーションを積極的にとり、自分の経験値を上げ、自分をまず成長させることだと思いました。なりたい自分をイメージできるとやりたいことが増え、いつまでにこれをしたい、そのあとはこれをするぞと気持ちが高ぶり、日々が充実して考えられるようになりました。また、興味を持っていた保険ですが、営業職でもっとも難しいと言われている理由は、人の未来までもお守りするものであるからこそ、難しいものなのだなと感じました。社長は、少しでも多くの人から「ありがとう」と言ってもらいたいとがんばっていると、多くの人をお守りできる営業マンに気づけばなっている。当たり前のことを馬鹿にせずちゃんと思いを込めてやる、ただそれだけのことです。でもそれがなかなかできない人が多い。それをできるのがプロですよ。と言っており、まず、社会人になった時に当たり前のことを馬鹿にせず、心を込めてちゃんとできるよう大学生活から意識してやっていきたいです。今回の研修でお世話になった皆様、お忙しい中貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

【20】霧の森（株式会社やまびこ）

〒799-0301

愛媛県四国中央市新宮町馬立 4491-1

経済学部経済学科 2年次生 岡田 有未

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は2つあります。1つ目は自分自身を探求することです。自分の適性を知るだけでなく、これからの自分に必要なことを研修の中で自己分析していきたいと考えました。2つ目は働くこととは何か、自分の答えを探すことです。積極的に社員の方とお話しして、自分なりの答えを出し、就職活動に活かしていこうと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が霧の森を研修先に選択した理由は2つあります。1つ目は自分自身を見つめ直すフィールドワークの時間があり、研修の目的と一致していたことです。2つ目はいつもと違う生活環境の中で、新たな発見があるかもしれないと考えたからです。研修は、他大学の学生とともに、約2週間泊まり込みで行います。自分のことを全く知らない人と生活する中で、集団の中での自分の立ち位置や、他人から見た自分を知ることができるのではないかと考えました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月5日（土）～8月20日（日）（8月10、16日はお休み）

- 8月5日（土）：ガイダンス、お茶の手もみ体験

研修の目的、心構え、注意事項、新宮や会社についてのお話を聞きました。その後、施設の見学とお茶の手もみ体験をしました。ガイダンスを通して、霧の森だけでなく新宮についても理解を深めることができ、自分も新宮の村おこしにつながっていることを忘れず、研修に励もうと思いました。

- 8月6日（日）：フィールドワーク、ガイダンス

二人一組で、事前に考えていた質問をもとに、霧の森に来ているお客様にインタビューしました。お客様にインタビューすることで、霧の森がどういう施設であるかを知り、良い点と改善点について考えることができました。

- 8月7日（月）：コテージ

コテージの掃除、アメニティ作りをしました。台風の影響で予約のキャンセルが多く、コテージの準備はできなかったが、その分丁寧に掃除することができまし

た。しかし、自分から質問することができなかつたので、この反省点を改善することを明日の目標にしました。

● 8月8日（火）：コテージ

コテージの掃除と準備をしました。前日立てた目標は達成することができ、自分から進んで行動することもできました。また、掃除をすることが楽しいと感じることができました。時間内に素早く丁寧に掃除することを明日の目標にしました。

● 8月9日（水）：コテージ

コテージの掃除と準備に加えて、外の道の掃除をしました。目標を意識しつつ仕事をすることができました。また、コテージの仕事が最終日ということもあり、従業員の方ともたくさんコミュニケーションをとることができました。

● 8月11日（金）：第二工房

お菓子の包装、洗い物をしました。第二工房は主に、洋菓子を手作りで製造しているところです。任された仕事はできましたが、コテージのように自分から行動することがなかなかできないので、何もしない時間がありました。フィードバックで友達にアドバイスをもらい、作業をしていない時間は調理器具の場所を覚えるなど、時間の無駄を作らないことを明日の目標にしました。

● 8月12日（土）：第二工房

前日の作業に加えて、型にバターを塗る作業をしました。工房には、お客様が中を見ることができる窓ガラスがあり、今回はその近くで作業をする時間がありました。小さい子供が来た時に手を振るなど、お客様とコミュニケーションをとることができました。また、目標を意識して行動し、従業員の方ともコミュニケーションをとることができました。

● 8月13日（日）：夏祭り

業務終わりに研修生のみinnで準備してきた、小学生以下対象の夏祭りイベントをしました。この夏まつりは、“水鉄砲を使った陣取りゲーム”というお題を与えられ、内容を考えるところから実行するまで、全て研修生が行うイベントです。午前の部と午後の部があり、午前の部での反省点を午後の部で改善することができました。準備は大変でしたが、子供たちがはしゃぐ姿を見て、とても嬉しかったし、達成感も感じました。充実した良い夏祭りだったと思います。

● 8月14日（月）：第二工房

お菓子の包装、洗い物、クッキーの型抜きをしました。これまでで一番、工房の従業員の方とコミュニケーションをとることができました。自分が型を抜いたクッキーが、商品として店頭に並ぶと思うと、とても嬉しくなりました。

● 8月15日（火）：第二工房

お菓子の包装、洗い物、お菓子作りの準備（カップや型を並べるなど）をしました。工房での仕事は最終日でしたが、自分のできることを探して行動することができました。また、この日のフィードバックで、新たな自分を知ることができま

した。

- 8月17日（木）：本店
開店準備、カウンター業務の手伝いをしました。慣れるまで声が小さいという傾向を知ることができました。本店が一番新宮茶をPRして、地域おこしにも貢献していると実感できる場所だと考えました。多くのお客様に新宮茶をPRすることを、明日の目標にしました。
- 8月18日（金）：本店
開店準備、試飲・試食、郵便物の荷造りをしました。初めて試飲・試食をしたので、どういう風にすればいいかわからず、一人でするので不安もありましたが、午後からは慣れてきてやりがいも感じました。自分が入れたお茶を「美味しい」と言ってくれたり、お茶を買ってくれたりしたことがとても嬉しかったです。
- 8月19日（土）：本店
前日と同様の業務をしました。土曜日ということもあり、たくさんのお客様が来られました。試飲のお茶をよく買っている方が多いことに気づきました。本店にいるとお客様から、商品から施設についてまで色々な質問をされました。戸惑わずに対応していくことを、明日の目標にしました。
- 8月20日（日）：本店
前日と同様の業務をしました。前日よりさらに多くのお客様が来られたため、途中で試飲用のお茶がなくなりました。お茶をお勧めする機会があり、買ってくれたことが嬉しかったです。最後まで笑顔で頑張ることができました。お客様とお話をするという、今まで経験したことがないことも体験できてよかったです。

4. インターンシップ研修を終えて

この研修を通して、私は新たな自分を見つけることができました。今まで、私は自分自身のことをよくわかっていないと思っていました。しかし、フィードバックで、友達が「自分を客観視できているし、自分自身のことをよくわかっている」と言ってくれました。そして、私は自分のことを認めることができていなかったし、自分のことが分からないと思いついていたことに気が付きました。自分自身を認めることを、これからの課題にしていこうと思います。また、色々な体験もできたので、自分の適性を少し知ることができました。毎日充実していて、あっという間の2週間でした。

最後になりますが、お忙しい中研修を受け入れてくださった株式会社やまびこの皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

【21】医療法人こぐま小児歯科・歯科

〒799-1513

愛媛県今治市松木 334-5

経済学部経済学科 3年次生 飯尾 汐里

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップ研修の目的は4つあります。1つ目は、将来の夢がまだ決まっていないので、少しでも自分がしたいことは何なのか、自分に合った仕事は何なのかを知ろうという目的がありました。研修先では、仕事とはどういうものであるかを学ぶことができるということで、少しでも自分の将来のためになればと思い、インターンシップ研修に臨みました。2つ目は、コミュニケーション能力を向上させることです。私は、大勢の前で話すことや、自分の考えを誰かに伝えるということがとても苦手です。人見知りということもありすぐに誰かに助けを求めることもありました。インターンシップ研修をすることで、職場の方々と話したことや、みなさんの前で発表する機会を得て、少しでも慣れていこうという思いがありました。3つ目は、自分自身と向き合って、長所や短所を知ることです。自分自身について考えるいい機会だと考えました。自分に足りてないことを見つけ、それを克服するまたは新たに身に付けることや、自分の長所はどこで活躍させることができるのか、またその長所をのばすためにもまずは自分自身と向き合ってみようと思いました。4つ目は、仕事とはどのようなものなのか、アルバイトとの違いなども考えながら実際に経験しようという目的です。実際に社会に触れさせていただいて、仕事について考えてみようと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、医療法人こぐま歯科・歯科さんを選択させていただきました。その理由は2つあります。1つ目は、合同説明会に参加させていただいたときにお話ししていただいた方の人柄にひかれました。お話ししていただいたときに、社員の方を大切にされているのがとても伝わってきました。また、楽しく仕事をするためにということをお話されていて、私が知りたいことはこういうことだと感じたからです。2つ目は、歯科ということで、歯科の仕事はどのようなものなのかということを知りたいのですが、そうではなく仕事をするということや仕事を楽しいと感じながら成長するために自分や職場に必要なものは何かを考えることができるということで今の自分が知りたいことを学ぶことができると思ったからです。私は、将来の自分がしたことがはっきりはしていないけれど、やりがいを感じるすることができる仕事をしたいと考えていました。やりがいとは、仕事を楽しいと思う

ことから生まれてくるものだと思います。しかし、その楽しさを感じるまでに必要な事などを知らなかったのも、そのようなことをまなぶことができるのではないかという考えで医療法人こぐま歯科・歯科さんを選択させていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

インターンシップ研修1日目は、フロント研修をさせていただきました。フロント研修の中でも来院対応と来院の伝達というものをさせていただきました。フロント研修にはPDC Aという言葉がつけられていて、P(計画)、D(実践)、C(確認)、A(改善)というものをさせていただきました。来院されたお客様の対応や来院されたことを伝えるということなどをなんどもPDC Aを繰り返しやらせていただきました。2日目は全体見学ワークをさせていただきました。全体見学ワークとは、実際に働いていらっしゃる所に行かせてもらい、様々な、こぐま歯科さんで使われている医療の言葉などの意味についてインタビューをさせていただいて理解をするということさせていただきました。またそれぞれの言葉を知ったあとに仕事の流れ図を完成させることで、仕事の意味やあり方を理解するということをしました。また、「楽しく成長を感じながら仕事をするために自分に必要なものは何か」皆さんにインタビューさせていただいて、自分の考えとの違いなどを考えることができました。また、フロント研修の中でも会計対応も2日目にさせていただきました。3日目はフロント研修のすべての、来院対応、来院の伝達、会計対応をさせていただきました。そして、「楽しく成長を感じながら仕事をするために職場に必要なものは何か」ということを皆さんにインタビューさせていただきました。自分で考えていたものと皆さんの答えをきいて改めて考えることができました。研修4日目はフロント研修の今まで学んだことをすべてやらせてもらいました。改めて仕事を確認し理解するという機会をいただきました。研修5日目、最終日は5日間の総括発表をさせていただいて、また会議にも参加させていただきました。午後からは、フロントだけではなく、治療を見学させていただき、また少し体験もすることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の研修を通して、仕事を楽しく感じるために自分や職場に必要なものは何か考えることができました。研修では職場の皆さんとのコミュニケーションをとる時間もたくさん頂けました。研修をする前とした後で失敗するということに対する考え方を変えることができました。失敗はマイナスなものであると捉えていたけれど、研修をおえて、成長するために失敗は大切なことだというふうに感じました。また言葉や作業の意味まで考えて行動することの大切さにも気づくことができました。それぞれの作業がある意味などを考える力を身に付けることができました。最初に立てていた目的の達成とは100%のうち80%ほどは達成することができたように感じました。みなさんとコミュニケーションをとる時間をたくさんいただき、また総括発表で大勢の前で発表をさせていただくこともでき、以前よりは克服できたように感じました。また仕事とはどのようなものであるかということ

は、目的の中でも一番学ばせていただいたことでした。自分と向き合って作業をすることで自分は意味まで考えることができていることができたことなどにも気づくことができました。また苦手だと思っていた自分の考えや意見を伝えるということが、思ったよりうまくすることができました。自分でも知らなかった自分自身に気がつくことができました。将来就きたい仕事については、まだはっきりとすることはありませんでした。しかし私が知りたかった楽しく仕事をするために必要なことは何かということはしっかりと学ぶことができました。5日間という短い期間内でおおくのことを学ばせていただくことができました。このことを自分のものとして身に付けられるよう残りの学生生活も頑張っていこうと思いました。

【22】株式会社コモテック

〒790-0012

愛媛県松山市湊町8丁目111-1 愛建ビル3F

経済学部経済学科 2年次生 岡本 光輝

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けた理由は4つあります。1つ目は、就職活動が始めるまでに何をすべきなのかが分からなかったので、それを明確にしようと考えたからです。今の自分にはどのようなスキルが足りないのか、どのスキルを伸ばせばもっと自分を生かせるのかが知りたかったです。2つ目は、就職活動のときの職種の幅を広げたいと考えたからです。自分の知らない業界を体験することで、新たに興味を持つのではないかと考えました。3つ目は、コミュニケーション能力の向上です。これから社会人となって仕事をしていく上で、自分の意見を相手に伝えることや、相手の意見を理解する機会が多くなります。そこでコミュニケーション能力が必要になってくると考えました。4つ目は、実際の社会というものを就職する前に体験してみたかったからです。アルバイトとは違う厳しい環境での勤務はどのようなものかを知りたかったです。以上の4つが、私がインターンシップ研修を受けた目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、株式会社コモテックに研修に行かせていただきました。わたしは以前から企画や開発などといった分野に興味を持っていました。6月に行われた合同説明会で株式会社コモテックの説明を受けた際、企画や提案などに興味がある方には特におすすめだという話を聞き、今の自分に当てはまると感じ選択しました。また、その合同説明会の時に紹介された、『お客様と従業員の最高の幸福を追求する』という経営理念にも心を惹かれました。お客様の最高の幸福を追求するのは当たり前のことだと感じますが、従業員の幸福も追求するというのに驚き、関心を持ちました。現在はどの分野においてもインターネットが多く活躍する時代となってきており、そのインターネットを仕事にしている、いわば社会の中心となっていることを仕事にするというのはどういうものなのか、インターネット社会にどのような風が吹いているのかが気になったというのも、株式会社コモテックをインターンシップ研修先として選択した理由です。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月28日～9月1日

入社時刻 9時00分 退社時刻 17時00分 昼休憩 1時間

【研修1日目】 8月28日(月)

研修1日目はプレゼンテーションの制作と発表をしました。この日のプレゼンテーションの課題は、「株式会社コモテックを知らない新規のお客様に我が社を利用していただくためのプレゼンテーション」でした。初めにこの課題を見たときは、難しそうだと感じましたが実際に取りかかり始めると、そうではありませんでした。なぜかという、私が株式会社コモテックのことについてあまり知らなかったからです。だから、自分が会社を持っていてその会社のホームページを作りたいと考えていると仮定しました。そのときに依頼するホームページ作成会社のどのような情報が欲しいかというのを考えました。たとえば、これまでにどのような会社のホームページを作成してきたのかなどといった実績や、作成の手順やそれにかかる費用です。このようにお客様が知りたいと考える情報を的確に伝える上、次は株式会社コモテックさん側が伝えたいと考えている情報はなにかと考えました。そこで考えたのは経営理念や行動指針です。株式会社コモテックには素晴らしい経営理念や行動指針があり、インターンシップ研修先の選択でも述べたように、従業員の幸福も考えているところや、行動指針には『仕事を楽しむ』というのがあります。また、株式会社コモテックさんはWebサイトの制作だけが目的ではなく、たどり着きたいのは『お客様の喜びの継続』だという考えがあるというのが分かりました。このように、研修初日にこの課題をすることで、株式会社コモテックのことをある程度理解することができました。

【研修2日目】 8月29日(火)

研修2日目はサイトマップ制作と研修最終日に発表するプレゼンテーションの制作をしました。サイトマップ制作は実際に存在するホームページを見て、そのホームページの構成を理解して書くというものでした。大変難しい内容でしたが優しい社員さんの協力もありなんとか理解することができました。また、この日から始まったプレゼンテーション制作のないようは、「株式会社コモテックが運営しているショッピングサイトの売上を2倍にするためには」という内容でした。研修1日目で学んだように、さまざまな人の立場になって考えながら進みました。

【研修3、4日目】 8月30日(水) 8月31日(木)

研修3日目、4日目は前日に引き続き、研修最終日に発表するプレゼンテーションの制作をしました。数日にわたりパワーポイントを操作する中で、今まで知らなかった機能を活用できるようになりました。

【研修5日目】 9月1日(金)

研修5日目はプレゼンテーションの制作と発表、それに加えて営業に同行させていただきました。営業に同行させていただけるのは、アルバイトではなく、インターンシップ研修だからこそできることで、たいへん貴重な体験をさせていただきました。営業では、人との出会いが多いということや、明るく元気であり、相手の気持ちを理解しようとするこ

とが大切だということを学びました。難しいと思っていたイメージとは違い、『笑顔で話すこと』を基に行うものだと感じました。プレゼンテーション発表でも、『いかに相手の気持ちを考えるか』ということ指摘され、仕事をする上で必要不可欠なことなんだと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

このインターンシップ研修では、普段の学生生活では味わうことができないような経験を積むことができました。また、社員の方々がたいへん温かく接して下さり、うれしく思いました。そしてこの5日間で自分の知識のなさや意識の低さを痛感し、今の自分に足りないものを知ることができました。最終日に、もう一人のインターンシップ研修生に「一緒に研修した相手が岡本君でよかった」と言われ、5日間でコミュニケーション能力も少しは向上したと思いました。

最後に、インターンシップ研修生として受け入れてくださった株式会社コモテックの皆様には感謝の気持ちを持ち、今回学んだことをこれからの学生生活に生かしていきたいと思えます。

【23】佐伯公認会計士事務所

〒790-0002

松山市二番町 4-4-2 農業共済組合ビル 2F

経営学部経営学科 3年次生 徳永 真太郎

1. インターシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は、実際に職場で働いてみるという経験をして、仕事をするというのは、どのような感じかを実感して、今後の就職活動などのための参考にしたいと思ったからです。また、今回のインターンシップ活用の講義を受講して、あいさつや礼の角度などの礼儀作法などの様々なことをたくさん学び、それを今回のインターンシップ研修で活かしたいと思ったからです。

2. インターシップ研修先の選択

なぜ、私がインターンシップの研修先に佐伯公認会計士事務所を選択したかということ、私は高校生の時から、簿記を勉強し始めて、高校で日商簿記検定の二級を取得しており、今は、日商簿記検定一級の取得を目標に頑張っています。そして、この得意の簿記を活かした職業に就きたいと考え、会計事務所の仕事を実際に見てみたいと思い、今回のインターンシップの研修先に佐伯公認会計士事務所を選択しました。

3. インターシップ研修の内容

研修は五日間で、初日から四日間は佐伯公認会計士事務所でのデスクワークをして分からないところはすぐに聞いて疑問を解決し、最終日には実際にクライアントに会いに行きました。一日目は、毎日の現金の入金・出金を発生順に記帳して、現金の残高を明確にするための帳簿である現金出納帳の仕訳の集計や転記を行いました。また、午後からは、土地・建物・機械などの固定資産や繰延資産を管理するために作成する帳簿で、固定資産の種類別に分類した上で、取得日・取得価額などの明細を記録し、減価償却が必要な資産に関しては償却額なども記載する固定資産台帳兼減価償却明細書の作成しました。二日目は、前日の固定資産台帳兼減価償却明細書の作成の続きをしました。その後、企業のある一定時点における資産、負債、純資産の状態を表すために複式簿記と呼ばれる手法により損益計算書などと同時に作成され、その企業の株主、債権者その他利害関係者に経営状態に関する情報を提供したり、株式会社では官報、新聞、あるいはインターネット上での決算公告が義務付けられており、損益計算書とともに公告されて、一般的に、開業時、決算時、清算時に作成されるほか、月次で作成されることもある貸借対照表と、企業のある一定期

間における収益と費用の状態を表すために作成され、その企業の株主や債権者などに経営成績に関する情報を提供する損益計算書を、期首と期末で比較する比較貸借対照表・比較損益計算書を作成しました。また、この日から、実際に電話応対も行いました。三日目は、最終日に実際に行くクライアントの会社の貸借対照表と損益計算書を作成しました。また、ほかの会社の貸借対照表や損益計算書の作成をしたり、見たりしました。四日目は、主に、税務調査に関係することをしました。まず、月ごとの資料を作ったり、仕訳をしました。そして、車両運搬具と消費税の誤記入の仕訳と正しい仕訳の見分け方をしました。午後からは、消費税の申請書の作成や、チェックをしました。その後、減価償却の登録の作業をしました。最終日は、実際にクライアントの会社に行きました。最初に、香川県の観音寺にあるレトルト食品向け包材などを手がけるみすまる産業に行き、三日目に仕上げたみすまる産業をはじめ、その系列の会社の月次損益の推移表の確認や結果を報告するのを見学しました。その後、みすまる産業の子会社で、主に「金封」「折紙」「色紙」等の紙製品、及び雑貨を取り扱うメーカーであるジェイ・ピー・シーに行き、今度は自分が月次損益の成績と結果を発表しました。そして、五日間のインターンシップ研修を終えました。

4. インターンシップ研修を終えて

五日間のインターンシップ研修は私にとって、とても貴重な体験になりました。今までは、簿記の問題でしか作成したことがなかった貸借対照表や損益計算書を実際の会社のデータで作成し、会社によって、様々な様式があり、最初はとても困惑しましたが、何とか作成することができました。また、現金出納帳はいつも問題で見ていたものとは全く異なっており、最初は何もわかりませんでした。担当の方に質問することによって、徐々に理解し作ることができました。このように、今まで見てきた簿記の問題のような作り方以外にも様々な作り方があるのだなと実感しました。また、固定資産台帳兼減価償却明細書では、このようにして減価償却を登録し、減価償却を行っていくということを知りました。四日目の税務調査に関する作業では、あまり簿記では出されてなかったことが多くとても難しいことが多かったですが、担当者の方の話をしっかりと聞いたことで、意味を理解しました。そして、この税務調査の重要さも理解しました。最終日にみすまる産業の会社に行き、企業の社長との顔合わせがありとても緊張しましたが、やりきることができました。その後、社長も交えて、月次の損益の結果報告の発表をしているのを見学し、何を見て、どう判断するのかなどを理解しようと思いました。そして、みすまる産業の子会社のジェイ・ピー・シーに行き、担当の方がみすまる産業の時に発表していたように、自分も月次損益の発表をしました。こちらとても緊張しましたが、単位の違いに気を付けて発表することができました。発表後、普段見ることのできない工場の中を少し見させていただき、とても勉強になりました。事務所に帰る途中で、税務署によって、消費税申告書の受け取りもしました。このように、この五日間で、私は簿記の問題に出てきていたこと以外にもたくさんの事例があるということを知ることができました。私は、今回のインターンシップ研修先に、佐伯公認会計士事務所を選択してよかったと思いました。そして、実

際に職場で働くことにより、仕事をするのはどういうことなのかを少し実感することができ、就職活動のための参考になりました。この経験を活かし、これからの就職活動につなげられるようにしていきたいです。また、前期でのインターンシップ活用の講義で学んだ礼儀作法を意識して行動することができたと思うので、これからも大事にしていきたいと思います。そして、この学んだことを、きちんと心の中に憶えておき、後期のインターンシップ活用の講義に臨んでいきたいと思います。

【24】NPO 法人西条まちづくり応援団

〒793-0025

愛媛県西条市栄町 265 番地

経営学部経営学科 2年次生 相原 悠伽

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けようと思った理由は、三つあります。一つ目は、コミュニケーション能力の向上のためです。私は、人見知りが激しいため自分から人に話しかけることが苦手です。しかし、人と話すことは好きなので人と関わるが多いところに就職したいと思っています。そのためには、人見知りを克服しなければいけません。二つ目は、自分の得意不得意を知るためです。私は、何が得意で何が不得意か分かっていません。将来は、自分の得意な分野を活かした企業に就職したいと思っています。それに加えて、自分は何が不得意なのかを知り、それを残りの学生生活で克服するようにもしたいと思っています。三つ目は、社会の環境を体験するためです。学生であるうちは、アルバイトは経験できても、実際の企業で仕事をするという経験はあまりできません。やはり、アルバイトと仕事はする作業が全然違います。だから、社会人になる前に少しでも社会の雰囲気を知りたいと思いました。それらのことを踏まえて、この三つのこと成し遂げるにはとても良い機会になると思い、インターンシップ研修を受けることにしました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がこの研修先を選んだ理由は、二つあります。一つ目は、様々な人とコミュニケーションをとる機会が多いからです。ここは、たくさんの団体や組織の公益的な活動や企業の社会貢献活動などを広く支援しています。よって、関係者の方々がよく相談に来られます。また、ここの会議室を利用することもできます。だから、毎日のように予約が入っているため、絶えずお客さんが来られます。だから、ここはたくさんの方とコミュニケーションをとる良い機会です。二つ目は、パソコンを多く利用するからです。社会に出たら、パソコンを利用する機会が多くなります。ここでは、パワーポイント・エクセルを利用したり、フェイスブックやブログを書いたりします。特にエクセルは、利用する機会が多いです。授業で習っているときには理解していても、実際に一人でグラフを作るとなったら、難しいです。社会に出たら、どんな機能をよく利用するかなどを今のうちに知って理解し、将来困らないようにしておきたいと思いました。この二つは、私の苦手な分野です。だからあえて、今のうちに経験しておこうと思い、この研修先を選びました。

3. インターンシップ研修の内容

<フェイスブック・ブログの記事作成>

何かイベントがあったときや、伝えたい情報があるときにフェイスブックやブログで記事を作成し、投稿します。だれが読んでもわかりやすい言葉遣いをしているか、伝えたい事を明確に記しているか、使っている写真は適切かどうかなど、一つの記事を書くにもたくさんの注意点がありました。

<スタッフミーティング>

定期的にスタッフ内で共有しておかなければならない情報をそれぞれ言っていき、まとめます。研修生も、気づいたことがあれば、発表します。そこでまとめたものや今後の予定などをまとめた議事録をミーティングのあと、作成します。

<取材>

今回は国際交流をすすめる会の展示物の取材をしました。この展示物は、いろいろな国の衣食住やその土地の気候や特徴を活かした生活様式などを、写真や文章にまとめていました。これらの様子を写真で撮影し、記事にします。

<大学教授の講演会>

高崎経済大学の教授が、「実践に学ぶ これからの地域づくりへのヒント」というテーマのもと、講演会を開いてくださりました。なぜ今、地域づくりなのか、新たな地域づくりの展開、これからの地域づくりに向けての順で話してくださいました。地域をより良いものにするために、たくさんの人が頑張っていることを知り、とても感動しました。

<ヒトづくり塾>

西条を元気にしたいという想いを持っているけれど、まだその一步を踏み出せていない方や今している活動をもっと発展させたい方の想いや夢の実現に向けたプランづくりを応援するためにあるのがヒトづくり塾です。塾長や様々なゲスト講師のアドバイスを受け、自らの想いを実現するためのマイプランの完成を目指します。皆さんの市民活動に対する思いが伝わってきました。

<つなカフェ>

あるテーマに合わせてゲストスピーカーをお招きしたり、交流会をしたりして、人と人が繋がる場です。今回は、Team浜ちょボ実行委員会さんをゲストスピーカーに迎えて開催しました。「浜ちょボ」という名前に託された想いや、取り組んできた事業など、興味深い内容がたくさんあり、参加していただいた皆さんもとても勉強になったと絶賛していました。しかも、今回のつなカフェを通して、浜ちょボに加入した参加者の方もいらっしやいます。まさに、活動や人の輪がつながるカフェとなりました。

<西条まちづくり応援団副理事長の講演会>

協働の極意教えます！というテーマのもと、市民活動を始めたきっかけや協働の基盤作りをしていく中での問題をクリアしていくコツなど話してくださいました。この講演会は、インターンシップ生がメインとなって、司会・準備・プレゼン操作をしました。何度も打ち合わせをして、話す内容、プレゼン資料、会場の配置などを考えました。

<ショーウィンドウ展示物作成>

インターンシップ生がこの研修中にやってきたことを、模造紙三枚にまとめて展示します。写真や文字の配置、色画用紙の使い方など全て自由なので、誰が見てもわかりやすいものに仕上げるために、工夫が必要です。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の研修を通して一番思うことは、普通に生活しているだけなら絶対に経験できなかったことを経験させていただいたと思います。自分たちの地域を、自分たちの力でよりよいものにしていこうとしている方々といろいろな形で接すること。自分たちインターンシップ生メインで講演会の準備をし、開催すること。何もかもが初めてで、最初はできるわけないと思い、不安でいっぱいでした。しかし、なにをするにも一人ではなく、仲間と協力すればできないことはありませんでした。人と関わることで、自分の成し遂げられる幅が大きく広がることを改めて実感しました。これは、生活していくうえでどの状況にも当てはまることです。インターンシップ研修の目的であったコミュニケーション能力の向上には、大きく貢献できたと思います。残念ながら、周りの方々から話しかけてくださり、自分から進んで話しかけることはあまりできなかったように感じます。しかし、話を聞いて意見を言うことはできていると言ってくださいました。またそれが、自分の得意不得意なのだと思います。誰かが何かを始めると、それにしっかりついていくことはできる。しかし、その何かを自分から発信することはできない。だから、自分が何かを考え、積極的に行動する能力が必要だと思いました。これからの学生生活でこれを課題とし、コミュニケーションをとる機会があれば、自ら積極的に発言したいと思います。本当に今回の研修では貴重な経験をさせていただき、これからの学生生活を見直す良い機会となりました。このような機会を与えてくださったスタッフの方々、10日間一緒に頑張ってくださいました研修生には本当に感謝しています。ありがとうございました。

【25】佐川印刷株式会社

〒791-8018

愛媛県松山市間屋町 6-21

経済学部経済学科 2年次生 澤口亜佳音

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップ研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分を成長させるためです。具体的には、コミュニケーション能力を向上させたいと考えており、社会で必要な基礎能力をレベルアップさせたいと考えました。その中でも、臨機応変な対応力や自発力・発信力を伸ばしていきたいと考えています。2つ目は、将来働く自分をイメージするためです。インターンシップでは、働くことのイメージを掴むことができます。イメージを掴んでおくことで、将来自分が社会人になった際、この経験が役立つと思うし、強みにもなると考えました。以上が私のインターンシップ研修の目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

私は当初、佐川印刷株式会社について何も知りませんでした。知るきっかけとなったのは、ゼミガイダンスで佐川印刷の名前が挙がったことです。その際、佐川印刷がどのような企業で、どのような事業を行っている会社なのかを知りました。そのことがきっかけで興味を持ち、6月にあった合同説明会でさらに詳しく説明を聴きました。印刷を通して、地域活性化や愛媛発信に力を入れている企業だと知り、愛媛に根付いた活動・事業に惹かれ、インターンシップに参加したいと思いました。また、もともと地域活性化に関心があったことと、考えたアイデアを形にして伝えるという事に興味があったため、佐川印刷株式会社のインターンシップが自分のやりたいことと合っていると感じ、参加しようと決めました。

3. インターンシップ研修の内容

[ビジネスマナー研修]

最初に自己紹介を兼ねて、学校生活と会社生活の違いについて発表を行ったり、模擬電話を使い電話対応の練習をしたりしました。電話対応の練習は、研修の目的でもある“Eのさかな”という佐川印刷が作成しているフリーペーパーの売り込みのアポ取りで使用するため何度も練習をしました。その他にも、来客対応や訪問のマナーを資料を使いながらご指導いただきました。授業で学んだ「クッション言葉」も教えていただきました。

[アポ取り]

ビジネスマナー研修で学んだことを活かして、実際に佐川印刷で作成している“Eのさかな”を売り込む先のアポ取りを行いました。“Eのさかな”は愛媛の水産業を発信・紹介しているものです。しかし、魚を掲載するだけではなく、その魚を使った料理やレシピを紹介したり、釣具屋さんや飲食店、ホテルなどを掲載したりしています。ホテルなどは一見魚と直接関係ないように見えますが、この雑誌を見て愛媛に観光に来た方が雑誌に掲載されているホテルを利用するという可能性があります。この様な間接的な“Eのさかな”との関係性をお客様に紹介し、掲載させていただく依頼を自分たちでテレアポし行いました。テレアポ先を調べるなどの下調べも行いました。私は合計で約8件の飲食店やホテルにテレアポをしたのですが、残念なことにアポを取ることができませんでした。しかし、佐川印刷既存のお客様にお願いし、そちらに訪問させていただきました。

[“Eのさかな”売り込み訪問]

佐川印刷既存のお客様のところへ、“Eのさかな”売り込み訪問に伺いました。私は釣具屋さんに売り込み訪問をさせていただきました。売り込み内容は、“Eのさかな”とお客様の関連性のご説明や“Eのさかな”の特徴をご紹介し、ぜひお客様の広告を掲載させていただきたいという売り込みです。企画書に沿ってお話を進めたり、お客様と“Eのさかな”の関連性をお伝えしたりしながらご紹介しました。また、こちらから一方的に紹介するのではなく、雑談を交えたり、お客様から話を引き出したりとそこから話を広げていくことも意識しながら行いました。

[営業同行]

営業同行では、主に愛媛県庁や愛媛国体に関連したお仕事に同行させていただきました。愛媛国体の準備で、県庁に伺うことが多かったのだと思います。案の修正や提案を間近かで拝見させていただきました。また、営業同行させていただいた際、営業先の方との名刺交換の場を設けてくださり、沢山の方と名刺を交換させていただくことができました。

[打ち合わせ]

社内での打ち合わせとお客様との打ち合わせ、2つに同席させていただきました。チラシやweb作成の打ち合わせを拝見させていただきました。研修は9月にあったのですが、クリスマスケーキやおせちなどのワンシーズン先のチラシや広告作りを行っていました。

[日報作成]

1日の研修を終えたら、パソコンで、その日のスケジュールとそこから感じたことや学んだことを記入し振り返りました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップでは、沢山のことを学び、刺激を受けたと同時に、上記で述べた2つの目的を成し遂げられたと思います。コミュニケーション能力向上のために掲げていた「最低でも1日3回は自分から話しかける」という目標も達成できました。また、円滑なコミュニケーションを行うためには「報・連・相」の徹底が重要だと学びました。将来の働く

自分像も6日間のインターンシップを通して掴むことができたと思います。研修から得たことは数え切れないほどありますが、特に確認の重要性とものづくりについて学び、考えさせられました。営業同行では、どんなに小さなことでも確認をすることで、自身も相手も安心でき、ミスを事前に防ぐことができると学びました。「報・連・相」の考えと類似しているとも思います。営業はもちろん、社内のちょっとした確認もきちんと行うことが大切だと感じました。打ち合わせでは、1枚のチラシを作成するのに沢山の人が関わっていることを知り感動しました。大きさ関係なく、チラシ1枚を作るのに沢山の人が試行錯誤しお客様に一番いいものをお届けしようと奮闘している姿に、ものづくりのやりがいと凄さを感じました。また、自分が1番スキルアップできたと思うのが、テレアポ練習・アポ取りです。説明されたことを頭の中で理解していても、練習や実践では全く活かすことができませんでした。しかし、失敗を重ねることで改善点を自分で考えたり、失敗が自信に繋がったりしました。上手くできず苦しいと感じましたが、嫌なことから逃げず取り組めたことは、自分の自信になり強みになりました。研修初日や2日目は、働くことの大変さに圧倒されていましたが、後半からは気持ちに余裕が持て、働くことの楽しさを感じながら過ごすことができました。今回の研修で学んだことを、今度の就職活動や学校生活、アルバイトなどで生かしていき、日々精進して参ります。

最後に、お忙しい中ご指導して下さったインターンシップ担当者の方をはじめ、社員の皆様には感謝申し上げます。6日間貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

【26】株式会社サニクリーン四国

〒791-8025

愛媛県松山市衣山5丁目1-23

経済学部経済学科 3年次生 大城 匠

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップ研修の目的は二つあります。一つ目は自己分析をするためです。自分には何が出来て、何が出来ないのか、そして自分の強みは何なのかを理解しておくことは就職活動を進める際、自分に合った職種を見つける上で重要なことだと思います。そのようなことを、インターンシップ研修を通して理解しておきたいと考えました。二つ目は、今のうちに「社会で働く」ということを経験しておきたいということがあります。やはり学生と社会人というのは立場や環境が大きく違うと思います。そこで社会人の環境を今のうちに実感しておくことで、その経験を自分が就職したときに生かしたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が株式会社サニクリーン四国を研修先として選んだ理由は二つあります。一つ目は研修内容が体験型であったため「働く」ということを自分の身を持って感じる事ができると思ったからです。また自分自身、営業職に興味があり、営業を体験できるということだったので自分に合っていると感じました。二つ目は株式会社サニクリーン四国さんが挨拶を大事にしているというところに惹かれたからです。「挨拶をする」というのは社会人として当たり前のことです。しかし自分は、その当たり前のことがしっかり出来ているとは思えません。そこで基本的な当たり前のことを徹底している株式会社サニクリーン四国で研修をさせていただくことで、自分自身を改めて見つめなおすことが出来るのではないかと考えました。以上の理由から株式会社サニクリーン四国を研修先として選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月21日(月)～8月25日(金) 5日間

1日目 9時～17時 各事業部の説明、取扱商品の説明、現場実習

研修初日は、午前中にまず各部署の方々に挨拶をして、その後会社概要の説明をしていただきました。サニクリーン四国はダストコントロール事業をはじめとして、オートライフ事業、ユニフォーム事業など様々な事業を展開しており、その幅広さに驚きました。午後からは実際に業務を体験するという形で、商品部でマットの仕分けをさせていただきました。マットは想像していた以上に重く、それを何枚も持って仕分けていくので体力の

いる仕事だと感じました。研修初日は働くことの大変さを感じる事が出来ました。

2日目 9時～16時 ルート同乗、現場実習

2日目は営業部の社員の方にルート同乗させていただきました。この日の業務は、社員の方が担当しているお客様のところを訪問し、マットやモップの集配を行うという内容でした。その時に感じたこととしては、スムーズに仕事を行うためにも予め訪問先の場所や営業時間を把握しておくなどスケジュール管理が大事だということです。また、車で移動中も社員の方は新たに立地されている店舗がないか気かけたりするなど常に周りの変化にも目を配り、そういった所を見つけると営業をかけていました。そこで私は、常に周りをみながら仕事をするのが大事だということを学びました。2日目は、実際に営業に同行させていただいたことで営業に対する理解を深めることが出来ました。

3日目 9時～17時 ルート同乗、現場実習

3日目も社員の方にルート同乗させていただきました。この日の業務は、お客様が普段の清掃では掃除をするのが難しい所をサニクリーン四国のスタッフが代わりに清掃し、クリーンアップを行うという内容でした。午前中は予定していた業務が中止になったので別の業務をしたのですが、その時に、予定が変更になった時に臨機応変に対応する能力が仕事では必要だと感じました。そして、午後は予定していた病院のクリーンアップを行いました。清掃をする時間は決まっており、その時間内に全て終わらせないといけないので正確性はもちろん効率性も求められる仕事だと感じました。最後にお客様に清掃した場所を確認して頂いたのですが、その時に「ありがとうございました」という言葉をいただき、それが仕事のやりがいの一つなのかなと感じました。

4日目 9時～17時 ルート同乗、現場実習(ユニフォーム事業部)

4日目はユニフォーム事業部の社員の方にルート同乗させていただきました。この日の業務は社員の方が担当しているお客様のところをまわり、ユニフォームの集配を行うという内容でした。ただ単に集配するのではなく、集配時にはユニフォームのポケットなどにお客様の忘れ物がないかなどの確認や枚数の確認をしました。それは忘れ物があるとお客様が困るといったことや、またユニフォームを洗うときにポケットに物が入ったままだと洗えないということかららしく、そういった配慮も仕事には必要なのだと感じました。また、車で移動中には社員の方からいろいろな話を聞くことが出来ました。実際に社会人の方から話を聞く機会は普段あまりないのでとてもいい経験ができました。

5日目 9時～17時 ルート同乗、現場実習

最終日はホームサービスの営業に同行させていただきました。この日の業務は一般家庭を訪問し、マットやモップの集配を行うという内容でした。2日目や4日目のルート同乗では企業などを主にまわっていたのですが、この日はこれまでと違って一般家庭をまわり

ました。その時に感じたこととしては、お客様のことを「知る」ということが大切だということ です。これから訪問するお客様がどういったお客様なのか理解しておくことで、より良いサービスが提供できるのだと感じました。そして業務を終えると会社に戻り、インターンシップ研修のまとめを行いました。その際に、研修を終えて自分がどれだけ成長できたのかを見つめ直したり、社員の方から就職活動に関するアドバイスをいただきました。とてもためになるお話でいい経験ができました。

4. インターンシップ研修を終えて

5 日間のインターンシップ研修を通して、社会人としての責任の重大さや働くことの厳しさを学ぶことが出来ました。またそれと同時にコミュニケーション能力の重要さにも気づくことが出来ました。コミュニケーション能力に関しては大学の講義などでも言われているのですが、実際の業務を通してその重要性をより一層痛感しました。自分のコミュニケーション能力は全然ダメで、もっと「自分の声を出す」ということを意識していこうと思いました。しかし、自分自身の研修の目的の一つとして「自己分析をする」ということを掲げていたので、そういった意味では目的を達成することはできたのではないかと思います。今回の研修では、普段なかなかすることの出来ない貴重な体験をすることが出来ました。研修で学んだことはしっかりと自分のものにして、今後の学生生活や就職活動などに生かしていきたいと思います。

【27】 四国医療サービス株式会社 国際ホテル松山

〒790-0001

愛媛県松山市一番町 1-13

経済学部経済学科 3年次生 吉田 枝里子

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は大きく分けて2つあります。1つ目は、「働く」とはどのようなことなのか学ぶことです。企業で働くというイメージが曖昧であるため、実際に身をもって体験したいと思ったからです。2つ目は、自分がどのような人間なのか知りたかったからです。働くことで自分の長所と短所を客観的に見てもらい、これからの大学生活でどう成長すべきなのか具体的に目標を立てることができればと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、アルバイトで居酒屋のホールスタッフをしていることもあり、人と関われるような仕事に就きたいと思っていました。ホテル業はたくさんのお客様と交流できる場所であり、お客様に喜んでもらうためのおもてなしや適切なマナーを学べると思い研修先に希望しました。国際ホテル松山は、多様な部門で活躍されていることから幅広い知識を得られると思いました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月3日（木）～8月9日（水） 5日間（8月6・7日を除く）

8月3日（木） 担当者の方の施設説明、おもてなしやマナーについての指導、
宴会場設営の手伝い

1日目は、お世話になる部署の方々に挨拶をして、その日の午後に行われる宴会の会場設営の手伝いをさせていただきました。お客様のことを第一に考え、1から作り上げる会場は、大きな机の移動やたくさんの食器類の運搬等で体力をかなり使いますが、その分やりがいや達成感を感じさせる仕事でした。午後は、研修担当者の方に美しく見せるためのおじぎや立ち振る舞いについて詳しく教えていただきました。細かなところまで常に意識して行動することが最高のおもてなしに繋がっているのだと思いました。

8月4日（金） ビアホール・宴会場設営の手伝い、会議のお茶出し、
ドリンクカウンターのスタッフ

2日目は、15時頃から始まる会議のお茶出しをさせていただきました。お客様に当た

らないように体を傾けて注ぐ、見栄えがいいように湯呑みの向きを揃えて置くなど、お茶出し1つでも徹底した気遣いが施されており、これがプロの接客だと思いました。そして19時から宴会場のドリンクカウンターのスタッフを体験しました。アルバイトではお客様に見られながらドリンクを作ることがなかったため、緊張感と不安でいっぱいでしたが、お客様の前では常に笑顔を心掛けました。

8月5日(土) 宴会場設営の手伝い、ビアホール会場の準備・スタッフ

3日目は初めてビアホール会場へ行き、準備だけでなく、実際にスタッフとして働かせていただきました。私はビールの注ぎ方の説明や少なくなっているドリンクの補充の仕事をしました。準備作業は、グラスや生ビールの樽などを一気に持って運んだり体力仕事で、社員の方が一緒に持ってくださいました。体力には自信があったのですが、全く歯が立たないと痛感しました。ホールスタッフでは社員の方に言われてから気づくことが多く、氷やドリンクの補充が遅れてしまいました。社員の方はお客様の案内や料理出し等、自分の仕事をしながら他の仕事にも目を向けていて、私は気配り不足だったと反省しました。その反面嬉しい出来事もありました。不慣れな説明であるのにも関わらず、「ありがとう。」と言ってくださるお客様がたくさんいらっしゃったことです。温かい気持ちになり、やはり私は人と話すことが好きだと再認識できた1日でした。

8月8日(火) ビアホールスタッフ、グラス拭き

4日目もビアホールスタッフの仕事を中心にさせていただきました。先日体験していたので、思っていたよりスムーズに作業出来ました。3日目の反省点でもあった目配り・気配りを考えて行動することを心掛けました。社員の方もその点を褒めてくださり、目標をもって行動することの大切さを改めて感じさせられました。

8月9日(水) 備品準備、グラス拭き、ドリンクカウンターの補助

5日目は国際ホテル松山の一大イベントが予定されており、スタッフの方々が朝から忙しくされていて、グラス拭きなどをして少しでも力になればと取り組みました。グラス拭きだけでも水の一滴も残ってはいけないため、1つ1つ灯りに照らして確認する徹底ぶりです。ただの作業にするのではなく、常におもてなしの心を持つことが必要だと学びました。大事なイベントであるのにも関わらず、ドリンクカウンターの補助をさせてもらい、少なくなった瓶ビールやドリンクを裏に取りに行くため、終始ずっと動きっぱなしでしんどかったですが、一大イベントにスタッフとして少しでも参加できたことは貴重な体験であり、なおかつ嬉しいものでした。落ち着いた時には社員の方々が優しく声を掛けてくださり、緊張もほぐれました。普段、何の不自由もなく宴会やパーティーが出来るのは、裏でたくさんの方々が協力して完成されるものであることを、身をもって知った1日でした。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間というインターンシップ研修の日数としては短い期間だったのですが、学びは多くありました。宴会や婚礼の成功は、各部署の方々が助け合うチームプレーあってこそだと知りました。そして、どんな仕事においても手を抜くことは絶対許さず、常にお客様のことを最優先に考えながら1つ1つ行動することが大切だと学びました。アルバイトの時にも、インターンシップで学んだおもてなしの心を忘れないようにしたいです。

国際ホテル松山には本当にお世話になりました。インターンシップ生は私だけだったので、緊張と不安でいっぱいでしたが、社員の皆さんが温かく迎えてくださったことで、5日間体力的にしんどい場面もありましたが、楽しく乗り切ることが出来ました。社員の方とたくさん交流するという目標も達成できたと思います。最終日には「お疲れ様、ありがとうね。」「バイト先絶対食べに行くけんね。」などたくさん嬉しい言葉をかけてくださり、国際ホテル松山でインターンシップをして本当に良かったなと思いました。インターンシップ研修で学んだことを今後の大学生活及び就職活動に活かしていきたいです。

【28】株式会社ジョイ・アート 坊ちゃん劇場

〒791-0211

愛媛県東温市見奈良 1125

人文学部社会学科 3年次生 島田 美彩

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つある。1つは社会人として働くことはどういうことなのか知ることだ。私は就きたい仕事も具体的に決まっておらず、何のために働くのか、仕事を決めるとき何を優先すべきなのかイメージができない。そこでインターンシップを通して社会人の方と交流することで、働くことを知りたいと考えた。

2つ目は自分を知ることだ。自分の長所や短所、向いていることは何なのかなど、実際にインターンシップで仕事をしていく中で知っていけたらと思った。そして、就職活動に向けて長所を伸ばしたり、就きたい仕事を考えるヒントにして、残りの学生生活を有意義なものにしたいと考えた。

2. インターンシップ研修先の選択

私が株式会社ジョイ・アートを研修先に選択した理由は役者や裏方のプロの世界が見れると思ったからだ。私はコンサートに行くのが好きで、ステージ上の照明などでの魅せ方や大道具などに興味があった。株式会社ジョイ・アートで坊ちゃん劇場の運営や裏側を見ることは、自分が興味のある分野に通ずるものがあるのではないかと考えた。また、好きなことを仕事にしている人を見たいという思いもあった。私はよく就きたい仕事を考える時、好きなことを仕事にすべきか趣味で終わらすべきか考える。坊ちゃん劇場ではミュージカルの役者・裏方と言う特殊な仕事であるからこそ、そこで働く方々の姿を見たり、話を聞くことでその答えが見つかるのではないかと考えた。

3. インターンシップ研修の内容

1日目は出勤してすぐチケットの回収やパンフレットの配布などのフロントスタッフ業務から始まった。いきなりで緊張はあったが、思いのほかスムーズに業務をこなすことができた。しかし、お客さんへのあいさつなどは課題だと感じた。その後は客席から観劇をして、劇終了後はアンケートの回収を行った。午後からは、研修生同士自己紹介をして、これからの日程についての話し合いとそれぞれ将来何をしたいかや好きなことについて話をして1日目は終了した。

2日目は、まず本番前の確認を行っているところを見学させてもらって、役者の方々に

自己紹介をした。その後売店でコーヒーの作り方を教わって、その日は研修生のうちの1人が売店を体験できるということだったので、立候補して売店の体験をさせてもらった。しかし、お客さんの注文に臨機応変に対応できず一緒に入っていた担当の方に頼りきりになってしまった。その後客席から観劇して、アンケートの回収とひざ掛けの整理を行った。お昼からは株式会社ジョイ・アートが行っている子供たち向けのワークショップの様子を見学させてもらった。役者がゲームを通して子供たちが表現したり友達との輪を広げる手助けをしていた。こういった活動をしていることを知って驚いた。その後休憩を挟んで劇場グッズの提案を行った。そこではどこにターゲットを絞るかや、過去の失敗例などのお話を聞いて、商品開発について学べた。自分なりに学生としての意見も出せた。

3日目は午後の公演までの時間を利用して劇場内一周ツアーを行った。ステージや小道具、照明、音響の見学をさせてもらった。ステージの仕掛けや機材などを見ることができた。その後休憩を挟んでチケット回収などのフロントスタッフ業務を行った。公演の間は担当の方から経営についてのお話を聞いた。また、営業課長からも劇場についてや劇場運営の大変さややりがいについてのお話を聞くこともできた。最後に千秋楽を迎える役者さんのセレモニーを見学して終了した。

4日目は、役者の入れ替えがあったためロビーのキャスト写真の取り換え作業から始まった。作業をしていると役者さんにお礼を言われて、嬉しくてやりがいを感じた。その後アートヴィレッジとアウトリーチの視察を行った。舞台上で地域活性化やキャリア教育などの活動もしていることを知れた。劇場に戻ってから新キャストの劇を観た。雰囲気が変わり変わって、役者によって色があることを改めて感じた。

最終日はまず客席案内を行った。インターンシップ中で一番お客さんと接した時間だったが、最初は緊張して上手く接客できなかった。その後1幕を照明のオペレータールームから見て、2幕をピンスポットルームから見た。どちらも役者の動きと音響のタイミングに合わせて行うため、気を抜けない緊張感のある現場だった。プロの技術を間近で見れて貴重な経験となった。オペレータールームの担当の方にはこの仕事を始めたきっかけなどの話もできた。劇終了後、休憩を挟んで仕事についての講義を受けた。まず、何のために働くのか研修生同士で意見を出し合ってから担当の方からのお話を聞いた。担当の方は、仕事にはお金とやりがいと人間関係のバランスが大事で、3つそろふことはまずなくて、1年はしんどいけど乗り越えれば何のために働くのか見えてくるとおっしゃっていた。仕事に夢や理想をもっていいという言葉聞いて少しほっとした。こうして5日間の研修は終了した。

4. インターンシップ研修を終えて

今回坊ちゃん劇場で劇場運営や役者など特殊な仕事に触れることができ良かったと思う。なぜなら、プロの意識やチームとしての連携の強さを見て、自分も自分にしかできない仕事してみたいと思ったからだ。また、好きなことを仕事にすることは好きだからこそ苦しんだり、仕事にすることで責任が生じて好きなものとして見れなくなるという欠点

があることも分かった。でもその分やりがいがあったり、好きなものを共感しあえる仲間と仕事ができることはとてもいいことだと聞いて、好きなことを仕事にするのも考えてみようと思えた。また、照明の方が元々大道具で、照明を1から覚えたとおっしゃっていて何か始めるのに遅いなんてことはないんだなと感じた。私ももう一度好きなことに向き合って、どう仕事につなげるか考えてみようと思う。今回株式会社ジョイ・アートの研修に参加できたことはこれから就職活動を行う上でとてもいい経験になったと思う。5日間、キャストの入れ替えなど多忙な中インターンシップ研修を受け入れてくださった株式会社ジョイ・アートの皆様、付き添って貴重な話をしてくださった担当の方に感謝の気持ちでいっぱいだ。

【29】 ジョブカフェ愛 Work（一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構）

〒790-0012

愛媛県松山市湊町3丁目4-6 松山銀天街 GET!4 階

法学部法学科 3年次生 橋本 翔

1. インターンシップの研修の目的

私のインターンシップの目的は2つあります。1つ目は、ビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付けることです。私自身の能力がどの程度身につけているのか、社会人の方とどのようにすればうまく話すことができるのかということを知りたいと思いました。2つ目は、企画・運営・広報について学ぶことです。学生支援サークルに所属しているため、活動に生かせることを学びたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は自分自身の目的から、ジョブカフェ愛 Work が学生に向けてセミナーやイベントを開催しているのを知っており、そのような場所で学ばせていただくことが、目的に1番あっていると考え選択しました。

3. インターンシップの内容

インターンシップは8月2日～8月15日の10日間で行われました。

インターンシップではジョブカフェ愛 Work から3つの課題設定がなされました。

1つ目は自己課題です。私は、「毎日、5人以上の方と挨拶を自分からする。」と設定しました。2つ目は、館内案内ができるようになるということです。3つ目は、プレゼンテーション課題です。「学生が行きたいと思う短期インターンシップとは？」というテーマのもとジョブカフェ愛 Work が冬季の短期インターンシップ参加企業へ説明する際に使用できる資料の作成をするという課題でした。

1日目（8月2日）

機構の取り組みや歴史、事業説明から始まり、課題の一つであるプレゼンテーションについてレクチャーをしていただきました。ここでは、「プレゼンは、ゴールではなく、スタートであり、相手にアクションしてもらうためにする」というお言葉をいただき、プレゼンに対する意識が変わりました。振り返り際には個人目標としていた「毎日、5人以上の方と挨拶を自分からする。」という目標に「挨拶+1」というスローガンのもと挨拶だけでなく、あいさつの後に会話をすることが大切だということがわかりました。

2日目（8月3日）

プレゼンテーションの準備、受付体験をしました。プレゼンテーションの準備では、自分たちで行ったアンケートを集計しました。受付体験では、慣れない言葉使いや電話連絡など苦手な所が多かったですが、丁寧にご指導していただき、受付業務をうまくすることができました。

3日目（8月4日）

プレゼンテーションの準備、館内案内レクチャー、ジョブカフェ愛 Work のサービスの中のかかりつけ相談、適性診断を体験しました。かかりつけ相談では、キャリアコンサルタントの方に面談をしていただき、自分の過去の行動から、強みや特徴について、理解することができました。

4日目（8月7日）

プレゼンテーションの準備、館内案内レクチャー、冬のイベントの打ち合わせに参加しました。館内案内レクチャーでは、説明する際には要点を抑えることも大切だが、説明自体の流れも大切だということがわかりました。

5日目（8月8日）

プレゼンテーションの準備、8月12日のイベントの打ち合わせ参加、教育グループの打ち合わせを体験しました。打ち合わせの際は終始質問が飛び交っており、質問から問題点や新しいアイデアなどが生まれており、自分たちのサークルの打ち合わせにも、取り入れていきたいと思いました。

6日目（8月9日）

館内案内レクチャー3回目、プレゼンテーションの準備を体験しました。館内案内レクチャーでは、目線や表情などの指摘をしていただきました。しっかりと鉄名刺ながら、相手の様子を伺うことを学びました。

7日目（8月10日）

館内案内本番、プレゼンテーションの準備館内案内本番では、今まで教えていただいたことをしっかりと押さえて案内することができました。

8日目（8月12日）

愛媛の魅力発見交流会イベントに参加者とスタッフとして参加しました。

Uターン・Jターンした社会人の方のお話により愛媛の魅力を理解できたことや交流テーマに沿って企業の中で生かされている能力や職業を知ることができました。また、スタッフとして人の少ないブースに参加するなど運営の面でも上手くスタッフとして働くことができました。

9日目（8がつ14日）

プレゼンテーションの準備、プレゼンテーションのリハーサル、愛媛の魅力発見交流会イベントの振り返りをしました。プレゼンテーションのリハーサルでは、自分たちの気づくことができなかったアンケートの分析やグラフの種類・使い方などを指摘していただきよりプレゼンテーションのアイゼンをすることができました。

10日目（8月15日）

プレゼンテーションの準備、プレゼンテーションの本番をしました。本番では、これまでの成果としてよい発表となったと思いました。しかし、自分自身の反省として、身振り手振りや目線など発表の後にたくさんフィードバックを頂いたのでこれからの人生に生かしていきたいと思いました。

4. インターンシップを終えて

私はインターンシップを終えて様々なことを学ばせていただきました。目的としたコミュニケーション能力は「挨拶+1」というスローガンのもと、あいさつだけでなく天気、趣味などで会話を広げ、より社会人の方と話しやすくなったり、打ち解けることができたと思います。これは今後の大学生活はもちろん社会人なってからも役立てることができると思いました。企画づくり・運営・広報を学ぶという目的の面では、いかに、参加者の立場に立てるか・参加者のことを考えることができるかということが改めて重要だということがわかりました。自分たちのサークルの中でのイベントでもより、参加者のことを考え、いい時間を作っていきたいと思いました。また、プレゼンテーションの課題では、はじめのレクチャーの際に、「プレゼンは、ゴールではなく、スタートであり、相手にアクションしてもらうためにする」というお言葉をいただき、プレゼンに対する意識が変わりました。その言葉を聞くまで、私自身もプレゼンテーションをすることがゴールだという認識がありました。

しかし、社会に出るとプレゼンテーションをして、その企画が採用させて初めて仕事がもらえ、仕事が始まるということがわかりました。また、愛媛の魅力発見交流会イベントの際にもっと、説明会やイベント・セミナーに参加したいと思いました。愛媛の魅力発見交流会イベントに参加し、もっと知らない業界を見てみたいと。そのため、ジョブカフェ愛媛 Work のイベントに積極的に参加したいです。

【30】株式会社スイッチカンパニー

〒790-0065

愛媛県松山市宮西1丁目8-12 宮西ビル2F

経済学部経済学科 3年次生 菅 柚衣乃

1. インターンシップ研修の目的

私が、このインターンシップ研修を受けようと思った理由は、自信を持って就職活動に取り組めるよう、少しでも自分を成長させたいと思ったからである。研修を受けるにあたり、3つの目的を立てた。1つ目は、自分で考え、臨機応変に対応することである。自分で考えるということ意識して行動をしたことがあまりないため、意識して行動すればより多様な視点から物事を見ることができるようになると思ったからである。2つ目は、働くとは何かを知ることである。働くことはどういうことなのか明確にできていないため、このインターンシップで発見したいと思う。3つ目は、働く上で何が大切かを知ることである。働く人は何を大切に、仕事に取り組んでいるのかを学びたいと思う。これら3つの目的を達成するために、事前準備をしっかりとし、報連相を心掛けながら、自ら進んで行動することを目標とする。

2. インターンシップ研修先の選択

私が、株式会社スイッチカンパニーを選んだ理由は、イベントの運営に携わらせて頂けるということで、その裏側でどのような準備がされ、どのように行動や活動がされているのかを見てみたかったからである。また、株式会社スイッチカンパニーの合同説明会にもその後の個別説明会にも参加させて頂いたが、受入先冊子では分からなかった、明るいきいきとした雰囲気が感じられ、良い印象を持ったため、そこで働いてみたいと思った。さらに、今後の私たちにも関わってくるイベントであったため、その場の雰囲気を運営側から感じ、刺激を受けたいと思い、株式会社スイッチカンパニーをインターンシップ研修先として選択した。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月4日(金)～8月18日(金)の8日間

日時	時間	研修内容
8月4日(金)	10:00～16:00	自己紹介 会社概要、事業内容説明(社員の方々のお話) 目標設定→発表

8月8日(火)	10:00~17:00	チラシ折り、ポスティング(イベント宣伝のため) 企業研究→発表
8月9日(水)	10:00~17:00	マナー研修、イベント準備
8月10日(木)	10:00~17:00	イベント準備 イベント当日の最終確認(流れ、役割)
8月12日(土)	8:45~18:00	イベント当日 ・イベント準備 ・学生受付、総合受付 ・企業案内、学生誘導、見回り
8月16日(水)	10:00~15:00	イベント備品片付け 今までの振り返り アンケート集計、エントリーシート振り分け
8月17日(木)	13:00~16:00	アンケート集計つづき 振り返り(発表に向けて)
8月18日(金)	13:00~16:00	振り返り発表 フィードバック 社員の方々とお話

スイッチカンパニーが、運営をしている合同説明会「おしごとフェスタ！in Summer」に向け、インターンシップ生5名で協力をしながら、準備や当日の運営に携わらせて頂いた。

《 8月4日~8月10日 》 イベント前

イベントの宣伝をするために、学生が住んでいる地域を中心にポスティングを行った。約2時間半、地図を見ながら各自で行ったが、思っていたよりも時間がかかり、見えないところでの大変さを実感した。また、チラシを見てもらえるように、どのようにポストに入れるかなど工夫をすることも大切であると学んだ。

また、イベントに来ていただく企業様について知ろうということで企業研究を行った。同じ業界で比較してみると、同じ業界でも行っている事業等が異なっていることが分かり、調べていくうちに面白さを感じた。また、調べてみないと分からないことが多いと感じ、この業界だから調べないということはせず、新たな発見としてこれからもっと企業研究をしていきたいと思った。また、マナー研修では、なぜマナーがあるのかを学んだり、どのような人をお手本にしたいかなど話し合ったりした。

そして、イベントの準備では、当日使用するものの整理や確認、POPの作成、企業様と学生さんにお渡しする資料のファイリングなどをした。これら1つの作業をするのに何時間もかかったが、この準備が当日役に立つと思ったら、丁寧に間違いのないようにしようと心掛けながら活動できた。

《 8月12日 》 イベント当日

イベント当日は、まず、準備として、学生さん受付や総合受付などの机の設置やPOPの貼り付け、お渡しする資料の準備などをした。スムーズに誘導が出来るように、机の配置

を考えたり、見やすく目立つところにPOPを張り付けたり、自分で考えながら行動することができた。準備することが多くあり、時間も限られていたため、丁寧にすることも大切であるが、早く行うことも大切であると実感した。

イベントが始まると、企業様のご案内や学生さんの受付、誘導を行った。学生さんが次々に来るため、早くしようと焦ってしまい失敗をしてしまうことがあったが、慣れていくうちに、敬語もうまく使えるようになり、丁寧に早くを心掛け自信を持ってできるようになった。敬語をきちんと使えるか、しっかり誘導ができるか不安であったが、何事にも自信を持つことが大切だと感じた。受付が終了すると、次に何をしてよいのかを考えることができず、インターンシップ生5人で留まってしまい指摘をもらった。忙しい時は自分で考えて行動できていたが、暇になった時に自分で考えることができていなかったことが反省点であった。暇な時こそ、自分で考える力が必要だと感じた。その後は、POPが剥がれ落ちていないか、ゴミが落ちていないかなど会場内を見回った。その際、企業の方に話しかけていただき、どのような学生に良い印象を持つかなどの企業側からの貴重なご意見を聴くことができ、とても為になった。

《 8月16日～8月18日 》 イベント後

アンケート集計では、企業様と学生さんのイベントについてのリアルな言葉を聴くことができた。それらのリアルな意見は今後の活動にも生かせるため、アンケートの必要性を感じた。アンケートだから、適当でいいやという時があるため、相手のためにも今後のためにも書こうと考えさせられた。最後に、これまでの研修のフィードバックを行った。イベントをやって終わりではなく良かった点悪かった点をフィードバックし、今後に繋げることが大切であると学んだ。

4. インターンシップ研修を終えて

このインターンシップを通して、自分で考える力の必要性や報連相・事前準備の大切さを学んだ。今回、働くことの意味を見つけることを目的としていたが、私が考える、働くとは相手の役に立ち、喜ばせるために働くという意味なのではないかと思った。その意味を持つ上で、今回学んだ基本的なことの積み重ねがとても大切になってくことを実感した。大変なことも多かったが、楽しく充実した8日間を過ごすことができた。今後、相手のために行動することを心掛けて取り組んでいきたいと思う。また、イベントを通して、学生さんを客観的に見ることができ、印象の良い人と悪い人の違いがはっきり分かったため、印象の良い人に近づけられるように日頃から意識していきたいと思う。

最後になりますが、お忙しい中インターンシップ研修を受け入れて下さった株式会社スイッチカンパニーの皆様、優しく丁寧にご指導していただき、本当に感謝しております。今回の学びと経験を今後の学生生活や就職活動にも生かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

【31】DCMダイキ株式会社

〒791-8022

愛媛県松山市美沢 1-9-1

経営学部経営学科 3年次生 浅木 綾花

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修での目的は、私自身の可能性を広げ、私に向いている職種を見つけることです。そして就職活動に向けての視野を広げたいと考えました。また、インターンシップ研修では、実際に現場に出て仕事を体験させていただくことができるため、アルバイトでは得られない社会経験を積むことが出来ると考えたことから、インターンシップ研修を受講しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がDCMダイキ株式会社を研修先に選んだ理由は2つあります。まず1つ目は、マナー研修があるということです。マナー研修では社会に出て必要不可欠であるマナーを教えていただけることから、今後の就職活動にも生かしていけると感じました。

2つ目はワーク体験の豊富さをとても魅力的に感じたからです。合同説明会で実際に映像を見せていただき、網戸の張替えなどの日常生活でも役に立つ知識も身に着けられるのだなと感じとても参加したいと思いました。今回のインターンシップの目的に自身の可能性を広げたいということがあったので、それにも繋げることが出来るのではないかと感じたため研修先として選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

8月21日（月）（1日目）

インターンシップ研修初日は、オリエンテーション、DCMダイキ創業50周年DVDの鑑賞、業界説明や会社説明、インターンシップ研修の目標設定、CS研修、そして店舗での作業が主な内容でした。DVD鑑賞や会社説明では、DCMダイキは創業59年という長い歴史がありホームセンター事業では日本で、とても大きな企業であることを初めて知り、とても驚きました。またCS研修では身だしなみ・挨拶・言葉遣いについて教えていただきました。その際、話す内容もちろん大切であるが言語より非言語の方が重要であるという話を伺い人と接するときには表情を意識しようと強く思いました。また店舗での作業では、商品の前出しを行い、終わった後に陳列棚を見るとスッキリしていて綺麗だったため非常にやりがいを感じました。

8月22日（火）（2日目）

研修2日目はDCMダイキ美沢店の店内にある産直売場での作業と店舗内での品出しと前出しが主な業務でした。産直売場での作業では、商品の袋詰めと商品陳列を行いました。野菜の袋詰めは今までに行ったことのない体験だったので非常に新鮮で楽しかったです。けれど、初めての作業ということで苦戦することもありました。中でもキャベツの袋詰めはとても難しかったです。店舗での品出しでは、どこの棚に何が陳列されているかということが分からないため商品の場所を探すのに苦労しました。前出しは昨日も行っていたため少しずつ慣れた部分はあったと感じます。品出しでは作業に慣れ、陳列の場所を覚えることが出来ればとてもやりがいを得ることが出来るのではないだろうかと作業を行いながら思いました。

8月23日（水）（3日目）

研修3日目は防災研修とDIY体験、更に工具の使い方を教えていただきました。防災研修は南海地震に備えて、防災・減災意識が高まる良いきっかけにもなりました。南海大地震に関するビデオを鑑賞したことで、棚やたんす、家具などを支えるためのストッパーや突っ張り棒でも被害を少なく抑えるきっかけとなることを学び、自分自身の家でも補強対策をしっかりとしなければならぬと強く思いました。午後からのDIY体験では、とんかちなどの器具を使用してティッシュ箱の作成を行いました。自分自身で何かを作成することは非常に久しぶりだったため楽しいと感じました。またDIY体験の際に、「社会に出てからが本当の勉強」という言葉をスタッフの方から伺いました。本当にその通りだと思うのでこの言葉を忘れないようにしたいです。

8月24日（月）（4日目）

研修4日目は、自転車の販売・点検・パンク修理と網戸の張替えと水道の水漏れ補修の方法について学びました。ホームセンターだからこそ教えていただける知識だったので、非常に面白さと新しい学びが多い研修内容でした。これらの作業は全てスマイルヘルパーという、ベテランの方に教えていただいたため専門的な知識も数多く教えてくださりました。網戸の張替えは非常に難しいものだと考えていたのですが、思った以上に簡単で教えていただいたコツさえ掴めば行えることが分かったため今後研修での知識を生かして家の網戸の張替えなども行いたいと思いました。ホームセンターは生活に役立つ知識を身に付けられる業種の1つであるということもこれらの体験を通じて学ぶことが出来たと思います。

8月25日（月）（5日目）

研修最終日では、研修店舗である美沢店ではなく同じDCMダイキ系列である他店舗の店舗見学を行いました。3店舗の見学を行わせていただき、同じダイキでも店舗ごとで雰囲気や品ぞろえも違っていたのがとても印象深かったです。このことから、地域にあわせて売り場づくりをすることはお客様のためにも非常に重要なことであることを学びました。スタッフの方に「百聞は一見にしかず」ということを教えていただいたのですが、今回の店舗見学を通じて、同業他社を観察し、比較することにより自店の改善にも役立て

ることが出来るということを実感しました。

4. インターンシップ研修を終えて

5 日間の研修を終えて、率直な感想はとても充実していたということです。今後の就職活動に生かしていけるような、マナー講座や業界に関する講座だけではなく、ホームセンターでの研修ならではの生活面でも役立つ知識を数多く教えていただきました。今まで何度か店舗を訪れたことはありましたが、実際に働いてみないと知らなかったことも多く、各業種についての知識をもっと深めていかなければならないとも実感しました。

また、私のインターンシップ研修での目的は、私自身の可能性を広げ、私に向いている職種を見つけることで就職活動に向けての視野を広げたいということでした。今回の研修では新たな発見や気づきが数多くあったため「向いている職種を見つける」という目的は達成できなかったものの、「自分自身の可能性を広げ就職活動に向けての視野を広げる」という目的は達成できました。私自身にとって、可能性を広げ、視野を広げることが出来たというだけでも大きな収穫になったと思います。今回の研修で得た気づきや知識を、今後の就職活動や日常生活でもしっかりと意識して生かしていきたいと思います。

DCMダイキ株式会社の皆様のおかげでとても充実した研修期間を過ごすことが出来ました。お忙しい中、研修を受け入れてくださったDCMダイキ株式会社の皆様には本当に感謝しております。ありがとうございました。

【32】株式会社テレビ愛媛

〒790-0942

愛媛県松山市真砂町 119 番地

経済学部経済学科 3年次生 鳥井 亮征

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は3つあります。

1 つは社会人の方から話を聞くことです。社員の方とコミュニケーションを取り、学生時代の勉強や就職までにやっておくといいことを聞きたいです。そして、残りの大学生活でやらなくてはならないことを明確にしたいです。

2 つ目は自己理解を深めることです。仕事に積極的に取り組み、今の自分は何ができて何ができないかを知りたいです。

3 つ目は学生の中に社会経験をしておきたかったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は以前からテレビ業界に興味がありました。今の生活にかかせなくなったテレビを放送している裏側では、どのように番組を制作しているか、どのような仕事があるか、など多くの疑問がありました。テレビ愛媛では、研修中に多くの部署を体験できるため、テレビ愛媛でしかこのような貴重な体験はできないと思い選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

日程	研修の内容
8月21日（月）	各部署の仕事内容の紹介、テレビ局内の見学
8月22日（火）	営業部門の説明と同行
8月23日（水）	報道部門の説明と同行、編集の見学
8月24日（木）	報道部門の同行、アナウンサー体験
8月25日（金）	制作現場の見学と生放送の手伝い

1日目

午前中はテレビ局の施設を見学させていただきました。テレビ局の人あまり入ることができないデータを管理している部屋やサブという番組中に音の調節や指示を送る部屋、実際放送を行っている部屋などにも入らせていただきました。機械が故障したときに備えての準備など多くの事を想定したつくりになっていました。午後は40分ずつ編成部、業務

推進部、放送部、事業部、技術部の話を聞きました。民間放送のテレビ局の収入の仕組みも初めて知ることができました。CMの順番を考える編成部の実際の仕事もやらせていただきました。業務推進部の方はCMを見るだけでどこの放送局か分かるそうです。テレビ局といわれたら報道や制作などのイメージが強かったけれどCMやイベントを考えている部署の活躍があってテレビ局が成り立っていると感じました。

2日目

2日目は営業の研修でした。広告代理店など何か所か一緒にまわらせていただきました。営業の大事なことはできるだけ毎日取引先をまわることで信頼関係を築くが大切だと教えていただきました。少し話すだけでも遠くまで行き、担当の方がいないこともあったけど行くことが大切と言って行かれています。営業に1日同行させていただき、つながりが大切な仕事だなと感じました。

3日目、4日目

この2日間は報道制作の部署でした。テレビ局といたらこの部署のイメージが強いと思います。その日あるニュースによって忙しさが変わる現場なので臨機応変な対応が大切になります。3日目は早朝に事件が起きていて昼のニュースに向けて電話などで情報が集められていました。視聴者はテレビが正しいと思い視聴しているので情報の間違いが許されない現場です。詳しい状況などを警察などから聞いていました。公共の電波を使って放送している責任があるなと感じました。午後からは県議会の取材に同行させていただきました。議会までにある程度報道する内容は決まっているけれど、重要な部分を取捨選択してニュースにしなくてはいけないので大変な現場でした。議会が終わったのが3時ごろで6時台のニュースで使うため3時間で原稿を作り映像の編集まで終わらせなければいけません。昼に取材したことが夕方には放送されているので、仕事が形に残りとてもやりがいを感じられる仕事だけれど、ミスか許されない大変な現場でした。ニュースを放送しているときにサブという音響や画面の切り替えや時間の管理などが行われる部屋で見させていただきましたが、緊張感漂う現場でした。私たちが普段何気なく見ているニュースには多くの方が関わり、多くの時間をかけて放送していました。4日目は国体に向けた海上自衛隊と警察の合同訓練の取材に行きました。船の上での取材だったため暑い中カメラマンと確認しながら取材を行っていました。夕方のニュースの後にアナウンサー体験もさせていただきました。アナウンサーの方に原稿の読み方のコツなど指導していただきましたが、緊張してしまいうまく読めませんでした。実際に自分の名前も画面に出していただき、普段できない経験をさせていただき良い経験になりました。

5日目

最終日は金曜の夕方に生放送しているほーなん。の制作現場を体験させていただきました。放送までにコーナーごとのリハーサルは必ず行われていました。カメラマンの位置確認も入念に行われていました。本番ではスタジオのセットの変更などをCM中に変えなければいけないのでCM中はあわただしくスタッフや出演者が動いていました。制作部の方は色々な事に注意を向けていてどんな事にも対応していました。生放送で失敗が許されない現

場ならではの雰囲気があり、私も少しではあるけれど放送の手伝いができ無事終わったので良かったです。

4. インターンシップ研修を終えて

今回テレビ愛媛で研修させていただき、多くの刺激を受けた5日間でした。色んな部署を体験させていただき、テレビ局の仕事や仕組みについて知ることができました。部署ごとに仕事は全く違うけれど、どの部署にも魅力がありました。緊張感が漂う現場も多く、すごくやりがいのある仕事だなと思いました。目標にしていた1日2人以上の方とコミュニケーションを取るという目標も達成できました。多くの社員の方は、学生の時しかできないことをやった方がいいとおっしゃっていました。自分のやりたいことを考えて、時間を無駄にすることなく、残りの学生生活を過ごしていかないともったいないなと思いました。

5日間温かく接してくださったテレビ愛媛の方々には感謝しています。仕事について詳しく教えていただき、どんな質問にも答えていただきました。今回の経験を無駄にすることなく今後の生活に活かしていきたいと思います。お忙しい中、インターンシップ研修に受け入れてくださり、ありがとうございました。

【33】東京海上日動火災保険株式会社

〒790-8561

愛媛県松山市本町2丁目1-7

法学部法学科 3年次生 杉澤 穂成

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップに研修に参加した理由は、研修を通して自分が知らなかった業種に触れ就職活動の視野を広げることと、自分自身のスキルアップです。将来の職業について考え始めたとき、私は2, 3種類の業種しか頭に浮かびませんでした。このままでは自分の知っている狭い範囲の職業でしか就職活動をせず、もっと自分に合ったやりたい仕事があったとしてもそれに気づかず後々後悔してしまうのではないかと思い、様々な職業を知り視野を広げるという目的でインターンシップをさせていただきました。また、就職活動ではグループミーティングをする機会もあり、コミュニケーション能力と人にうまく伝えるプレゼンテーション能力が必要です。ですが、私は初めて出会った人と積極的にコミュニケーションをとることが苦手で、人前で話すこともあまり好きではありませんでした。そのため、知らない学生さんたちとインターンシップ研修をすることでこれらの弱点を少しでも克服できればと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

高校生の時、部活で全治半年ほどの大きなけがをしたことがありました。私は、スポーツ保険に加入していたため通院費、治療に必要な器具の費用、リハビリ費用など総額数万円の費用をすべて保険で補うことができました。その時保険のありがたさを感じたとともに、保険業界についてどういう仕組みで成り立っているのか、他にどのような保険があるのかなど少し興味を持ち始めました。そこでメディアでも耳にする機会の多い、東京海上日動火災保険株式会社で保険業界、業務の内容などについて勉強したいと考えました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月17日（木）～8月25日（金） 7日間（土日を除く）

（8月22日は東海日動パートナーズ中国四国・愛媛支店 松山支社にて研修）

○8月17日（木）自己紹介、業界・業務内容についての説明、課支社見学

研修初日、まずは業界・業務内容について説明していただきました。東京海上日動火災保険株式会社の歴史や会社の理念、東京海上日動の精神について、また業務内容についてお話をいただきました。保険会社についてあまり明確なイメージを持っていませんでした

が、初日の説明を受け社員の方々の想いや業務内容を知ることができました。世のため人のために good company を目指し、お客様との信頼を第一に考える。日本一の保険会社だからこそできることだと感じました。

○8月22日(火) 代理店留学(東海日動パートナーズ松山支社)

代理店留学をさせていただきました。代理店はお客様との営業がメインであり、イメージしていた保険会社に一番近い場所でした。午前中は保険を提供する側について詳しく説明して下さり、生命保険と損害保険の違いや代理店としての役割について知ることができました。午後からは自動車を購入したことを想定して、自分専用の自動車保険を見積もってくださりました。自動車保険の中にも様々な補償や特約、オプションがあり保険の幅を広くしすぎると、とんでもない保険料になってしまい驚きました。この研修を通して、保険がとても身近に感じられるようになりました。

○8月18日(金)～8月25日(金) メインタスク準備、メインタスク発表

7日間のインターンシップのうち多くの時間をメインタスク準備に費やしました。まずメインタスク説明で、リスクのプロとして日常に潜むリスクについて班で話し合い発表しました。普段意識することのない些細なことにもリスクは存在し、保険会社はいち早く気づき保険を提供する。保険会社としての考え方を学びました。これらを踏まえて私たちに与えられたメインタスクの課題は「愛媛国体を成功に導け」です。4人班が3つ編成され、8月25日最終日に東京海上火災保険株式会社として愛媛県庁に向けて、それぞれの班でプレゼンテーションをさせていただくことになりました。

まずは愛媛国体を成功について、自分たちの班は何をもって成功とするのかについて話し合いを始めました。次に成功を阻害するリスクについて、そのリスクをどのようにカバーしていくのか内容を深めていき、限られた時間の中で効率のいい話し合いの難しさを実感しました。ある程度話がまとまると、プレゼンテーション用のパワーポイント資料の作成に取り掛かりました。プレゼンテーションでは、こちらの想いをいかに相手に伝えられるかを考えながら4人で協力して作成していきました。最終日の発表は、社員の方5名の前で味わったことのない緊張感の中プレゼンテーションを行いました。終わってからは、プレゼンテーションの良かった点と悪かった点について、伝わりやすい話し方のコツ、スライド編成についてなど、とても丁寧にフィードバックをしてくさりました。

保険会社では、実際に企業に出向きライバル会社といかに自社の保険が良いかをプレゼンテーションをすることがあるそうです。実践経験豊富な社員の方々は話し方も自然で伝わりやすく、これからもっとプレゼンテーション能力を向上させたいと心から感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

東京海上日動火災保険株式会社でインターンシップ研修をさせていただき、今まで全く知らなかった保険という業界について知ることができたとともに、保険という職業に少し興味を持ちました。お客様との信頼を第一に考えながら、仲間と協力して保険を作り上げていく仕事はとても魅力的に感じました。また、新入社員の方々、内定者の方とお話す

る機会をいただけたことによって、就職活動へのアドバイスや貴重な情報を得ることができ、不安が大きかった就職活動へ自分なりにやるべきことが見えてきました。7日間毎日研修日誌にたくさんのコメントやアドバイスをしてくださり、困っているときは優しくアドバイスをしてくださり、とても有意義な研修をすることができました。このインターンシップで得たもの、見つかった課題をこれからの学校生活に生かし、さらに多くの知識と経験を積んでこれから就職活動に挑んでいきます。7日間のご貴重な時間を私たちにいただき本当にありがとうございました。

【34】 トヨタ L&F 西四国株式会社

〒791-8057

愛媛県松山市大可賀 3 丁目 150-20

経済学部経済学科 3年次生 金清 ほのか

1. インターンシップ研修の目的

私がこのインターンシップで立てた目的は2つあります。

1つ目は働くとはどういうことなのかを知ることです。私は、今年3年生なので就職活動まであまり時間がありません。だから、インターンシップ研修に行きアルバイトではなく実際に働く現場を見て、学生と社会人の違いを体験したいと考えていました。

そして、2つ目は自分自身が現段階で社会にどれだけ通用するのかを知ることです。そうすることによってこれからの学生生活をどのように過ごしていくべきなのか、自分に足りていないことは何なのかということに気づけるのではないかと思います。

私はこれらの2つの目的を念頭に置き、5日間のインターンシップ研修に臨みました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がトヨタ L&F 西四国株式会社を研修先に選んだ理由は、研修のテーマが私のインターンシップ研修の目的と合っていると思ったからです。そのテーマとは「働くとは?を考える」というものでした。働くとはどういうことなのかを体験できる研修内容になっていて、そこに魅力を感じました。また、私は営業の仕事に興味がありこの会社ではそれも実際に体験できることも研修先に選択した理由の1つです。このような理由から私はトヨタ L&F 西四国株式会社を選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月28日（月）～9月1日（金）

研修1日目 オリエンテーション

研修初日は、座学が中心で会社の説明やトヨタ L&F 西四国株式会社が大切にしていることについてお話をしてくださいました。何のために働くのか、企業が求める人材はどのような人なのか、目的と目標の違いなど今後の自分にとってとても大事なことを動画やパワーポイントを用いて説明をしてくださいました。そのため、インターンシップ研修への意識をより高めることができました。

また、午前中には新入社員の方が会社の周辺の工業団地などを回ってくださり実際に会社の商品がどのように使われているのかなど教えてくださいました。

研修 2 日目 営業同行（北条・今治方面）

2 日目は清掃や朝礼、部門別ミーティングに参加させていただきました。朝礼を全員で揃ってする意味などを 1 日目に教えてもらっていたため、それらを念頭に置きながら参加しました。朝礼では、全社員の出欠確認や営業成績などを共有するために部門別に報告をしていました。また、朝礼は全員の顔や表情が見えるように円の形で行われていました。そしてその後、部門別のミーティングに参加しました。ここでは、一人一人の 1 日の仕事内容や営業成績を共有していました。これらを行うことによってお互いに意識を高め合っているそうです。また、仕事内容を確認することで同じお客様のところへ行ってしまうないようにしていると教えていただきました。

朝礼やミーティングに参加した後、営業同行をさせていただきました。実際に営業しているのを見せていただくと、私が思っていた営業とは違うことに気づきました。売ることも大事だけれど、それまでの過程を重要視されていることが分かりました。

研修 3 日目 営業同行（松山市内）

3 日目は 2 日目と同様営業に同行させていただきました。3 日目は 2 日目と違う営業の方に同行しました。同じ営業でもやはり人によって話の進め方であったり、やり方は様々なと実感しました。しかし、大事にされていることはどの営業スタッフの方も同じなのではないかと思いました。その大事にされていることとは、お客様との信頼関係です。定期的にお客様を訪ねコミュニケーションをとったり、細かい要望に対してもしっかりと応えることで信頼を得ているということを教えていただきました。

研修 4 日目 業務体験（グラフの作成・日報の確認等）

4 日目は営業ではなく業務の方を体験させていただきました。営業のグラフや入金日報の確認など様々なことをやらせていただきました。業務のお仕事は営業の方や整備をするサービスの方を全面的にサポートしているということを実感しました。グラフの見せ方であったりいろいろな工夫で会社全体の意識を向上させていると思いました。これらの仕事は外からは見えない部分ではありますが、とても重要な役目をしているということも学びました。

研修 5 日目 座談会・研修のまとめ・研修結果発表

最終日の 5 日目は午前中業務の体験をさせていただき、午後からは 5 日間の研修のまとめを行いました。午前中の業務体験の中では、お客様へのお茶出しをする場面がありました。私が思っていた以上にお茶を出すだけでも難しく、重要な仕事だと痛感しました。そして午後からの座談会では女性の営業スタッフの方とお話をさせていただきました。実際の現場で起こっていることや、そのときどうであったかなどたくさんのお話を聞かせてもらいました。そして、研修の最後にまとめとして 5 日間の感想を社員の方々に発表しました。その際に、私の感想に対して様々な意見を言ってくださり 5 日間を振り返りながら良い締めくくりをすることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は、インターンシップ研修を終えて分かったことがありました。それは自分には気づく力があるということです。これは研修最終日に行った発表会の際に社員の方からそのような意見をいただいたからです。社会人の方からこのような意見をもらえたというのはとても貴重なことだと思うし、私自身もこの気づく力をこれからも持ち味として大事にし続けたいです。

また、研修を通して自分はなんのために働くのかということをもう少し明確にしなければいけないと感じました。どこに就職してどんな仕事をするのかということも大事ですが一番はなんのために働くのかということなのではないかと気づくことができました。まだその答えを見出すことはできていませんが、この5日間がそれを考える良いきっかけになったのではないかと思います。

そして、インターンシップ研修をトヨタ L&F 西四国株式会社で行うことによって、自分自身の視野も広がりました。あえてあまり知らない業界で経験をすることによって多くの新しい発見や気づきがありました。今回、この会社でインターンシップ研修をすることができ本当に良かったです。お忙しい中受け入れてくださりありがとうございました。トヨタ L&F 西四国株式会社の社員のみなさんのもとで様々な経験をすることができ、大変うれしく思っています。これらの経験を生かして今後の就職活動だけでなく、将来を見つめ直していきたいと思えます。短い間でしたが本当にありがとうございました。

【35】南海放送株式会社

〒790-8510

愛媛県松山市本町1丁目1-1

経済学部経済学科 3年次生 一色 涼花

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は4つあります。まず1つ目は「幼い頃から志してきた職業、業界について学びを深める」ということです。私は夢を叶えるために今日まで様々な活動に参加してきました。現在もリポーターとしてメディアに携わっています。ですがこれまでは主に出演させていただく側だったため、今回のインターンシップ研修ではこれまであまり学ぶことのできなかつた番組制作の裏側や各部署でどのような仕事をしているかなどを詳しく学びたいと思いました。

2つ目は「社会人として働くということを知る」ということです。私はやはりアルバイトとして働くことと社会人として働くことは全く異なることだと思っています。実際の仕事を体験、拝見させていただくことで今の自分と社会人の方の業務内容や意識の違いを学び、この研修を通して社会で働く自分のイメージを明確化させ、目前に控えている就職活動への意識を高めたいと思いました。

3つ目は「今の自分に足りないものを知る」ということです。この研修は普段とは全く違う環境に身を置くことができ、自分を見つめ直し、知ることのできるとても良い機会だと思います。まずはこの研修を通して今の自分に足りない能力を知り、残りの学生生活でその力を養っていき今後や成長に繋げようと考えました。

4つ目は「普段よく視聴している南海放送が地域に愛され、親しまれている理由をこの研修を通して自分の目で見て学ぼう」と考えました。以上の目標を掲げ私はインターンシップ研修に取り組みました。

2. 研修先の選択

上記に記載したように私は幼い頃から放送局に魅力を感じ、将来は放送局で働きたいという夢を追い続け、テレビやラジオに定期出演し、これまでもメディアに携わってきました。

実際に志している職業や業界で働くということを経験することで今の自分の考えとの相違点や共通点を知りたいと思いました。

また昨年、南海放送の地域密着情報発信番組「おかデリ」（現：サタデリ）のコーナーに出演させていただいた際に番組に関わる方の熱意や楽しみながら情報発信する姿にとても

感動したことから、南海放送により魅力を感じ、詳しく学びたいと強く思いました。

そして、南海放送は県内で最も古くからテレビ放送を続け、地域に最も愛され親しまれている放送局であり、愛媛県で生まれ育った私にとってもとても親しみのある放送局であることから私は今回数あるテレビ局の中で南海放送を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月22日～8月28日（24日は愛媛みかん大使任命式のため欠勤） 計6日間

研修日	研修場所	研修内容
8月22日(火)	本町会館	社内見学・部署説明
8月23日(水)	本町会館・伊予鉄高島屋前	部署説明・イベント研修
8月25日(金)	本町会館	ラジオモニター・新入社員との座談会・中継車、車庫見学・ラジオスタジオ見学
8月26日(土)	本町会館	生放送番組見学・イベント研修
8月27日(日)	本町会館	イベント研修
8月28日(月)	本町会館	部署説明・アナウンス研修・総括

まず1日目に社内見学をさせていただき、テレビとラジオ兼業局の南海放送には様々な部署があることを知りました。そしてRNBホット情報の見学をスタジオ内でさせていただきました。ここでは実際にアナウンサーの方の仕事ぶりを間近で拝見させていただき、やはりアナウンサーはすごいなと心から感動しました。アナウンサーの方とお話することもでき、やりがいや日々気を付けていること、就職活動のこと、学生時代のことなど親身になってお話して下さいました。アナウンサーの方はいつもアクセント辞典とストップウォッチを持ち歩いていて、原稿を読むスピード、アクセントなど全て自分で管理していました。日々勉強、とてつもない努力と責任が必要な業種なのだと学ぶことができました。次にネット戦略部の方から動画配信とアプリについて取り組んでいることや技術統括部の方から送信技術の説明がありました。

2日目はテレビとラジオの編成、番組制作、広報の説明がありました。広報の時間にはプレゼンテーションも行いました。広報部では柔軟な考えや発想力、伝え方が必要なことがよく分かりました。今後このような力も培っていきたいです。テレビ局の心臓部分と言えるマスターという部屋やマスターサブにも入れていただき、放送局では1秒単位で24時間管理していることを知りました。その後は伊予鉄高島屋前で行われた日切り地藏、のど自慢大会のスタッフとして活動しました。

4日目はラジオ連盟賞を受賞した「風の男～BUZAEMON～」を聴き、ラジオドラマに触れました。とても面白くラジオドラマの概念が変わりました。そして新入社員の方との座談会、報道フロアの見学、中継車・車庫の見学、実際に使用しているカメラやマイクに触れさせていただきました。ラジオスタジオの見学もさせていただきました。座談会では就職活動の不安や疑問を快く聞いて教えてくださり、とても参考になりました。

5 日目はサタデリのリハーサルから生放送までを全て見学させていただき、アナウンサーやディレクター、マスターサブの方の動きを観察しました。緊張感溢れる現場で一人一人が責任を持って仕事をやり遂げ、本当にすごいと感じました。午後からは24時間テレビのスタッフとして募金の受付を担当しました。

6 日目も24時間テレビのスタッフをしました。募金の受付や主にチャリティーグッズの取り扱いを担当しました。2 終盤のサライを歌うシーンで南海放送のパネルを持って全国放送に映していただきました。毎年テレビで見ていた24時間テレビに今年はスタッフとして携わることができ、大変嬉しくとても心に残りました。計3回のイベント研修では様々な方と関わることができました。そして同時に臨機応変に対応する難しさ、大変さというのも学びました。

7 日目の最終日には営業部の説明や技術統括部の説明をしていただき、午後からは実際に働かれているアナウンサーの方にアナウンス研修をしていただきました。発声の仕方やアナウンス業務について詳しく学ぶことができました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回長年志してきた職業・業界へインターンシップ研修に行かせていただけたこと、とても嬉しく思います。6 日間という短い間ではありましたが南海放送の社員の皆様が毎日とても親切に接してくださり、実りある充実した日々を送ることができました。毎日が新しい発見の連続で、ここでは書ききれない程刺激を受けました。とても濃い6日間でした。この研修は本当にあっという間に思える程、心から楽しかったです。放送局で働かれている方はやはりエンターテイメント性が高く、私たちを楽しく学ばせて下さりました。私も南海放送で出会った皆様のような大人になりたいと思います。

この研修を通して、職業・業界、部署のことなど本当に沢山のことを学ぶことができました。一つのCMや番組を実際にテレビやラジオで放送するまでには想像以上の多くの方が携わり、膨大な時間をかけていて、放送の重みも身を持って感じるすることができました。特に私が憧れているアナウンサーという職業は、制作、ディレクター、カメラマン、音声、編集営業、送信、広報など本当に沢山の様々な部署の方が携わって作り上げてきたものを最後に視聴者の方に正確に届けるという非常に責任のある仕事なのだと思いました。私もそのことをきちんと理解し頭に入れ、しっかりと責任感を持って感謝の気持ちを忘れずに今後の大使やリポーター活動に取り組んでいこうと思いました。

そして南海放送の新しい事をどんどん取り入れ、挑戦していく姿にとっても感動し、私も見習おうと思いました。

また、この研修では自分を客観視することができ、今の自分に足りない能力を知ることができました。これから就職活動に向けてその足りない能力を残りの学生生活でしっかり養い、更に上を目指します。この経験は就職活動を目前に控えている私には大変勉強になっただけでなく、改めて放送局の魅力を感じ、将来は放送局で働きたいという思いが更に強くなりました。夢の実現に向け、より一層自分を磨き精進して参ります。

最後になりましたが、大変お忙しい中、皆様のご厚意により貴重な経験をさせていただき、南海放送株式会社のインターンシップ研修ご担当者様をはじめ社員の皆様に心よりお礼申し上げます。同時に6日間共に研修に取り組んできた研修生にも感謝申し上げます。本当にお世話になりました。この経験を決して無駄にしないよう、必ず今後の学生生活や就職活動に活かしていきます。誠にありがとうございました。

【36】株式会社日本エイジェント

〒790-0012

愛媛県松山市湊町1丁目1-16

経営学部経営学科 3年次生 村見 香純

1. インターンシップ研修の目的

私が、インターンシップ研修に参加した目的は3つあります。

1つ目は、「社会人として働く」とはどういうことかを知ることです。実際に社会人の方々と一緒に働かせていただくことで、学生アルバイトではできないような体験をすることができるのではないかと考えました。社会人として必要な考え方や、正しいビジネスマナーなどを学びたいと思いました。

2つ目は、仕事の「つらい部分」と「楽しい部分」の両方を知ることです。就職をすると、様々な仕事に直面すると思います。どのように大変で、どのようなやりがいがあるのか、実際に働いてみることで知りたいと思いました。

3つ目は、「自分の欠点」を知ることです。社会に出て働くうえで、自分に何が欠けているのかを、就職活動が始まる前に把握しておきたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私はずっと、明確な希望職種が決定していませんでしたが、「家」関係のお仕事には以前から興味がありました。過去に二度、引っ越しをした経験があり、様々な部屋の間取り図を見て、実際に足も運んでお部屋探しをする機会がありました。自分の住居を探すことはとても貴重で楽しい経験となり、「家」に関わりながら人を幸せにできる仕事をしてみたいと思うようになりました。日本エイジェントは、「お客様満足」日本一を目指し、Big「巨大企業」より Good「一流企業」を実現することを企業理念としています。この企業理念に惹かれ、お客様を第一に考えているこの会社で多くのことを学んでみたいと思い、研修先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月11日（月）～9月15日（金）（5日間）

研修日	研修場所	業務内容
11日	経営企画推進室	自己紹介、会社説明、広報会議、システム開発課体験、スタッフレスショップミーティング

12日	幹旋事業部 リーシング課 (城北テラス店)	城北テラス店案内、お部屋探し体験、物件案内、 集客UP ミーティング
13日	総務部	業務課 (送金業務)、家賃管理課体験、 社会人の心構え
14日	資産運用課 (道後愛大前店)	売買業務、オーナー様提案業務、リフォーム提 案業務、現地案内
15日	レスQ事業部・ ビルマネジメント課	レスQセンター案内・説明、消防点検・貯水清 掃・定期清掃等ビルメンテナンス業務

毎日異なる部署の研修を受け、2日目からは毎朝社員の方々と共に朝礼と清掃にも参加しました。基本的に労働時間は10～16時の6時間なのですが、12～13時にはランチミーティングがあり、昼食を食べながら社員の方々とコミュニケーションをとれる機会が設けられていました。

●広報会議

決められた広報に関する議題に沿って、皆で案を出し合いました。人前で自分の意見をはっきりと示すことは、とても難しく、勇気のいることなのだと知りました。また、人の意見もしっかり聞き、肯定的もしくは否定的に捉え、更にその意見に対する考えを示すことの大切さも実感しました。

●システム開発課体験

プログラミング体験をしました。パソコンを使ってスロットゲームを完成させるという、普段できない経験をし、難しいながらも、プログラミングの楽しさを感じることができました。

●お部屋探し体験

お部屋探しのアドバイザーとしてのロールプレイングを行いました。お客様のことを親身に考え、楽しんでもらいながら、丁寧に条件を聞き出すことは、想像以上に難しいものでした。だからこそ、同時に大きなやりがいも感じました。信頼関係が必要となるので、お客様とコミュニケーションをとって、聞き上手になり、共感し、相手を立てることが大切なのだと教えていただきました。

●集客UP ミーティング

集客数を増やすためにはどうすればいいのかを皆で考え、一人ずつ発表していきましました。「即興で自分の考えを分かりやすくまとめることが苦手」であることに気が付き、新たな自己発見に繋がりました。私を含め学生は皆、積極的に多くの提案をすることができ、社員の方々にも満足していただきました。

●家賃管理課体験

パソコンで入居者の情報や家賃、支払方法などを入力していき、明細書の作成を行いました。個人情報取り扱っているほか、お金の関わる作業でもあるので、少しのミスも許されない大変なお仕事だと知りました。

●オーナー様提案業務

入居者を増やすために、どのようなマンションにするのか、オーナー様と話し合い、時には説得をして、オーナー様の収益の最大化を図るお仕事です。とても責任重大である分、成功し感謝されたときの喜びが大きいのだと知りました。やりがいのあるかっこいい仕事だと思いました。

●レスQ事業部、ビルマネジメント課の業務

この二つの部署の業務内容は、一般的には外部委託されているようなお仕事で、1つの不動産会社の中に部署が設けられていることは珍しいそうです。レスQ事業部では、お客様からのクレームを「お困り事」と呼ぶことで、お客様が困った時に連絡をしやすいように配慮をされていることを学びました。どんなに小さなお困り事でも、早急かつ丁寧に対応することで、お客様の不満解約を減らし、自然解約された方にも再度利用してもらえるようになるのだと教えていただきました。差別化となっているうえに、「お客様が安心して快適に暮らせるように」という思いも伝わってくる素敵なお仕事だと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

このインターンシップ研修を終えて、多くの学びを得ることができました。毎日異なる部署でお世話になり、様々なお仕事のお話を聞いて、体験したことで、「簡単な仕事なんてひとつもない」ということが分かりました。どのお仕事も難しく大変で、だからこそやりがいを持って働くことができます。仕事を「楽しんで」することが大切であると教えていただき、私も楽しみながら仕事ができる社会人になりたいと思いました。どの部署でも、「お客様に満足してもらいたい」という考え方が一貫していて、その思いが伝わるような取り組みが数多くありました。社員の皆さんが会社を愛していて、理念に共感しているからこそ、実現しているのだろうと感じました。

また、この研修を通して、大きく成長できたように感じています。私は消極的な性格でありそれが悩みだったのですが、今回の研修では積極的に行動することができました。社員の方々は、学生の意見も馬鹿にすることなく、会社のこれからのための重要な提案として受け入れてくださりました。そういった暖かい雰囲気があったからだと思います。自分の欠点も知り、改善するための努力も行えました。研修の目的を果たすことができ、大変有意義なインターンシップとなりました。

担当者の方から、社会人としての心構えについてのお話や、就活に向けてのアドバイスもしていただきました。企業側の視点からの意見を聞いたことで、大変勉強になりました。お忙しい中、優しくインターンシップ生を受け入れてくださった社員の方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。今回学んだことを残りの学生生活で実践に移し、就職活動、社会人生活に向けて、悔いのないように精一杯努力していこうと思います。

【37】 ニンジニアネットワーク株式会社 オフィスソムリエ部

〒791-8021

愛媛県松山市六軒家町 2-1

経営学部経営学科 3年次生 小西 萌恵

1. インターンシップ研修の目的

私は研修前にインターンシップの目的を「将来像を明確にすること」にしていました。しかし、研修初日になりたい姿と現実との比較を行った際に自分は自己分析がうまくできていないことに気付きました。そこでインターンシップにおける目的は「自分の強みと弱みを理解して言葉に表せる状態にすること」だと改めて考え直しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は広告や出版関連の企業を中心に希望していました。ニンジニアネットワークは出版会社ではありませんが、合同説明会での説明を聞いてどんな会社なのか気になり興味を持ちました。ニンジニアネットワークはいろいろな事業を展開していて、はじめは何をしている会社なのか全く分かりませんでした。研修前までニンジニアスタジアムのイメージが強くて、サッカー関連の事業をしているのかと思っていました。しかし実際は、コピー用紙やトナーカートリッジなどの消耗品を提供したり、アパレル関連の事業を展開したりしています。そこで自分が全く知らない営業の仕事の間近で見たいと思い、ニンジニアネットワークを選びました。

3. インターンシップ研修の内容

[1日目]

初日は社会人基礎マナーやゴール思考、イシューツリーに関する講習を受けました。ゴール思考とは目標を達成する上で Why→What→How の順で考えていく方法です。How から考えてしまうとそもそもの Why の部分を見失ってしまうため、なぜそうするのかから考えていくことが大切だと教えていただきました。

[2日目]

2日目は営業同行に向けて、会社説明やコピー用紙の提案のロープレを行いました。会社説明は落ち着いて行うことができましたが、コピー用紙の提案がとても難しく苦戦しました。まず、商品の内容や提供プランが頭に入っていないため、最低限伝えなければならないことさえうまく言葉にすることができませんでした。また、社員の方は質問をしながら必要なことだけ伝えているのに対して、私は商品の内容だけを一方的に長々と話して

いるだけでとても分かりにくい説明になっていました。何度もロープレを行いフィードバックしていただいているうちに、コツをつかんで説明ができるようになっていきました。しかし、想定外の質問をされると答えることができずロープレができない状態が続いていました。その日は結局うまく提案することができないまま終わったため、社員の方からアドバイスをいただき課題として持ち帰ることになりました。

[3、4日目]

3日目と4日目は営業同行を行い、実際にお客様のところへ伺って営業の仕事を体験しました。私は今まで営業は押し売りのようなイメージがあり、あまり良い印象を抱いていませんでした。しかし、実際はお客様の状況に配慮しながらコスト削減につながる商品の提案や現状の聞き取りを行って営業はお客様と会社をつなぐ架け橋になっているのだと思いました。また、社員さんは自分の売上にならなくても全国規模の売上につながりそうな情報があれば詳しく聞き出し、社内で共有していました。社会人になればその会社の一員としての自覚をもって働かなければなりません。そのためにも常に会社のことを考え、お客様のためにも会社のためにもなる働きかけをする必要があると思いました。私は4日目の同行の際にロープレを行ったコピー用紙の提案をさせていただきました。実際にお客様を目の前にすると緊張してしまい質問を織り交ぜながら、商品の提案をすることはできませんでした。営業の仕事の難しさを体感するとともに、もう少しコミュニケーション力を強化する必要があると思いました。2日間の営業同行を通して、多くの発見があり自分に足りないものを見直すきっかけにもなりました。

[5日目]

最終日は午前中に工場の見学に行きました。コピー用紙やラベルが作られているのを見て、何より驚いたのは従業員の少なさです。工場で働いている従業員はパートの方を合わせて20人もいませんでした。人件費の削減を行うことで大幅なコスト削減を可能にしていることが分かりました。将来的には倉庫も自動倉庫にして、工場が無人で成り立つ環境となることを目標としているそうです。

午後からは、インターンシップ研修を終えてのプレゼン発表の準備を行いました。時間が決まっているため、自分で計画を立ててパワーポイントを作成するのは思っていた以上に難しいことでした。発表では時間配分がうまくいかず、制限時間を超えてしまい最後まで発表することができませんでした。発表後のフィードバックで学びを発表する際に事実と解釈を混合して認識してしまっているという指摘を受けました。事実は事実として認識して、そこからの学びを正しく解釈することが大切だということが分かりました。社会人になればプレゼンをしたりする機会も増えてくるため、時間配分を上手に行い要点を絞って簡潔に伝えられる能力を身につけなければならないと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間の研修を終えて私は主に2つのことを学びました。1つ目は「具体的な目標を立てることの大切さ」です。今までの私は、一生懸命やしつかりなどと抽象的な言葉を使い

がちで具体的に何をすべきかなどについて考えることができていませんでした。しかし、今回のインターンシップで定量的な目標を立てることで目的や行動理由が明確となり、より目標達成に近づけることが分かりました。2つ目に学んだことは「先を見据えて行動すること」です。営業同行をさせていただいた際に、いかにこれから起こりうることを予測して行動できるかが大切だと思いました。社員さんはお客様の状況や自分の仕事の進み具合など様々なことに考慮しながら日々のスケジュールを構築していました。そして、お客様のところへ行く際は事前準備を怠らず、どんな状況にも迅速に対応している姿に大きな刺激を受けました。これからの就職活動において私はこの2つの学びを自分のスキルとして身につけられるように努力したいと思います。そのためにも、今しかできないことにジャンルを問わず果敢に挑戦して自分の経験値を上げていきたいと思っています。

最後に、お忙しい中、インターンシップ研修生の私を受け入れてくださったニンジニアネットワークの皆様には心から感謝を申し上げます。本当に5日間ありがとうございました。

【38】 ネットトヨタ南国株式会社

〒780-0082

高知県高知市南川添 4-28

経営学部経営学科 3年次生 鎌谷 愛

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けようと思った目的は、自分がどんな働き方をしたいかというビジョンを確立させるためです。私は自分がどんな業種で働きたいか、仕事をする中で何をしたいのかが全く分かっていませんでした。インターンシップに参加すれば何か得られるのではないかと考え、今回のインターンシップ研修に参加しようと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が今回インターンシップの研修先として選んだのはネットトヨタ南国株式会社です。以前から授業中などに会社名を聞くことがあり、気になっていた会社でした。またゼミの先生からもよくお話を伺っていました。そのこともあり興味が湧き、松山大学で実施されたインターンシップ合同説明会で説明を聞きにいきました。説明に来られていたNさんは会社がどういった業務をしているかではなく、インターンシップで何を不得ほしいのか、共に働く人の大切さをお話ししてくださいました。その説明に熱を感じ、ネットトヨタ南国株式会社でインターンシップを受けてみたいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間は6日間で「ネット南国という働き方」を題材として、インターンシップ生のそれぞれの理想の働き方や生き方を考えるというものでした。就職活動では業種や業界を重視しがちですが、どんな人たちと働くかによって仕事に対する充実度も変化してくると思います。ネットトヨタ南国株式会社では「誰と働くのか？」ということに重点を置いた考え方をベースにインターンシップを行いました。

9月8日

ライフラインと呼ばれるものを作成しました。自身の過去年表のようなものを午前中に準備し、午後からは他のインターンシップ生や人事担当のNさんの前で発表しました。発表後は質疑応答の時間を設け、フィードバックを行いました。フィードバックを行うことで自分がどんな性格や傾向を持っているかが現れました。また初日に自分の過去を紹介することでインターンシップ生同士の仲も深まりました。

9月9日

午前中にマナー研修を行い、ネットヨタ南国の考え方を身をもって体験することが出来ました。午後からは大学で同時期にインターンシップを受けている学生と交流しました。1週間という短い期間中の学びをお互いに共有することで、更に深く掘り下げた意見を交換できました。

9月10日

午前中はあさくら太陽店でのお客様体験をしました。実際にお客様として来店することでネットヨタ南国がお客様にどのような対応をしているか体験してみるというものでした。細やかな気遣いや丁寧な説明などを実際に体験させていただき、ネットヨタ南国ではお客様をどれだけ大切にしているかが分かりました。

午後からの本店業務体験では実際にショールームに出てお客様対応をしたり車の拭き上げを手伝ったりしました。来店されるお客様のお名前と顔を一致させて対応している社員の方を見ていると、この仕事を大切にしているのだと改めて感じる事が出来ました。

9月12日

この日はスポーツ大会に参加しました。スポーツを通して社員の方同士の交流が深まっていると感じましたが、実際にプレイしている方たちはそんな風には考えておらず純粋にスポーツを楽しんでいる様子でした。また小さな子連れの社員の方もいらっしゃいましたが、交代で面倒を見ている様子を見るとお互いに助け合う風土が出来上がっていることが見られました。

本店に帰ると、この日の担当の社員の方が昼食を作って待っていてくれました。昼食と一緒に取することで部署や部門に関係なく交流を深めようというものです。できるだけ他の社員の方と話したいと思い、インターンシップ生同士バラバラに座りました。ご飯を食べながら話すことで距離感を近く感じる事が出来、とても楽しくお話を伺えました。

9月13日

これまでの振り返りをインターンシップ生だけで行いましたが、なかなか深く掘り下げることが出来ず苦戦しました。その後はお昼を食べながらミーティングをするランチミーティングを見学させていただきました。ランチミーティングは店頭スタッフと呼ばれる若手スタッフで構成されており、問題点を話し合っていました。ミーティングでは年齢や位の上下関係なく活発に話し合いが行われていました。

午後からは新入社員の方が考えてくださった経営ゲームをさせていただきました。人材を育てると自ずと店は育ってくるということをゲームをしながら実感し、ネットヨタ南国の風土が表れていると思いました。

9月14日

午前中で今まで得たものをまとめたり発表の構想を練ったりした後、午後から成果発表を行いました。学んだことをこれからどう生かしていくか、大学に帰った後どうするかということを発表し、それに対する貴重な意見を社員の方からいただき、更に自分の考えを深めることが出来ました。

4. インターンシップ研修を終えて

この6日間の研修を終えて学んだことは「考え続ける」ことの大切さです。何故そう思ったのか、そう思った理由は何なのかと考え続けることで自分の思いの輪郭がくっきりと見えてきます。自分を見つめ、自分について他のインターンシップ生と話し合う機会が多く、どうすれば伝わるのか、また自分が何を伝えたいのかを考え続けた6日間だったと思います。研修が始まって間もないころは、自分のことを話すことも発表することも今まで経験がなく、どうしていいか戸惑ってばかりでした。しかし、研修が進むにつれ人それぞれ意見が違うのは当たり前、なぜなら今まで生きてきた過程が違うのだから、と思えるようになりました。そう思ってから多少意見が食い違っても、話し合うことでそれぞれの考え方を深め合うことができました。また話し合いの過程を通じてさらに仲間としての意識を持てたり、この仲間でインターンシップに取り組むことが出来て良かったと思えるようになりました。今回のインターンシップでの題材である「ネッツ南国という働き方」というものを肌で感じ、業種や職種ではなく自分がどんな職場でどう働きたいか、どんな人と働きたいのかということがより大切なのではないかと思います。実際に研修を受けていた期間中、社員の方同士の雰囲気や話し方を見ているとこんな風な職場で、こんな風な人に囲まれて働けるのは幸せで充実感のあることだろうと思えました。最終日の発表ではこういった風土のある会社で働きたいと発表したインターンシップ生がいました。それに対して社員の方の一人から、「風土のある会社に入ることも大切かもしれないが、入社した先にその風土が無ければあなたなりに創っていくことも楽しいんじゃないか」と言っている方がいらっしゃいました。働きたいと思った会社で働くのももちろん大切ですが、しかしそれ以上に自分が変えていくことも大切だと思えました。さらにこのインターンシップ研修を通して私でも職場や人、風土を変えていくこともできるはずだと思えるようになりました。このような考えに至れたのはネッツトヨタ南国で多くの社員の方のお話を聞いたり、実際にお客様に触れあったり、自身について自分のことのように考えてくれたインターンシップ生のおかげだと思います。この6日間は私にとって一生忘れることのできない貴重な6日間でした。お忙しい中、インターンシップを行ってくださったネッツトヨタ南国の皆様、また共に考え学んだインターンシップ生の皆様には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

【39】株式会社ビスタワークス研究所

〒780-0082

高知県高知市南川添 2-5

経済学部経済学科 3年次生 杉森 佑帆

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップに参加した目的は、「自己理解を深め、自分に足りないスキルを見つける」ということでした。これまでたくさんの活動をしてきましたが、その上で今の自分がどれだけ社会で通用するのか、あるいは、どれだけ足りていないのか、またどのようなスキルを伸ばせば自分の成長にもつなげることができるのか、これらを深めたくてこの目標を設定しました。

2. インターンシップ研修先の選択

大学生活の活動を通して私が考えることは、「気づき」を得られるのは人との関わりの中であるということです。私が追求している自分らしさでは、同世代との関わりだけではなく様々な職業に携わっている人と関わる必要があると考えています。それを踏まえた上で、株式会社ビスタワークス研究所を選択しました。また、周りの方から選択するのにあたって「この研修先は本当に大変だ」と予め伝えられていたこともあり、さらに自分を過酷な状況においてどこまでできるのかを知ることも自分の求めていることにもあっていて、成長にも繋がるきっかけにしたいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

8月31日(木)	15:00~21:00	オリエンテーション、A社成果発表
9月1日(金)	9:00~17:00	B社店舗調査@四万十、C社@安芸
9月2日(土)	9:00~17:00	振り返り研修、O社長の講話
9月4日(月)	9:00~17:00	小学生向け授業、教員インタビュー@教育センター
9月5日(火)	9:00~17:00	D社打ち合わせ、上町池澤インターンシップ参加
9月6日(水)	9:00~17:00	D社打ち合わせ、成果発表準備

9月7日(木)	9:00～17:00	成果発表準備、成果発表
9月9日(土)	9:00～17:00	振り返りセミナー@E 寺

<8月31日>

インターシップ初日ということで、最初に簡単な自己紹介とインターシップ参加の目的についてインターシップ生計4名が必ず質疑応答をする形でオリエンテーションが行われました。一人当たりの時間に1時間以上かけ社員から丁寧にフィードバックをしてもらいました。そして、4日にある小学生に対する授業内容を考えるにあたって、二人一組のチームになり作戦会議も行いました。あっという間に時間がたち、夕方には不動産会社のA社のインターシップ生が研修を終えるということで、最後の成果発表だけ参加させていただくプログラムでした。そこでは、社風以外にも発表ではないところで見えてくるものや、お互いに認め合っている組織だからこそ一人一人の個性が発揮されて自然と笑顔が生まれるということが一番身に感じたことです。そこでも大勢の前に立ち自己紹介する機会が設けられました。

<9月1日>

インターン2日目では、高知で有名なB社にインタビュー調査という形で実際の社員の生の声を聞くことができました。そこでは誰かのためにという思いの強いA社とは違い、社員一人一人が自分の生活のために働いているという意識が強いという印象を受けました。午後には、木のおもちゃを製造しているC社と秋にF市で講演会を行うことにあたって、学生が参加したくなるようなPRするためにはということで「学生目線の講話内容」を一緒に考えさせていただく機会を設けていただきました。

<9月2日>

昨日の振り返り研修ということで、実際に企業と関わって何を感じ、考えたかの意見を共有する機会が設けられました。そして午後には中間報告を社長と数名の社員に対して行いました。最後には、ほとんど人生相談という形にはなったのですが、社長の講話の中で質疑応答する時間があり、私たちが人生で悩んでいることや就活において今やっておくべきことなど数々のアドバイスをもらうことができました。

<9月4日>

実際に二人一組で考えた内容で小学生に45分間授業を行いました。テーマは特に決まっておらず、小学生に伝えたい内容であれば何でも良いということでした。また、直接校長先生にアドバイスとフィードバックをもらい、自分の反省点を踏まえ、社員の人にお話ししました。また、午後には教育センターに向かい、午前行った授業を踏まえて質問を考え尋ねることで、教員の生の声を聞くことができました。

<9月5日>

午前、最終日にある合同振り返りセミナーに向けて、D社のインターシップ生3名とどのように運営していくかの打ち合わせを行いました。午後には、F店さんのインターシップ生に交じり、一緒に研修に参加しました。そこで最初に言い伝えられたのは、「2時間

で質問を100個考える」というお題でした。そして、そのあとに「思考とは情報処理をすることではない」ことやクリエイティブな質問を心掛けることの大切さを教えていただきました。

<9月6日>

午前は機能に引き続きD社打ち合わせを行いました。そこでお互いの疑問点を解消し、各個人の役割など再確認することができました。午後には、明日の成果発表に備えて4人全員の発表の内容を考えました。これまでの研修を通してお互いどう考えていたのか、これまでの自分の立ち位置や自分たちのこのインターシップでの最終目標を再確認することができました。

<9月7日>

午前は成果発表準備の再確認を行い、午後には、発表を4人全員と個人と2つの成果発表を行いました。ここでも、一人一人の質疑応答の時間が設けられ、有意義な時間が持てたと思います。発表では今まで人前で何かをするといった場面が多かったためか緊張はほとんどせず、リラックスして挑めたと思います。

<9月9日>

指定されたインターン自体は終わりましたが、ビスタワークス主催の合同振り返りセミナーがあるということで、いままで準備、計画してきたことを出し切れたと思います。このセミナーでは、様々な業種のインターン生が集まり、たくさんの学びや気づきを共有できる場でした。

4. インターンシップ研修を終えて

この研修で一番の学びは、「質問することの重要性」です。このインターンの1日1日に自分から発信する、考えるということが常に連続してあり、全てに自分が思うとおりに取り組むことは難しかったですが、反省して次にどう生かし、繋げていくか、今自分ができること、やるべきことを常に考えることができました。講話の中で教えていただいた「ちょっとこんなことしてみようという気持ちが自分らしさに繋がる」という言葉は今までの悩みが晴れた気持ちにもなったことを覚えています。また、たくさんの人が自分の仕事を全うしているのを目の当たりにして、自分の中での働く意味というのがわかるヒントになったインターンシップでした。このたびは、お仕事の合間を縫って、インターンシップに時間を割いていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【40】株式会社ハウスメイトパートナーズ

〒791-8015

愛媛県松山市中央 1-4-10

経営学部経営学科 3年次生 河野 莉子

1. インターンシップの目的

私のインターンシップの目的は、働くということを実際に職場へ行き、近くで学びたいと思ったからです。社会人になるということがどういうことか分かっていなかったため、社会人の方に直接お話しを聞きたいと思いました。働くことへのイメージがほとんどなく、自分が働きたいと思う職種も決まっていなかったため、この研修を通してこれからの就職活動への参考にしたいと思い、インターンシップへの参加を決意しました。

そして、コミュニケーション能力の向上を目指すために、普段関わることの少ない社会人の方との交流を通じてスキルアップを目標として考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来、人と関わる仕事がしたいと考えています。そのため、事務作業だけでなく接客についても学べる企業を選択しました。コミュニケーション能力の向上という目標があったため、接客のプロから少しでもコミュニケーションの取り方を学べたらいいと思いました。さらに、不動産業界に興味があったため、自分自身も持っているイメージと実際の業界についての違いを知りたいと思い、株式会社ハウスメイトパートナーズを選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修日程	研修内容(午前 10 時～午後 6 時)
8 月 21 日(月)	ガイダンス・業界説明・事務作業
8 月 22 日(火)	物件の内見同行・事務作業・物件見学
8 月 23 日(水)	打ち合わせへの同行・新築物件の見学・リフォーム前後の物件見学・イノベーションデザイン体験
8 月 24 日(木)	ロールプレイング・事務作業・内見同行
8 月 25 日(金)	事務作業・物件の見学・企業の方と振り返り

初日はガイダンスのあと、不動産業と株式会社ハウスメイトパートナーズについての説明を受けました。イメージとは異なる部分もあり、大変さよりもやりがいを感じられるという点に魅力を感じました。午後からは仲介店舗へ行き、事務作業をしました。物件の資

料の整理や、エクセルを使って物件資料の写真のレイアウトを考える作業を教わりました。接客をするだけでなく、こういった事務作業もたくさんあり、パソコンの操作についての知識は大切だと思いました。初日を終えて印象に残ったことは、社内の雰囲気がとてもよかったということでした。

2 日目は実際にお客様が物件の内見をする場に同行させていただきました。お客様への物件の進め方の工夫や、内見の最中のコミュニケーションの取り方などを学びました。お客様に物件を決めていただけるように物件の情報の下調べをしっかりとしておくことが重要だと思いました。午後からは空き物件を何件か案内させていただきました。さまざまな条件の物件に行き、各物件のアピールポイントや、営業の仕方など詳しく教えていただきました。今後自分自身が物件を借りる際に参考になるような内容を知ることができました。

3 日目は仲介ではなく支店の業務を体験することができました。午前中は建設会社への打ち合わせに同行させていただき、これから建てていく物件の間取り図などを拝見し、打ち合わせ風景も見学できました。さらに実際建てた賃貸の新築の物件の見学をしました。デザインや構造など、人気がある物件になると思っても、地域や土地の条件によって人気であるとは限らないことがあるという大変さを教えていただきました。午後からは、築年数が経っていたり、内装の状態が良くなかったりする部屋をリフォームする部署の体験をしました。リフォーム前後の部屋の見学や、リフォーム後の部屋の写真を撮る作業を体験しました。そして、シンプルな部屋のデザインを考える体験をさせていただきました。天井や壁紙、床や照明など多くのサンプルから選び、組合せていく作業は簡単には出来ず、試行錯誤しました。担当の方は、ひらめきが大切でなかなかうまくいかない時もあり、そういった時はこの仕事が大変だと感じさせられるとおっしゃっていました。実際にデザインを1つ完成させることは長い時間をかけないと納得のいくものにはならないと思いました。

4 日目は新しくロールプレイングを体験しました。インターン生同士でお客様と店員の立場になり、物件を探すというものでした。一人暮らし用や家族で住むための物件などさまざまな条件で物件を探していきました。人によって物件を決める際に重要視するところは異なるため、その条件に合う物件を見つけることは大変だと感じました。地域によっての相場や設備の有り無しによる家賃の違いなどを知れたので勉強になりました。この日も内見に同行させていただきました。火曜日に内見に来られたお客様とは条件も違っていたため、接客ポイントも異なり勉強になりました。

最終日は、これから賃貸として仲介店舗が管理する物件に行き、家賃の相場を考えるとという業務に同行させていただきました。実際に物件を見て、プラスの部分やマイナスの部分を見つけて、場所や広さ、日当たりなどさまざまなポイントをみていました。自分が物件を決める際に、家賃と部屋の条件との比較の参考になりました。

研修の間、昼食をご一緒させていただき、お話しをすることが出来たり、緊張をほぐすために気さくに話しかけてくれたりと、株式会社ハウスメイトパートナーズの方々には本当に温かかったです。働きやすく、いい職場だとおっしゃっている方ばかりで、こんな会社

に就職したいと強く思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間の研修はあっという間でした。この研修で働くことへのイメージに変化がありました。社会人になるということは大変でマイナスなイメージが多かったのですが、研修先の方々は仕事にやりがいを持ち、仕事をされていて、私も就職する際は、やりがいの感じられる仕事に就きたいと思いました。接客を近くで拝見させていただき、幅広い世代の方とコミュニケーションをとるためにはさまざまな知識が必要だということ学びました。私は同世代の人とのコミュニケーションをとるための知識はあっても、他の世代の方とのコミュニケーションをとれる知識は身につけていないので、今後の学生生活での課題となりました。研修を通して、自分はやはり人と関わる仕事がしたいと強く感じました。そしてたくさんの刺激を受けて成長できたと思います。今回研修を引き受けてくださった株式会社ハウスメイトパートナーズの方々は、すごく温かく、緊張していた私にたくさん話しかけてくださり、いい緊張感で研修を行うことができました。この研修先を選んだからこそ、働くことへのイメージが変わり、就職活動への意欲が高まったのだと思います。お忙しい中、時間を割いて、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。本当に充実した5日間になりました。私にとって、とてもいい経験になり、最高の出会いでした。この研修で感じたことや、見つけた課題を今後活かしていきます。大変お世話になりました。

【41】 濱田農園

〒796-0001

愛媛県八幡浜市向灘 1938

法学部法学科 3年次生 井戸 信宏

1. インターンシップ研修の目的

私は、大学3年目を迎える頃までは、主に学問中心の生活を送っていました。もちろん、勉学に励み、様々な学問分野における教養を身に付けることはとても重要なことでもあります。しかし、大学を卒業し、社会人として働いていくためには、単に学問だけに専念しているだけでは得られる知識の量も限られてくると思うとともに、社会人となるためには色々なことに挑戦し、豊富な経験を積んでおく必要があると考えます。私は、今回のインターンシップ研修において、自己の個性や能力を知るきっかけとし、就職活動の際に役立てることを目的としました。また、実際に働く現場に行き、現場の従業員の方々がどのような姿勢で仕事に専念しているのかを、生で見ることが出来る貴重な機会であると思い、社会人としての教養を少しでも多く修得することを目的としました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、日々の食生活を支えている農業や水産業といった第一次産業にとっても興味・関心がありました。私たちが普段当たり前のように食べている野菜や果物・魚介類などは、農業や水産業を営む方々が毎日一生懸命に農作業あるいは漁に取り組んでいるおかげだと思えます。また、自然を相手にするため、その日の天候によって作業の内容も変わり、時には自然災害によって被害を受けることも少なくないと考えます。さらに、夏は暑く、冬は寒いなかでの作業は体力との勝負でもあると感じます。このような考えをもとに、実際に現場で農作業を体験することができることを理由に、濱田農園を研修先として選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修の内容は、大きく分けて3つで、みかんジュースを入れる箱作り・タイベックそして摘果を行いました。

箱作りは、最初のほうはやり方をマスターするのが難しく、1つ作るのに時間がかかり苦勞しました。しかし、自分なりのやり方でコツさえつかめればその後はスムーズに作る事ができ、他の研修生と協力してたくさん箱を作ることができました。おいしいみかんジュースだけを消費者に提供するのではなく、立派な箱と共に売ることによって、より高級感

を漂わせることができ、買う側としても商品の値段がやや高くても誰かへの贈り物として選ぶうえで十分満足していただけるのではないかと思います。

続いて、タイベックという農作業を行いました。マルチシートと呼ばれる白色のシートをみかんの木が植えられている周辺に敷いていくのですが、きびしい暑さの中での作業であり、熱中症にならないよう、十分な水分補給をとるなど、休憩をはさみながらの作業でした。タイベックを行う理由は、糖度の高いみかんを实らせるためであり、みかんが大好きなものが海からの照り返しだそうです。みかん農園の目の前には八幡浜港へ続く海が広がっており、晴れの日には日光が直接海に反射し、その照り返しがみかんに届きます。とても暑いなかわざわざマルチシートを敷くことによって、より反射の効果を発揮させ、また、雨が降った時の水はけを良くすることにもつながり、より糖度の高いおいしいみかんができます。このタイベックを行うにあたっては3人の担当の方々と同じ研修生と一致団結して、みかんの木が生い茂る中、マルチシートにピンを使ってきれいに敷いて貼っていききました。お互いに声をかけ合いながら、しっかりときれいに貼れているかどうかを確認するため、コミュニケーションが大切になる作業であると感じました。

最後に、摘果を行いました。この作業は、大きいサイズのみかんを实らせるために、小さいみかんの実を取り落していくことや、みかんの実がぶつかり合っている場合は小さい実を落とし、間隔をあけて傷つかないようにするために行います。せっかくのみかんの実を取り落とすことは、もったいないことのように感じますが、摘果を行ったか否かで、秋の収穫の際にその成果が違ってくことを学びました。摘果を行わないでいると、小さいみかんの実ばかりになってしまうことや、傷ついた実が多くなり、商品として売れる大きいサイズのみかんが収穫できなくなるのだそうです。みかんの木はたくさんあり、一本一本、集中力を高めてみんなと協力し合いながら作業を進めていきました。

箱作りもタイベックもそして摘果も、どれも地道な作業のように感じました。しかし、この作業をするか否かで経済面での収入が違ってくことや、コツコツ努力していれば、大きな達成感を味わえることを学びました。ただ、農業は自然を相手にするため、毎年同じ収入を得ることはできません。地道な努力を積み重ねていても、その努力が報われないこともあることを認識することができました。濱田農園では、みかんジュースを作ることで、売り上げを少しでも多く伸ばそうという試みをしていて、農業に限らず他の様々な業種・職種においても、知恵を出すことや工夫するところはないかを考えることが重要なことであると感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は、今回の研修を終えて、研修の目的に関しては、H 代表をはじめ同じ研修生や担当の方々とコミュニケーションを取ることができ、社会人としての一定の教養を身に付けることができたと思います。反省すべき点は、挨拶をすることがあいまいになってしまったことが挙げられます。挨拶はコミュニケーションの基本であることを考えると、今後改善していかなければならないと思っています。

研修において、実際に現場で農作業をすることができたことは、大変貴重な経験となり、今後の人生において必ずどこかで生きてくると考えています。農作業は初体験ということもありましたが、担当の方々が丁寧かつ親切に指導していただき、大変心強く感じました。また、同じ研修生と共に協力・助け合いを意識しながら作業に当たれたことも、将来自信につながると確信しています。今回は研修期間のほとんどがタイベックであったため、とても暑い中の作業で体力も限界に達していました。しかし、3人の担当の方々と自分を含む4人の研修生も同じ気持ちであることを考えると、自然と体に力が湧いてきました。この夏場の農作業に従事している年配の方々には頭が下がる思いです。また、暑くて体力のいる作業であっても、会話をしながら楽しく取り組んでいて、楽しさを味わいながら作業することで、モチベーションを維持できるのだと感じました。私も3人の担当の方々と話す機会が多々あり、それぞれの作業の目的はもちろん、他にも気軽に声をかけてくださり、次第に距離感が無くなっていきました。このようにして、人脈の幅を広げることによって、豊かな人生を送れることを学びました。また、H代表から、人生の最大の目的は幸せになることと聞き、そのためには経済面で安定した生活を送れるように努力しなければならないことや、多くの人とのつながりを持っておくことが必要であることを重ねて学びました。他にも、物事に対する多様な思考や、常に前向きな思考を心がけること、現場に行くことの重要性など、H代表からはたくさんの貴重なお話を聞くことができました。

最後に、今回のインターンシップ研修でH代表をはじめ濱田農園で働いている方々・同じ研修生と出会えたことは生涯忘れることのない良い思い出になったと感じています。研修において、大変親切にいただいた濱田農園さんの方々には、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

【42】 特定非営利活動法人ふうしすてむ

〒790-0821

愛媛県松山市木屋町3丁目12-7

経済学部経済学科 3年次生 栗田 茉実

1. インターンシップ研修の目的

私が今回インターンシップ研修に参加した目的は、2つあります。1つ目は、視野を広げることです。私は将来への明確な目標がなく、就職活動に対する意識もあまり高くありませんでした。そのため、これまで私が関わる機会のなかった業種を選ぶことで、視野が広がればと思いました。2つ目は、「働く」とはどういうことかを知るためです。今回の研修では、アルバイトでは経験することができない仕事に関われると知りました。積極的に行動をし、社会に出た時に必要になる能力等を身につけたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が今回の研修先を選択した理由は3つあります。1つ目は、視野をひろげるためです。これまでの20年間、私は障がいを持った方とほとんどかかわったことがありませんでした。そういった方々が働いているところを見たいという気持ちがあったこと、今までかかわることのなかった仕事を自分の目で見ることで、視野を広げられるのではないかと考えました。

2つ目は、業界理解を深めるためです。私は3回生なので、少しずつ就職活動について考え始めています。就職活動をするうえでは、多くの職種を知ることが大切だと考えています。障害者支援の分野は多少興味がありましたが、興味がある止まりでそこから多くを知ろうとは思っていませんでした。そのため、非常にいい機会だと感じました。

また、合同説明会において、Kさんが「ずば抜けた才能を活かすために、向き不向きを見抜くことが重要だ」と、おっしゃっていたのが非常に印象に残っており、私もそういった洞察力や観察力を身につけたいと思い、特定非営利活動法人ふうしすてむを選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年9月11日～9月15日（5日間）

研修日	研修場所	研修内容
9月11日	特定非営利活動法人ふうしすてむ	障がい者の就労支援について 社内、業務内容の見学

		障がいに関する DVD 鑑賞 実務体験（フォトショップ）
9月12日	社会福祉法人 きらりの森 社会福祉法人 友の会 なかま共同作業所	在宅就業の方を訪問 関係機関の見学
9月13日	特定非営利活動法人ふうしすてむ	実務体験（3D 地図）
9月14日	特定非営利活動法人ふうしすてむ	実務体験（動画作成）
9月15日	特定非営利活動法人ふうしすてむ	パワーポイント作成

・社内、業務内容の見学

職員と利用者1人1人にどんな障がいを持っているのかということや、仕事に対する姿勢等をお話していただきました。持っている障がいは違っても、どの方もやりがいをもって仕事に取り組んでいることが分りました。

・実務体験 —— フォトショップ体験

フォトショップを使用しパソコンで実務体験を行いました。フォトショップというのは、企業がホームページ等に自社の写真を掲載する場合、そのままの写真を使用すると、電柱や道路標識等が映りこんでしまいます。そうしたものを消し、修正するために使用されるソフトです。今回はフォトショップを使用し、簡単な修正作業と合成作業を行いました。実際にやってみると非常に細かく、丁寧に作業をしなければならないことが分りました。

・関係機関の見学

社会福祉法人きらりの森を見学しました。こちらでは、精神障がいを持った方がいろいろな生き方を自分らしく選ぶことを尊重し、地域で普通に生活できるように、と支援を行っています。将来の目標を実現する力を身につけるための、生活訓練事業や、一般の仕事に就けるよう支援を行う、就労移行支援事業等のための設備が整っていました。また、こちらでは、訓練の一部として、障がいを持った方が給食づくりやカフェ・パティスリーで出すケーキ作り、接客等も行っていました。実際昼食をとらせていただきましたが、とてもおいしく接客も丁寧でした。

その後、社会福祉法人友の会なかま共同作業所を見学しました。こちらでは、旅館からの依頼でタオル、歯ブラシセットの作成や農協からの依頼でパックにシールを貼る作業等を行っていました。なかでも印象的だったのは、点字入りの名刺です。名刺に点字を入れるという発想と、心遣いがとてもすてきだと感じました。また、社会人になった時名刺は必要不可欠なので、ぜひ作っていただきたいと思いました。

・実務体験 —— 3D 地図

3D 地図は、研修初日から職員や利用者からお話を聞いており、少し楽しみにしていました。今回は、すでにデータが出来上がっているものを、利用者に教えてもらいながら作業を行いました。作業工程が非常に多く、1つのデータを作るのに1時間ほどかかりました。1番早い人は1つのデータを8分ほどで作るのだとおっしゃっており、すごい集中力だと感じました。

・実務体験 ―― 動画作成

動画作成は、まず自分でテーマを決め、画像を集め、順番を決め、文字を入れ、音楽をつける、という工程に沿って行いました。携帯で簡単な動画を作ったことはありましたが、パソコンを使っての動画作成は初めてでした。携帯で作るのとは異なる部分が多く、1分足らずの動画を作るのに、5時間ほどかかりました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の5日間のインターンシップ研修を通して感じたことは、働くということに、障がいの有無はまったく関係ないということです。4日目の申し送りの時、Kさんが「首から下が動かなくても、口を使ってパソコンを操作し、仕事をしている方がいる」とおっしゃっていました。重い障がいをもっていても、「働きたい」という気持ちと、それをサポートする、特定非営利活動法人ふうしすてむのような会社があれば、働くことができるのだと感じました。また、特定非営利活動法人ふうしすてむで働いている方々のように、私も自分の得意なことを仕事にしたいと強く感じました。

最後になりましたが、特定非営利活動法人ふうしすてむの皆様、お忙しい中、5日もの間温かく、丁寧な対応をしてくださり、ありがとうございました。今回の研修を通して学んだことを忘れず、これからの学生生活や就職活動に活かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

【43】株式会社フジ

〒790-8567

愛媛県松山市宮西一丁目 2-1

経営学部経営学科 3年次生 石川 沙也加

1. インターンシップ研修の目的

私は、まだこの企業に就職したいと希望する企業や業種が見つかりません。そのため、このインターンシップ研修を受けて、たくさんの企業を知り、気になる企業を見つけたいと思いました。また、企業は私たちに何を求めているのか、自分が社会の中で何がしたいのかを知りたいと思いました。私たちに何を求めているのかは、実際に企業に行ってお話を聞いたり、職場を見てわかるものだと思います。自分が社会の中でしたいことと、企業が私たちに求めていることが合っていないと就職しても意味がありません。自分が社会の中でしたいことを見つけるためにも、インターンシップに行って実際に企業の中で学びたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

まだあまりどのような企業があるのかわかっていませんでしたが、合同説明会に参加することで多くの企業を知り、お話を聞くことができました。そこでは私が今まで知らなかった企業でもたくさんの努力をされており、魅力的に見える企業がたくさんありました。その中でも私は、合同説明会に参加していないフジに行くことに決めました。私は、経営学部にも所属しており今の学んでいる内容と流通業を行っているフジには共通する部分があるのではないかと感じたからです。また、愛媛県内では大きなスーパーであり、ここまでフジが浸透しているのは様々な工夫や努力があったからだと思います。その工夫や努力を近くで見学したいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

フジのインターンシップ生は6人でした。その中で私と同じ大学の人はおらず、全員初めての方だったので、初日はとても緊張しました。今までのフジのインターンシップと比べて予定を大きく変更しましたと言われ、二日目からエミフルの研修施設に来てくださいと、急な場所の変更があったので少し戸惑いました。毎朝、その日の目標を立てて研修生の前で発表し、研修に臨みました。一日目は、主に目標設定、就職活動についての講義、社会人と学生の違いというテーマでのグループワークをしました。グループワークをするのははじめてで、実際にフジの去年の採用試験で出された問題だったのでとても緊張して、

あまりうまく進めることができませんでした。自分の意見を積極的に人の前で発表することや、グループの意見をまとめて発表することの難しさを知ることができました。

二日目は、フジの接客を学びロールプレイングをし、エミフル直営店の見学をさせていただきました。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などの接客7大用語を教えてください、2人ペアになって実践的な練習をしました。初めはぎこちなさがありましたが、何回も繰り返していくうちにスムーズに言えるようになりました。お辞儀や挨拶の仕方もフジの工夫があり、お客様のことを考えての接客をしているなとすごく感じました。エミフル直営店の見学では、青果、鮮魚、精肉の部門と売り場の工夫を見させていただきました。青果では20年以上勤めているベテランの方がおられて、きれいに素早く果物の皮をむいているところを間近で見ることができました。鮮魚では、大きなブリを刺身にしていく工程を見せていただきました。フジに入社して鮮魚に配属されると魚をさばくお仕事もあるのだと驚いたと同時に、私がもし配属されてもできるようになるのかなと不安にもなりました。また、みなさん和やかな雰囲気の仕事がされていて、職場の雰囲気も感じることができました。その部門ごとで、質問はありますか？と聞かれ、事前に質問を予測しておくことができず、その場ですぐに質問を考える難しさも知ることができました。なかなか一番最初に質問をすることができなかつたので、積極性を出すことも自分自身の課題だと思いました。

三日目は、売場実習で私は食品の中でも賞味期限の比較的長いドライの部門で実習をしました。食品の売場の入り口の野菜ジュースの売り場づくりをさせていただきました。入り口ということもあり、お客様の足を止めて食料品売り場に立ち寄っていただくための大事な部分であったので、責任重大でした。お客様の目にとまるようにジュースを上まで積み上げ、お客様が取りやすいように重ねるのは大変でしたし、力仕事でもありました。POPも作らせてもらい、その売場がある1週間飾っていただきました。売場が完成したときは、達成感がありとても嬉しかったです。

四日目は、地産地消に力を入れているエフ・マルシェ古川店のイベントのまるごと農園 in 松前に参加させていただきました。まるごと農園は年におよそ3回くらいイベントを開催しており、地元の農家の方と子どもたちとフジをつなぐイベントです。今回は、人参の種を植えました。私を含め、実習生も子どもたちも人参の種を植えるのは初めてでした。なかなかできない体験でしたし、人参の育て方も学べて貴重な体験ができました。炎天下の中で暑かったのですが、農家の方の大変さもよくわかりました。人参を植えたら、A社の施設へ行き、地元の偉人の話を聞いたり、お味噌汁をいただいたりしました。地域や生産者との繋がりで、フジはこのような努力をしていることも知りました。そして農業の良さを広めるために、子どもたちにも参加してもらおうという工夫もされていました。フジの経営理念の一つである、「豊かなくらしづくりをめざします」というところにも起因しているのだと思います。

五日目は、売場実習2回目で私は文玩を担当しました。文具の補充をしているときに、お客様に何度か商品の位置を尋ねられ、ロールプレイングの時に練習していたはずなので

すが、すぐに言葉が出てこずに慌ててしまいました。なんとか社員を見つけて対応していただいたのですが、自分の未熟さを痛感しました。玩具は、売場づくりをしました。食品の時とは違い、様々な形や大きさのものがあるので、とても難しく時間がかかってしまいました。また、実際の商品も使い方がわかるように広げて売場をわかりやすくする工夫も学びました。午後からは1時間新入社員との座談会の時間を設けていただきました。ここでは事前に質問を考えていて、スムーズに質問をすることができました。新入社員の方は、やはり「地域の人々を豊かにしたい」という思いを共通して持っているなど感じました。最後にグループワークをし、研修担当の方と店長に発表をしました。最後のグループワークでしたが、五日間を通して6人の仲も深まり、どんどん意見を出せて、意見をまとめることができました。発表の時はやはり緊張しましたが、担当の方がいい発表だったと言ってくれました。

4. インターンシップ研修を終えて

私が一番に思うことは、フジは経営理念の「私たちは豊かなくらしづくりをめざします」をきちんと実行している企業だと思いました。どの部門や店舗を見学しても、この経営理念と繋がっていました。自分の会社の利益だけでなく、地域の人々を豊かにするという心は素晴らしいと思います。

企業が求めている点、私に足りていなかった点は、積極性です。グループワークの際や、質問をする際に、発言をしないと何を感じているかわからないし、興味が無いのかなと思われてしまいます。自分の意見に不安があるかもしれませんが、発言できる機会があれば積極的に発言していくべきだと思いました。今回のインターンシップで学んだので、これから就活に向けて伸ばさなければならない点だと思います。

去年と内容が変わったインターンシップでしたが、イベントの参加や実習、見学など普段では絶対にできないような体験をたくさんさせていただきました。今回の体験は、今後の就活や社会に出てからも活かしていきたいです。お忙しい中、このような内容を考えてくださった担当の方に感謝しております。本当にありがとうございました。

【44】株式会社フジファミリーフーズ

〒790-8567

愛媛県松山市宮西一丁目 2-1

人文学部社会学科 2年次生 玉井 優大

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加しようと考えた理由は3つあります。1つは、「働くこと」を経験し、私自身の今の実力を知りたかったからです。私は今まで社会経験をほとんどしたことがありませんでした。アルバイトも短期でするぐらいで社会に出て「働く」ということを知らずに生きてきました。そんな中インターンシップ研修があると知り、実際の社会ではどのように働いているのかを知り、現場で自分が何をできるのかを体験したいと考え、研修に参加した次第です。2つ目は、コミュニケーション力や積極性など私に足りないものを身につけるとともに、自分の考えを持ってその考えを相手にはっきりと伝えるようになりたいと思ったからです。私は大学である団体に所属しており、その団体では自分の意見を発することがよくあります。そのような時、私はなかなか自分の意見をはっきりと述べることができず、ほとんど話すことができません。こんな自分を変えたい、自分の意見をはっきり述べるようになりたいと思い、参加を決意しました。また、参加する上で心掛けたこともありました。自分のことをよく知ってもらうために必要なコミュニケーション力、誰とでも話せるような行動力と積極性などを身につけたいとも考えていました。3つ目は、社会の厳しさを知りたいと思ったからです。最近のニュースを見ると、新入社員が1年、早い人では1ヵ月で仕事を辞めていると聞きます。「自分には合わなかった」という意見が多いのですが、果たしてそれだけなのか？と疑問に思ったのです。そこで実際の現場に行って体験し、社会の厳しさ・ルールなどを学びたいと思い、参加を考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が株式会社フジファミリーフーズを選んだ理由は2つあります。1つは、研修内容に興味を持ったからです。研修テーマが「チームワークの大切さを学ぶ」ということで、自分を見つめ直すいい機会だと思い、研修先に選びました。2つ目は、社会勉強になると思ったからです。飲食店で働くことの大変さ、楽しさ、覚えることの多さなど社会で働くということについてきちんと理解しておく必要があると考えたからです。

3. インターンシップ研修の内容

日付	研修時間	研修場所	研修内容
9月12日(火)	10:00～17:00	フジ本部第3ビル5階第1会議室 エミフルMASAKI	研修内容説明、会社概要、事業所見学、働くための心構え、チームワーク
9月13日(水)	10:00～19:00	フジ本部第3ビル5階第2会議室 どんと松山	接客、衛生管理について。実習。
9月14日(木)	10:00～18:30	どんと松山	実習。
9月15日(金)	10:00～18:30	どんと松山	実習。
9月16日(土)	10:00～18:30	どんと松山 フジ本部第3ビル5階第1会議室	実習。インターンシップ研修まとめ

1日目

まず、どんと松山に集合・移動後に、軽く自己紹介をしました。私とKさんとの2名で研修に参加しました。その後、担当者のS様から研修の詳しい内容と会社概要について話していただきました。5日間の研修内容については、守らなければならないこと・必ずすることについてお話いただきました。その後、事業所見学として、エミフルMASAKIに向かいました。S様の運転で向かったのですが、車中ではS様の体験談や私たちの今までの体験・悩みなどについて話をし、社会に出て働くことについて教えていただきました。

事業所見学では、ミスタードーナツ・焼肉じゃんじゃか・めんた・ミョンドンヤ・アニー・わさび・天井てんや(東本店)に行きました。ここでは、お客様と店舗の内装・外装の良い点・改善点を探し、S様とKさんと共有し合いました。見学時、お客様側からの視点と従業員側からの視点で見たのですが、従業員の態度や物の配置、ゴミの有無などありましたが、何よりも2つの視点から見ることで、今まで見えていなかったもの・気付かなかったものについて見ることができ、店舗をよりよくするためにどうしたらいいのかを考えやすくなりました。

午後からは、会議室に戻り、働くための心構え・チームワークについて学びました。内容は、企業のキマリに従う、学ぶことを休んではいけないなどのことを学びました。チームワークについても、本当の意味を理解し、行動できるようにしました。

2日目

午前中は、お店を知ろうということで、どんと松山の店主のU様に店舗の一日や店舗概要についてお話いただきました。その後、接客・衛生管理についてS様にご指導頂き、午前の業務を終えました。午後からは、実際に店舗実習を行いました。制服を貸していただき、制服の着方・手洗いの仕方を教えて頂き、キッチンに入って実習をしました。主に、業務の仕方についての説明後、実際に作業をしました。洗い場やポーション取り、洗米の

仕方などしました。実際に店舗に入って思ったことは、覚えることが思っていた以上に多いことでした。どこにどの食器を置く、洗米の量、調理の順番、片付けの仕方など覚えることが多いと感じました。この日の反省としては、「時間を考えて行動する」だった。初めてだったとはいえ、行動に時間がかかりすぎてしまったのが反省でした。また、この日の目標であった「店舗スタッフ全員とあいさつをする」についても、全員とはできず、声もうまく出せませんでした。

3日目

3日目以降は、朝から実習でした。この日から、朝の朝礼に参加し、注意事項の確認などを行いました。その後、ポーション取りや調理補助をしました。調理補助では、Tさんに教えて頂き、調理の順番や食品の場所などについて丁寧に教えて頂きました。午後からは、ホールに出て、Nさんにホールの仕事や「社会人とは？」について教えて頂きました。ホールでは、笑顔と大きな声を忘れずに、気遣い・気配りが重要、配膳の仕方を徹底するなどのことを教えて頂き、実践しました。うまくできなかった部分もありましたが、Nさんの教えを活用して、取り組みました。また、私の悩みについても真剣に聞いて下さり、とても頼りになる方でした。この日の反省としては、忙しい時間帯(ピーク時)の対応に手間取ってしまったことだ。私が思っていた以上に忙しく、体が動かずに、迷惑をかけてしまったことでした。あいさつについては、昨日よりはできたが、まだまだ声が小さいので、もっと元気にあいさつしようと思った。

4日目

4日目は、洗い場、ポーション取り、肉の切り分け・盛り付け、洗米、調理補助を行いました。洗い場では、忙しい時の対応がうまくできませんでした。そして、FさんやKさんに手伝ってもらいつつこなしました。丁寧にすることも大事ではあるが、素早い行動を心掛けなければならないと感じました。他の作業については、初日より上達していたと感じ、うまく時間を使えていたと思います。4日目の目標は、「わからないことはそのままにしない」であったが、きちんと周りの方に聞いて解決することができた。

5日目

最終日は、主に洗い場を中心にしました。この日は土曜日でもあったため、忙しさは平日の2倍~3倍に感じました。この日も周りの方に手伝ってもらいましたが、私ひとりで片付けられることは精一杯することができました。午後からは、インターンシップ研修の振り返りと分業・命令について、就活のアドバイスについてお話を頂きました。そして、最終日の目標であった「ありがとう(感謝)の気持ちを伝える」は、お世話になった方々一人一人にきちんと伝えることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップ研修では、テーマとなっていることだけではなく、「社会に出て働く」ということについて学ぶことができました。

「チームワーク」については、一人でやることの難しさを知りました。チームワークは、

分業が行われている状態で、一人一人に課せられた職務のことでした。他人の手を借りずに職務を全うする難しさを知り、チームワークがいかに大切なのかを理解することができました。「社会で働く」ことについては、自分自身が企業に対してどのくらい労働力を売ることができるかが重要だと学びました。報酬を得るためには、働かなければならない。そのためには、自分自身のスキルの向上、具体的な目標の提示などが必要です。インターンシップ研修を通して、私は自分を見つめ直すことができました。勿論、スキル向上のためや社会で働くことについて学ぶことも重要ですが、何よりも自分の長所や短所の再発見、挑戦していく力などを身につけることができたと感じています。

本当に、今回のインターンシップ研修は、充実した体験だったと感じています。これからは、研修で学んだことを生かして、色々なことに挑戦していきたいと考えています。

【45】星企画株式会社

〒790-0932

愛媛県松山市東石井6丁目12番36号

経営学部経営学科 3年次生 菊川 弥侑

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つ目は、自分の興味のある職業について、もっと詳しく知りたいと考えたからです。インターネットの情報だけでは限界があります。実際に現場で働く方からのお話しややりがいを知りたいと同時に自分自身で体験して知りたいと思いました。

2つ目は、自分に強みがほしいと考えたからです。私は、これからの就職活動に対しての不安が大きいです。そんな中、何もしないよりは将来の自分のために今、この時間を使いたいと考えました。インターンシップ研修は、自分を見つめ直すいい機会です。今の自分はどこまで通用するのか試したかったのです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は多くの人に影響を与える仕事に興味があります。星企画株式会社では、テレビや新聞を始め、広告企画やイベントなど様々な事業を展開していると知り興味を持ちました。また、地元での就職を考えており、地域活性化など地域に密着した広告会社であることにも興味を持ちました。実際に星企画株式会社で働くことで、会社の雰囲気や広告業界の仕事はどのようなことをしているのかを体験し、働くことへの理解を深めたいと思い、インターンシップ先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：2017年8月28日（月）～9月1日（金）

始業時間：8時30分 終業時間：17時00分

【1日目】

午前中は、総務部で今回のインターンシップにあたっての目標を発表後、部署・会社の説明を受けました。星企画株式会社の経営理念・業務内容・各部署の説明をして下さいました。また、研修担当の方へ質問が出来る時間でもあったので、知りたかったこと等に答えて頂きました。午後の企画部では、前半に部署の説明をして頂きました。後半は、名刺と自分自身の新聞を作りました。目に留まるような言葉の選び方など発想力が必要で、とても難しかったですですが楽しく作ることが出来ました。

【2日目】

午前中は、営業推進部で部署の説明の後、星企画株式会社が一番のお得意先である会社のハロウィンの取材に同行させて頂きました。実際に大きなカメラを使った撮影や料理の撮影をさせて頂き、貴重な体験となりました。疑問に思ったことは全部聞きお互いに間違えがないように慎重に話し合う姿を見て、プロの意識を感じました。午後は、コンテンツ事業部でリフォーム会社との営業に同行させて頂きました。日常会話をはさみ、終始和やかな雰囲気、自分の中での営業の意識が変わりました。

【3日目】

午前中のデジタルコミュニケーション室はWebを使った事業部で今年から出来た新しい事業部です。研修では、野球チームのグッズや球場に人を集客する方法を考えました。多くの人を集客するには、相手が何を求めているのかを考えることが大切であると学びました。午後はそのチームの事業部で球団の説明や歴史についてお話をして下さいました。星企画株式会社は日本で唯一球団を持つ広告会社です。今の星企画株式会社があるのは、様々な歴史があるからだと思いました。インターンシップだからこそ聞けるお話をたくさん聞くことが出来ました。

【4日目】

午前中のカタログ事業部では前半、事業の説明とカタログを作成するまでの過程を教えてくださいました。何気なく見ていたカタログもチーム一丸となり時間をかけて作成していることが分かりました。後半は、愛媛と北陸地方のカタログを見比べ、考察しました。地域によって、写真の撮り方や注目をさせる方法などが違って見比べるのが楽しかったです。午後は第1営業部でテレビ局2局を見学させて頂きました。実際に使うスタジオや部署の見学をさせて頂き貴重な時間を過ごすことが出来ました。良好な関係を築くための日常会話によってとても笑顔の絶えない現場となりました。

【5日目】

最終日は、朝礼の時に、研修を通して学んだことやお礼の言葉を述べました。また、星企画株式会社の会長から貴重なお言葉を頂きました。午前中は総務部、午後は自分が希望する部署でもう一度研修を受けさせて頂きました。

総務部では、5日間の研修を通して研修成果を発表しました。研修前と比べると成長したと実感しました。午後は、企画部を希望しました。カタログ事業部との打ち合わせに参加させて頂いたり、テレビCMを考えたりしました。打ち合わせでは、カタログ全体の雰囲気や見た目を考え構成し、文字や写真の大きさなど細かい部分まで打ち合わせをしていました。テレビCMの制作では、15秒と決められた時間内で伝えたいことを表すのがとても難しかったです。誰に見てもらいたいのかに注目し、対象者に響く伝え方を心がけました。最終日もとても充実した1日となりました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を終えて、働くことの大変さや仕事のやりがいを学ぶことが出来ました。毎日遅刻をしないように心がけ、前までのダラダラした夏休みが嘘のように生活が整いました。自分中心だったものが相手への気遣い・思いやりの毎日へと変わりました。でも、しんどいことばかりではなく、新しいことの発見で充実した日々でした。このような日々が、自分にとって生きがいとなり、働くことに楽しさを感じるのだと思いました。また、今回のインターンシップでは全部署に参加させていただき、広告会社がどのようなことをしているのかを学ぶことが出来ました。広告会社は仲介にいてお得意先の課題を解決していると知りました。そのために、発想力や技術だけではなく、相手に寄り添っていくためにコミュニケーション能力や聞く力が必要であることが分かりました。

今回のインターンシップでは、実際に働く方のお話を聞く機会が多くありました。どの方も生きがいを感じ日々楽しく仕事をしていることが分かりました。職場の雰囲気もとても良く、インターンシップでないと感じることの出来ないことをたくさん学びました。毎日が新しいことの毎日でとても充実した5日間となりました。最後になりますが、お忙しい中、インターンシップ研修を受け入れてくださった星企画株式会社の皆様にお礼申し上げます。大変貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

【46】株式会社ホテル椿館

〒790-0836

愛媛県松山市道後鷺谷町 5-32

経済学部経済学科 2年次生 玉井 花歩

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けようと思った理由は三つあります。一つ目は、ガイダンスを聞いたときこの機会を逃したくないと思ったからです。自由な時間の多い大学生活だからこそ、自分から動かなければ何も始まらないと悩んでいた時期にこのガイダンスに参加しました。この機会を逃せば、後悔すると感じてインターンシップ研修を受けようと思いました。二つ目は、自分に自信がほしいと思ったからです。この講義は、インターンシップに行くだけではなく、その事前、事後にも講義があることに魅力を感じました。特に事後講義では、インターンシップの体験をプレゼンするというのを、シラバスを見て知りました。私は人前で話すことが苦手です。だから、この年間の講義を通して、様々な方たちと関わることで、コミュニケーション能力を上げたいと考えました。三つ目は、将来に不安があったからです。私はまだ将来自分が何をしたいのか、どのような仕事に就きたいのか定まっていません。インターンシップへ行くことで自分の将来についてしっかり見つめたいと思いました。また仕事のやりがいや楽しさ、大変さを実感したいとも思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がホテル椿館に研修へ行きたいと決めた一番の理由は、合同説明会で企業の方の話を聞き興味を持ったからです。ホテルで働く人たちは、お客様と交わす何気ない会話から、一人ひとりにあつたおもてなしをしていると教えていただきました。広い視野を持ち、周りへの気配りができるホテルで働く人たちに憧れを抱き、私も同じ場所で働いてみたいと感じました。また、お客様から「よかったよ、ありがとう」の言葉をもらえたときに一番のやりがいを感じるとおっしゃっており、人のためになる仕事を体験してみたいと思いました。

3. インターンシップ研修の内容

私は研修を行う際に三つの目標を立てていました。一つ目は、自分に自信をつけるために、自ら考えて行動できるようになることです。二つ目は、コミュニケーション力をつけるために、企業の方・お客様に自分から話しかけたり、あいさつしたりをすることです。

三つ目は、上手くいったこと・楽しかったこと・苦手だったこと・できなかったことを把握し、将来自分が何をしたいのかを見つけることです。研修が始まる前にこの目標を見返すことで、「今日も頑張ろう」という気持ちを忘れずに取り組めたと思います。

研修の主な一連の流れ

制服着付け	マドンナの衣装を着ました。他県から来られるお客様もたくさんおられたので、マドンナの衣装はとても喜んでいただきました。
玄関でお客様のお迎え お客様の荷物を部屋まで運ぶ	主にこの仕事内容が多かったです。玄関先で到着されたお客様のお迎えをして、フロントまで案内しました。またこの作業を単に行うだけではなく、廊下ですれ違うお客様や外出されるお客様へあいさつや声をかけたりすることを心掛けました。周りをみながら行動することで、お客様が困っていたり、自分が次何をしたらいいか気付いたりすることができました。
休憩	
報告書作成	
フロント業務手伝い お子様用企画の案内・説明	夏休み限定で実施していたお子様向けの宝探しゲームをしに来られたお客様に企画の説明をしました。親子で楽しんでいる姿をみて、温かい気持ちになりました。また他にも、夏休み限定で蛇口からオレンジジュースがでるコーナーも設置されており、暑いところからお越しになったお客様への配慮がホテル内にたくさんあることに気が付きました。

また、伝統芸能である水軍太鼓ショーをホテル内で行っており、見学させていただきました。見に来られた多くのお客様が楽しんでいる様子を見ることができました。お客様に宿泊の提供だけをしているのではなく、いろいろな工夫でお客様の楽しい思い出作りのお手伝いをしていることを実感しました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修で学んだことは四つあります。一つ目は働く人たちは、自分の行動に責任を持ち、自分自身の役割を把握した行動ができているということです。二つ目は、あいさつの大切さです。お客様とあいさつを交わすことで、笑顔になれたり、「次もがんばろう」と力になったりしました。三つ目は、目標を立てて仕事をする大切さです。研修前に自分で決めていた目標を確認してから研修を行うことで、「今日は昨日よりもこれができる」、「これは上手くいかなかったから明日はこうしよう」など振り返りをすることができました。反省することは自分を成長させる一歩につながると思います。四つ目は、自分の仕事に誇りを持って取り組む姿勢を持つことです。ホテル椿館で働く方々はみなさんキラ

キラしていて、カッコいいなと感じました。

私はホテル椿館にインターンシップ研修を受けて本当によかったと感じました。私は人前で話すことが苦手で、あまり人と関わるようなサービス業は向いてないのではないかとインターンシップに行く前は不安がありました。ですが、お客様とあいさつを交わしたり、笑顔を見られたりしたときは、心から嬉しくなりやりがいを感じました。ホテル業というお客様を笑顔にできる、とても素敵な仕事を知ることができて本当によかったです。だから、これからは、最初から向いていない、できないと決めつけずに多くのことに挑戦していこうと思いました。やってみて失敗することもあるかもしれませんが、得ることもたくさんあります。自分を成長させるために、勇気を出すことの大切さもこのインターンシップ研修で学ぶことができました。また大学生活中には英語力を向上させたいと思います。玄関でお客様をお迎えしたとき海外の方も多く来られていました。私はそのとき何としゃべっていいのか分からず焦ってしまい、上手く対応できなかったことが心残りです。将来英語力は必要になってくると思うので、就職までにもっと英語を話せるように勉強しないといけないと思いました。

今回、研修を受け入れてくださったホテル椿館の方々には本当に感謝しかありません。声をかけてくださったり、親身になって話を聞いてくださったりありがとうございました。私も、ホテル椿館で働く方々のように、広い視野を持ち、周りを見渡せるようなひとになりたいと思います。そして、私も胸を張って働ける仕事を見つけたいと思います。

【47】 公益財団法人松山市男女共同参画推進財団

〒790-0003

愛媛県松山市三番町6丁目4-20 松山市男女共同参画センター・コムズ

人文学部社会学科 3年次生 薬師神 有希

1. インターンシップ研修の目的

私が今回、インターンシップ研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分を知るためです。研修を行う中で自分の長所や短所、新しい自分を見つけ、今後に生かしていきたいと思ったからです。2つ目は、社会人としての生き方を学ぶためです。私は社会人として働くことに対してマイナスなイメージばかりを抱いていました。そのため、実際に働く中でその楽しさや、やりがいについて知りたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先として公益財団法人松山市男女共同参画推進財団を選んだ理由は、研修内容に興味を持ったからです。今まで経験したことのない講座の運営という一連の流れを一度体験しておくことは、これから役立つことだと思ったからです。また、研修最終日にある職員の方々の前で発表を行うことも、私は人前で発表すること自体、あまり経験したことがなかったため、いい機会だと思い、志望させていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月1日～9月9日(3・4日を除く7日間) 研修生：2名

基本的な勤務時間：8時30分～17時15分うち休憩60分

日程	研修内容
9月1日(金)	ガイダンス、館長講話、各担当事業説明、公開講座の資料準備
9月2日(土)	事務作業、公開講座打ち合わせ、FB更新作業
9月5日(火)	出張講座補助、会場設営、FB更新作業
9月6日(水)	公開講座リハーサル、受付、公開講座、片付け、FB更新作業
9月7日(木)	アンケート集計、発表会準備、FB更新作業
9月8日(金)	発表会準備、フォローアップ講習会見学、FB更新作業
9月9日(土)	発表会リハーサル、発表会、FB更新作業

○館長講話・各担当事業説明

研修初日に、館長講話と各担当事業説明がありました。まず館長講話では、男女共同参画について分かりやすく説明していただきました。社会がどんどん変わっていく中で、男

女共同参画が関わる部分も幅広くなっていることを知りました。次に、COMSが行っている各担当事業説明がありました。事業係、ファミリー・サポート・センター、相談、総務係の説明を受け、それぞれの事業によって行っていることが異なり、面白く感じました。

○公開講座

今回の研修のメインである公開講座は、経営者・管理職向けのものでした。研修の中で私は、講座の運営の一部である準備・当日の受付・片付け・アンケート集計・報告に携わることができました。準備では驚くことばかりで、普段の私なら絶対に気づかない、コードの配線やスクリーン・予備の椅子の位置など、職員の皆さんは細かい部分まで何度も確認されていて、視野が広がりました。

講演中は私もお話を聞くことができました。今回の講演は経営者・管理職向けだったため、学生である私は身近には感じることはできませんでしたが、自分の中での考え方が変わった部分もあり、非常に勉強になりました。COMSは学生向けの講座も含め、他にもさまざまな講座を運営されていることを今回知ることができたので、是非また参加したいと思いました。

○出張講座・フォローアップ講習会

研修3日目に行われた出張講座では、松山市総合福祉センターに行き、高齢者の方を対象とした食生活に関する講座の見学とアンケートの回収をしました。その際に、プロジェクターなどの準備不足で開始時間が10分程度遅れてしまいました。講師の方の要望に応えるのも私たちの仕事であるので、講座のサポートをする大変さを知ることができました。

研修6日目に行われたフォローアップ講習会では、介護予防のためのストレッチ法を私も実際に体験しました。椅子を使った簡単なストレッチだったのですが、運動不足なのか思ったよりも疲れてしまいました。この講座は和やかな雰囲気で、楽しかったのが印象に残っています。今回の研修で3つの講座を見学、体験させていただき、講座の内容や講師の先生によってその場の雰囲気が全く違って、どれも楽しむことができました。

○発表会

研修最終日の発表会では、公開講座のアンケート結果とインターンシップ研修全体の報告、そしてCOMSの活動全体に対する提言もさせていただきました。インターンシップ生2人で協力して意見を出し合い、パワーポイントを作成しました。発表会には職務中であるにもかかわらず、全職員数の半分である9人の方に来ていただきました。人前で発表という経験が少ない私は緊張しましたが、何とか終わることができました。その後、来てくださった職員の皆さんからお言葉をいただき、自分には自信と元気、明るさが足りなかったことがわかりました。また、自分の意見はこれからもどんどん言ってほしいとの要望もいただいたので、自分の考えはこれからもしっかり持つようにしたいです。

4. インターンシップ研修を終えて

7日間さまざまな研修を行う中で、自分と向き合い、今回のインターンシップの目的の1つである自分のことを知ることができました。私の長所は以前と変わらず、冷静に落ち着

いて行動できる場所です。これは最終日の発表会の後に職員の方に言われたので、これからは自分の強みにしていきたいです。逆に短所は、積極性が欠けているところだと今回の研修の中でわかりました。職員の方からの指摘もあったのですが、自分の中でも受け身になりがちなどころがあり、自分から行動することは少なかったように思います。これから少しでも積極的になれるように、後期のインターンシップの授業の中からも行動できるように頑張ります。そして、2つ目の目的である社会人としての生き方を学ぶこともできました。私は新しい環境に少し抵抗を感じてしまうところがあるため、7日間での研修では楽しむことは難しいと思っていたのですが、職員の皆さんの温かくて、優しい雰囲気助けられ、研修3日目には研修、そして「働く」ことを楽しめるようになっていました。同時に、社会人として働くことには責任と自覚を持つことが大切だと知りました。私は今までわからないことがあっても人に質問したら迷惑だと思い、「聞く」ことを諦めていました。しかし、今回の研修ではそれが裏目に出てしまい、職員の方により迷惑をかけてしまいました。少しでも疑問に思うこと、はっきりしないことがあるならば、何でも聞くことが大事だと気づきました。「聞く」ことをやめて、自分の勝手な判断だけで行動すると失敗して周りにより迷惑をかけてしまうので、「聞く」勇気をこれからの生活の中で持つようにします。

今回のインターンシップ研修を通して、自分のことやアルバイトと社会人の違いを知ることができました。自分に足りないこと、「聞く」勇気を持つという大事なことに気づくことができた、非常に良い研修でした。お忙しい中、7日間にもおよぶ研修を受け入れてくださった研修担当者様をはじめ、職員の皆様には心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

【48】松山総合開発株式会社 松山全日空ホテル

〒790-8520

愛媛県松山市一番町三丁目 2-1

人文学部英語英米文学科 2年次生 菊池 彩乃

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的としては、まず現在の自分の社会適合力がどの程度あるのかを知ることであった。社会適合力とは私が思うに、お客様に突然尋ねられてどの程度正しい敬語が使えるのかどうか、社会的知識はどの程度身につけているのか、わからないことはきちんと担当のスタッフや近くの従業員に引き継ぐことができるかなどである。また、今現在接客のアルバイトをしているのだが、接客とは何か、お客様に喜んでいただくためには何をすればよいのかを改めて学ぶことができるよい機会だと思ったからである。

2. インターンシップ研修先の選択

私がかねてからホテル業界に興味があり、あの非日常的で解放感のある空間で働いてみたい、一からおもてなしについて学びたいと思っていた。そしてビジネスホテルとは違う、シティホテルでの本格的なおもてなし、また宿泊部だけでなく、宴会部や料飲部でも研修を受けることができると知り、一つの施設でたくさんの研修ができる場所に惹かれ、松山全日空ホテルを志望した。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月18日～8月28日（休日2日）

【1日目】

初日はインターンシップ担当の方からインターンシップをこれから受ける際の注意点を教えていただいたり、翌日以降に着用する制服をいただいたり、ホテルについて詳しく説明をしていただいた。この日初めて他大学を含め、一緒にインターンシップを受ける学生と顔を合わせたので、より一層インターンシップに対する意識が高まった。

【2日目・3日目】

この2日間は宴会部で研修を行った。ホテル館内の宴会場を見学したり、各宴会場の準備や後片付けを手伝ったりした。私たちが宴会の準備や後片付けをしている時に、途中からアルバイトの方も加わって一緒に仕事を行ったのだが、作業がとても早く、私たちのすることがほぼなくなってしまうほどだったので、感心した反面、自分の行動の遅さを反省した。また、ちょうどこの二日間は土日だったということもあり、運良く私たちはブライ

ダルフェスタを見学することができた。ブライダルあの華やかな空気感や演出を作り出すために、何人ものスタッフが関わっていたことを知った。

【4日目】

休日

【5日目・6日目】

この2日間は宿泊部で研修を行った。宿泊部はおもに客室を巡回したりアメニティを準備したりする客室管理と、一階のロビーでお客様をお迎えしたり、チェックインやチェックアウト業務を行うフロント・エントランスに分かれていた。客室管理では、お客様がチェックアウトされてから次のお客様がチェックインされるまでに確実に清掃やアメニティを準備しておかなくてはならないので、フロントや清掃員の方と頻りに連絡を取り合い、確実にお部屋の準備が整っているかを確認されていた。私たちは喫煙室の消臭作業を行ったり、遺留品の回収作業を手伝った。ごみ箱へ捨てられていないものは、たとえ飲みかけのペットボトルであっても処分しないことには大変驚いた。フロント・エントランスでは、お客様が快適に過ごすことができるように常に目を見張らせ、何かあればスタッフの方が素早く動いていた。次に何をすればお客様が喜ぶのか、一人ひとりが強く認識しているようだった。私たちは実際にお客様をお部屋までご案内したり、クロークでお預かりしたお荷物を先にお部屋まで運ぶといった作業を行った。客室に入る際のルールや、お客様と同乗する際のルールなども教えていただき、礼儀というものを改めて勉強できた。

【7日目】

この日はA社でインターンシップ研修を行っている学生との中間報告会があった。報告会では互いのインターンシップ先で実習を行っての気づきや経験を通して感じた事、インターンシップ後半で活かしたいことや今後の課題などを話し合うことができた。異業種ではあるが、どちらの職種も人との関わりが大切で、コミュニケーション力と洞察力が大切であるということを学ぶことができた。そして、インターンシップ後半に何に気をつけて取り組みたいかなどを話し合った。

【8日目】

休日

【9日目・10日目】

この2日間は料飲部で研修を行った。私は日本料理のお店での研修だったので、一語一語きちんとした日本語が使えるかどうかを試される場であった。私は実際にお客様を席へご案内したり、お客様をエレベーターまでお見送りした。閉店時間が迫ってくると、食器を片づけたりしまったりするのを手伝ったりした。また、私はスタッフの方と床掃除をするように言われたのだが、スタッフの方は掃除一つを取ってみても、お客様にどう見られているかを考えながら行っていたので、隅々までぬかりなくおもてなしの心意気が行き届いているなど感じた。

【11日目】

この日はインターンシップ最終日で、インターンシップの総括を行った。総務の方と研

修生たちがそれぞれグループに分かれ、インターンシップの感想や今後の学生生活について話し合うことができ、ただの実習で終わることがないように意見を述べ合うことができた。

4. インターンシップ研修を終えて

宴会研修初日、早々にミスをしてしまった。同じ宴会部で研修する男子メンバーと女子メンバーとで集合場所を勘違いしてしまい、初日の宴会担当の方に迷惑をかけてしまったのだ。さらに、宴会会場は二棟あり館内もとても広く、10分前に行動したにも関わらず集合時間に遅れそうになってしまった。この日のミスをしっかり受け止め、これからは何にでも15分前行動を行うようにしようと思った。また、料飲部で研修を行った際に積極的に行動しようと意気込みすぎ、メニューを覚えていないにもかかわらず、お客様に呼ばれた際に進んでお客様のテーブルまで行ってしまい、料飲担当の方に「積極的に動くのはよいことだが、できることとできないことの区別ははっきりつけなければならない」とお叱りの言葉をいただいた。この時、なんでも積極的に行動すればよいのではなく、周りを見る力の方が大切だと感じた。今は積極的に動くときなのか、担当者の指示を待つときなのか、それを判断する力が私には足りていないと知ることができた。就職活動まではまだ十分時間があるので、これらの改善点を指摘してくださった貴社の方々に感謝するとともに、今後の自らのスキルアップにもつなげたいと思う。

【49】学校法人松山大学 学生部学生課・学生支援室、教務部教務課

〒790-8578

愛媛県松山市文京町4番地2

経営学部経営学科 3年次生 中岡 龍飛

1. インターンシップ研修の目的

今回私のインターンシップの目的は、3つあります。まず1つ目が、自分の長所である発想力と発言力は働く上でどう生かせるのか、そして上手くできない場合は何故なのかを明確にして、今後の学生生活で改善すること。2つ目が、今大学生である自分自身の社会に対する考え方、意識の仕方が甘い考えになっているのではないかと、そういった部分を少しでも変えたいということ。3つ目が、インターンシップでしか得られない貴重な社会人経験がしたい、これらが私のインターンシップでの目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

私が松山大学をインターンシップ先にした理由は、普段過ごしている大学で、学生では見ることのない事務仕事はどういうことをしているのかを体験したいということです。合同説明会では他企業を含め直接話をする機会がありました。もともと他の業界に興味を持っていましたが松山大学での業務内容を聞き、自分が将来学生に対してできる仕事に就きたいという気持ちが高まり研修先として決めました。合同説明会では、ついでに松山大学の職員に求められる人材についても聞き、少しでもインターンシップでしっかり自分アピールをしていきたいという思いもありました。

3. インターンシップ研修の内容

インターンシップ研修は5日間行われ、学生支援室、学生課、教務課という順番で研修しました。全体的に説明が多いですが、実務もしっかり出来てバランスの良い環境であると思いました。

日程	業務内容
8月21日(月) 学生支援室	1. オリエンテーション 2. 図書館見学 3. 学生支援室業務 4. 学生支援団体とは 5. カウンセリングについて 6. TEG II
8月22日(火) 学生課	1. 学生課業務 2. 奨学金・課外活動支援 3. 施設貸し出しについて

8月23日(水) 学生課	1. 学生相談 2. 学研災等保険・課外活動助成金について 3. 中間報告会 4. 事務処理実務
8月24日(木) 教務課	1. 教務課業務について 2. 部署内見学 3. 入学から卒業までのサポート 4. 教務課システム 5. 各種証明書関係 6. 授業評価アンケート処理
8月25日(金) 教務課	1. 休講補講、教室貸出、変更などの学生への連絡関係(掲示物など) 2. 履修登録及び試験 3. 授業及び集中講義 4. 教職課程 5. インターンシップ関係 6. 教務課総括 7. 研修まとめ

<研修1日目>

まず、インターンシップ全体の話が庶務課であり、一緒に受けるインターンシップ生は全員集まり話を聞きました。そのあと、学生部に行き、学生支援室で活動を行いました。最初に学生支援室での業務説明があり、自分自身の緊張がそこで和らぐほど感じの良い内容でした。学生支援室では学生支援団体であるPIER、POPの活動との関わりについて学びました。午後からカウンセリングについて聞き実際にどんなことをしているのかなども聞きました。TEGⅡという自己分析シートを実際にしました。これは就職のときにも大事になってくるものとのことであり、貴重な経験でした。

<研修2日目>

午前中は学生課業務や奨学金・課外活動の支援について学びました。課外活動の意義として教育的効果を目指しているというのが大事であり、学生の人としての成長に繋がるサポートなんだと思いました。午後は御幸やその他体育館やグラウンドなど施設貸し出しの作業について学び、実際に体験することができました。一度の使用でも、しっかりとしたチェック体制、学生が使いやすいよう手配したりなど学生課ならではの活動を知ることができました。

<研修3日目>

学生部の最終日であり、最初は学生相談の模擬的なことをしました。そこで自分自身の話されやすさという長所を見つけることができました。保険のことや助成金のことなどを教えてもらい、普段なじみのないような作業と量があり、簡単な作業をさせてもらいましたが、複雑で細かい作業でした。これは学生だけではなく教員も関わったりして詳しいことは言えませんが、社会人としてハンコの契約などという緊張するような場面でした。この日は中間報告会というものがあり、他のインターンシップ生と意見交換であったり総務部でのお話がありました。

<研修4日目>

この日から教務課の方で研修を受けることとなり、教務課ではどういうことをするのか

から教えてくれました。学生が入学から卒業するまでの流れで教務課がどういったお仕事があるのかを学びました。証明書関係の仕事もして、発行機の紙の補充などもしました。午後は授業評価アンケートの読み取り作業を行いました。そこでは自分が普段間違っ
て学籍番号を書いていたりすることが実際の作業を遅らすことになっていたと分かり、次から気を付けようと思います。最後に公開授業についての取り組みも聞きました。

<研修 5 日目>

インターンシップ最終日は、まず休講補講、教室の貸し出しや変更などについて学びました。実際に 2 号館前掲示板の掃除をしたりもしました。次に履修登録と試験についての業務を聞き、夏休み中の集中講義のための準備等手伝ったりしました。コピー機を使って大量に印刷する作業は、機械の技術の凄さもあって早く丁寧にでき驚くことが多かったです。午後からは教職課程のこと、インターンシップ関係について話を聞きました。これで教務課の研修が終わり、最後に総務課の方で全体のまとめをしてインターンシップは終わりました。

4. インターンシップ研修を終えて

5 日間という短い期間でも、常に観察する意識を持ち吸収することが大切だと教わりました。自分の通う大学では学生の為に尽した仕事などがあり、実際にここで働きたいという気持ちが高まりました。学校自己紹介でミスしたりしましたが、やさしく丁寧に教えてくれたりしました。ここで失敗することが大事で、次の機会で同じミスをしないようにすると指摘してくださりました。私にとってこのインターンシップだけで終わらせるのではなく、普段から人に何かする時でも考えもって行動していくとより成長できると思います。学生では知らないこともインターンを通して少しでも学べたことは、社会人になる大きな 1 歩になったと思います。

【50】学校法人松山大学 総務部庶務課

〒790-8578

愛媛県松山市文京町4番地2

経済学部経済学科 3年次生 田中 佑季

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の最も重要な目的は「就職活動に向けて自己を形成すること」でした。3年次生になる前に、就職ガイダンスが行われたり、周りの友人が将来のことを自ら考え講座に参加したりと行動しているのに対し、自分はなるようになるかなという甘い考えでいました。さすがに何かしておかないと、と思いインターンシップ活用の授業に参加し、自分なりに頑張ろうと思っていましたが、何を頑張ればよいかさえもわからずに授業の課題をこなしているような感じでした。せつかくの時間なのにもったいない、自分が研修を受けさせていただくのは変わらないから、それならば時間を目いっぱい充実したものにしようと考えたのが私の目的設定のきっかけです。自分が興味のある分野、自分が思い描く将来はどんなものか、まず自分自身で向き合おうと考えました。

その目的のために目標を立てました。1つ目に、自分が働く姿をイメージすること。2つ目に、毎日研修先の先輩方とお話ししてイメージを膨らませること。3つ目は事務職の現場を体感すること。3つの目標を達成するために5日間研修させていただきました。

2. インターンシップ研修先の選択

正直に申しますと、学校法人松山大学を研修先に選択したのはそんなに深く考えたわけではありませんでした。ただ自分が将来を考える中で、やはり事務職は自分の中で興味のある仕事で、心のどこかで事務なら誰でもなれるという気持ちがあったからでした。インターンシップ活用を受講するにつれ、社会人として恥ずかしくないような人になることの難しさ、それに伴って仕事の厳しさが少しずつ理解できるようになりましたが、研修先選択の理由は浅はかな考えだったと今になって感じています。

3. インターンシップ研修の内容

1日目はまず学校法人松山大学の他の2つの部署（キャリアセンター課、学生部・教務部）で研修を行う3名と合同で全体オリエンテーションを行いました。その後学校法人松山大学の部署の説明をしていただき、図書館を見学させていただきました。その後各部署に分かれての研修となり、私はまず庶務課のオリエンテーションに参加しました。総務部庶務課が行うべき仕事の内容を細かく教えていただき、庶務課の“何でも屋”と呼ばれる

理由を体感しました。庶務課に私のデスクも用意していただいて、隣でお仕事されている人事課の皆様にも自己紹介をして、思っていたより本格的に研修させていただけることに喜びと期待で胸を躍らせました。

2 日目は午前中座学から始まりました。私学共済についてと学内選挙についての座学でした。私学共済は実際に資料の作成や確認もさせていただきました。午後からは大学に届いた郵便物の仕分けを教えていただき、書留のものは宛先となる部署や教員の方に電話やメールでお知らせするお仕事を含む受付業務を行い、その後校友会事務室で校友会のお仕事、さらに温山会について学ばせていただきました。また、2 日目から備品管理の一環として防災訓練に使用する防災ヘルメットの配布準備を空き時間を見つけて開始しました。

3 日目は予算管理について教えていただき、実際に予算が決定される過程を体験しました。午後からは危機管理についての座学でしたが、大学だからこそほかの企業とは異なる危機管理が多くありました。そしてこの日はほかの研修生徒合同で中間報告会が開催されました。外の3名は多くの目標を持っていて、様々なことを考えながら研修していることを知り自分の甘さに気づいたのと同時にかなり気合を入れることができた時間でした。

4 日目は人事課のお仕事を少しさせていただきました。出勤管理という教職員の皆様の出欠確認、休暇の種類の確認をしつつ進めていきました。先日学んだ私学共済で学んだことが休暇の判別につながり、お仕事はかなり楽しく感じました。午後からは郵便物の仕分け、書留の手続きと受付業務を1人でこなし、その後は旅費計算を行いました。

最終日となる5日目はまず補助金についての座学を受け、守衛日誌の確認をさせていただきました。また、庶務課の地下にある倉庫の備品整備に伴って廃棄することになっている備品の書類作成のお手伝いをさせていただきました。その後は受付業務、郵便物の仕分け、旅費計算とこれまで教えていただいたことを1人でこなし、連日時間を見つけては取り組んでいた防災ヘルメットの配布準備をおよそ170個分1人で完成させることができました。かなりの達成感でした。最後に庶務課の研修担当の方から私へのアドバイスをいただき、他の研修生と集まって全体のまとめをして研修が終了しました。

4. インターンシップ研修を終えて

研修5日間を終えて、帰宅と同時に疲れ果てている自分がいました。楽だと思っていた事務職であったはずなのに、環境の変化もあるとは思いますが1つ1つのお仕事にかなり神経を使ってミスのないように取り組んでいたのが本当に疲れしました。甘く見ていたと感じました。担当の方からのアドバイスは私を見て、私のためにアドバイスくださったのだと感ずることができました。私はマナーや言葉遣いなどはしっかり勉強したので自信を持てるはずなのに、気付いたら声小さくなっていたり周りを気にして落ち着きがなかったりしてしまいました。また、デスクは東本館の入り口に入ってすぐの所にあるため、デスクに座っている限りは自分も庶務課の一員として自覚をもっていないといけなかったのにも関わらず、デスクでぼんやりしていたこともありご指摘いただきました。私自身はインターンシップ生として庶務課にいても、庶務課にいらした方からみると私がインターンシ

ップ生とはわからないことを痛感しました。知識として知るだけではなく、知識を体にくせ付けることがこれからの課題として見つかりました。

さらに、受付業務を担当していただいた方は私が就職活動に不安を覚えていることを知ってくださって取得すると資格としてだけでなく社会人として必要なスキルが身につくような、就職活動が始まる前の今だからこそ取得すべき資格を細かなところまで教えてくださいました。別の担当の方は私が1人で迷っていると声をかけてくださったり、温かく見守ってくださったり、インターン生としてではなく1人の人間として私に話しかけてくださったりと本当に温かく優しく、でも私のためを想ってご指導くださったのだと実感することができました。何となく選択した研修先で私がこれだけ成長できたと実感できるのも、総務部庶務課の方々のサポートがあったからだと感じています。充実した5日間でした。本当にありがとうございました。

【51】 学校法人松山大学

キャリアセンター事務部キャリアセンター課、経営企画部社会連携事務室

〒790-8578

愛媛県松山市文京町4番地2

人文学部社会学科 2年次生 相原 僚太

1. インターンシップ研修の目的

私がインターン研修の講義を受けようとした理由は、一回生の頃、学内のPCSS講座にて「次の講座は休めないから、インターンシップの説明会を受けたい人は教務課で資料を受け取るように」という趣旨の話をPCSSの班のAさんから聞き、そこで初めて松山大学のインターンシップ講義の存在を知りました。それをきっかけにインターンに興味を持ち、将来のために何かしら役に立つだろうと考え受講を検討しました。その時には深い考えはありませんでしたが、講義を受けているうちにインターンシップの意義、目的・目標の設定の重要性を感じ、「職業の世界はどんなものかを知る」という目的、「学生を社会人の違いや社会で求められる力を知ること」などといった目標を定めました。

2. インターンシップ研修先の選択

次に、私が何故研修先に松山大学のキャリアセンター事務部キャリアセンター課と経営企画部社会連携事務室を選択したのかを述べていきます。

合同説明会の時点でだいたいの候補の業種に目星をつけていました。公務員系、福祉系、NPO法人、そして学校法人の本学です。そこで、松山大学についての説明を受け、自分が通っている学校がどのように成り立っているのか、職員の仕事とはどのようなものなのか、学業以外でどのような活動をしているのかに強く興味を持ち、本学のキャリアセンター事務部キャリアセンター課と経営企画部社会連携事務室への研修を決めました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月21日(月)～8月25日(金) 【5日間】

研修時間 9時00分～16時00分 【休憩60分・実質6時間】

日程	研修内容
8月21日(月)	庶務課にて 全体オリエンテーション、図書館見学 以後キャリアセンター課にて スタッフ紹介、キャリアセンター概要説明 出勤簿提出、電話・接客・窓口対応、書籍貸し出し説明

	キャリアセンター施設説明、学内企業セミナー出欠確認 郵便物の開封及び処理、1日のまとめ、閉室準備説明
8月22日(火)	朝の準備、出勤簿提出、新聞記事チェック、教室機材の設置準備 内定届書類整理、学内企業セミナー実施、郵便物の開封及び処理 一日のまとめ
8月23日(水)	朝の準備、出勤簿提出、新聞記事チェック 総務部庶務課にて中間報告・情報交換 郵便物の開封及び処理 キャリアセンター内・二号館前掲示板にて 各種掲示物整理 一日のまとめ、閉室準備
8月24日(木)	以後、社会連携事務室にて スタッフ紹介、出勤簿提出、社会連携事務室関連施設及び概要説明 出張型公開講座資料作成・送付準備業務、掲示物貼り替え、郵便物受け取り 一日のまとめ、連携先との打ち合わせ立ち合い、閉室準備
8月25日(金)	朝の準備、出勤簿提出、公開講座募集要項発送の封筒作成 松山大学コミュニティ・カレッジ業務説明及びアンケート集計 学生による社会連携活動・愛大連携事業・社会人基礎力育成事業について説明 総務部庶務課にてまとめ、解散

《研修概要》

〈キャリアセンター事務部キャリアセンター課〉

キャリアセンター課は学生とかかわる事が多い部署で、仕事でも電話や窓口などで多数の就活の、私にとっては先輩にあたる学生と接する機会が多かったです。学内企業セミナー出欠確認は、電話で学生にセミナーの出欠の確認を前日に取る業務なのですが、学生一人一人に出席するかどうかを確認して応答がない場合でもまた後で掛け直すといった、申告なしで欠席するマナー違反を防ぐという、企業にも学生にも最大限思いやった配慮が見られました。

また、学生を送り出すサポートをする仕事なので、膨大な企業の求人情報・試験の資料、就活に関する掲示物、新聞で就活生に有益な記事のチェックなど、学生のためになる情報の収集にも余念がないことがうかがえました。

〈経営企画部社会連携事務室〉

社会連携事務室は、キャリアセンターとはうってかわって学生とあまりかかわりがなく、あるとすれば社会連携事務室関連施設のコモンスペース・自習室の予約受付程度でした。

コミュニティ・カレッジや公開講座という、学外の方に向けて発信する事業で、必然的に学生以外の方々と接する機会が多いと感じました。少子高齢化から集落の若者離れが深

刻化する中、大学と地域が連携するという新しめの事業はまだ発展途上で、これからもさまざまな課題があるという話を職員の方に話していただきました。そこで個人的な話にはなるのですが、将来地域のためになるような仕事に就きたいと考えていた私は、今からそういう活動が学生のうちにできるのかと強い関心を持ちました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間という短い間ではありましたが、この研修は非常に有意義なものでした。

インターン研修を受ける前は、まだ「学生だから」「研修生だから」という考えでやや油断しがちでした。しかし、講義、合同説明会、研修先での面接、そしてインターン研修で、学生という保証された身分、社会に出ることの厳しさといった、自分の見通しの甘さを知ることができました。そして、実際にお仕事をさせていただいてからは、「働くこと」「社会人になるということ」の意味を理解することができました。

また、研修の中で松山大学が学生に対してどのような支援を行っているのか、学外に対してどのように精力的に活動しているのかを職員さんの目線で伺い知ることができました。学生としての立場として両部署のお世話になる際も、研修期間中にいただいた職員の方たちの熱心なご指導を決して忘れません。

そして、今後は社会人に近づくために自分の研修中の失敗の要因となった社会人としての一般常識不足を少しずつ解消していき、仕事で教えてもらったことを自らの糧にして、研修終了後も社会人になるための学生生活・未来の自分探しへのきっかけとして強く生かしていきます。

最後に、お忙しい中研修先として受け入れてくださった、松山大学キャリアセンター課と社会連携事務室の職員の皆様にお礼を申し上げます。短い間でしたがたいへんお世話になりました。

【52】株式会社マルナカ

〒761-8585

香川県高松市円座町 1001 番地

経営学部経営学科 2年次生 中谷 友美

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は、普段体験できない仕事を体験し、自分が向いている職業はどのようなものなのかという「自分発見」をすることと、インターンシップを通して、就職活動に向けての選択材料を習得することです。現時点では、ホテル業もしくは旅行会社に就職したいと考えています。しかし、それはあくまでも興味・関心から考えている職種であるため、どの職種が自分に合っているのか明確化されていません。自分が合っている職業というのは、実際に体験してみないとわからないことがたくさんあるため、実際にその場で働いている社員を自分自身の五感で感じて、「働く」ということの大変さ・楽しさ・面白さなどを知りたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ先を株式会社マルナカにした理由は2つあります。1つ目は、小売業の顧客競争の中でどのような工夫がなされているのか、興味があったからです。小売業の中でも、身近にあるスーパーマーケットや百貨店でインターンシップを行うことで、インターンシップを終えた後でも、得た知識は自分の生活の中でも生かすことができるのではないかと思ったからです。

2つ目は、地域密着型の店舗として、どのような工夫がされているのか知りたかったからです。株式会社マルナカは香川県を拠点とし、四国を代表するスーパーマーケットでもあるので、具体的にどのような取り組みを行っているのか知りたいと思い、研修先に選ばせていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月28日(月)～9月1日(金)研修生：3名(土居田店1名、松山中央店2名)

日程	研修場所	研修内容
8月28日(月)	松山市民 総合コミュニティーセンター 第1会議室	オリエンテーション

8月29日(火)～ 9月1日(金)午前	マルナカ 松山中央店	商品の品出し 在庫確認、発注、前出し など
9月1日(金)午後	ひめぎんホール第2会議室	振り返り研修

<1日目> この日は2時間の座学を受けました。本部の方がレジュメを準備してくださっていて、小売業はどのような業界なのかという根本的なことからパワーポイントを使って説明していただきました。他にも、会社紹介やマルナカの強み・こだわり、仕事紹介を1つ1つ丁寧に説明していただいたので、店舗研修前の興味・関心・意欲が高まりました。また、パワーポイントとマルナカ company profile を平行してお話を進めたため、とてもわかりやすかったです。

<2日目> まず、店長と顔合わせをして、1日のだいたいの流れやこれからの仕事内容についての確認を行いました。初めて朝礼にも参加し、接客用語を大きな声で発声したり、連絡事項を伝えたりしていました。午前は、サービスカウンター業務を見学させていただきました。パートの方が、挨拶の大切さや小さな事務作業の仕方などを教えていただきました。サービスカウンターには「連絡ノート」があり、値段の変更などの連絡事項を引き継ぐためのものでした。社員やパート、アルバイトの方との連携がきちんに行われていることがわかりました。そのあとは、普段体験することのできない発注作業を行いました。私は飲料の発注をさせていただきました。裏にも在庫があったり、離れた売り場にも置かれていたりしているため、在庫をしっかりと見て、無駄な発注をしないよう「確認する」という作業の大切さを実感しました。

午後からは、パートの方と一緒に冷凍食品の品出しをしました。初めて冷蔵庫・冷凍室に入って商品の確認を行ったのですが、寒すぎて長時間入り続けるのが困難であるため、スムーズに行わなくてはならなかったため、大変でした。

店舗研修初日ということもあり、店舗を回ってほしいの商品の場所を覚える時間をいただきました。お客様に聞かれた際、スムーズにその場所に案内できるよう、残りの研修期間も使って頑張ろうと思いました。

<3日目・4日目> 中2日間は、商品の品出し・前出し、賞味期限・消費期限の確認、接客を行いました。品出しでは、店舗の半分以上を占めているドライ商品の品出しを主に行いました。松山中央店は、中型店ですが、1つ1つの商品の種類が多いため、管理の大変さを感じました。陳列は、前の方が賞味期限・消費期限が近い商品になるように品出しをしなければなりません。賞味期限・消費期限の確認は、ドレッシングコーナーを確認しました。ドレッシングは、酸化する商品であるため、賞味期限がほかのドライ商品に比べて短いのだそうです。注意すべきこととして、確認をするときに無作為抽出法をしようと、確認しない商品が出てくる上に、もしかするとその商品の期限が切れてしまっている可能性があるため、1つ1つ丁寧に確認することが必要であることも教えていただきました。賞味期限・消費期限の確認は、「とても地味で単純な作業だけど、一番大事な仕事」と社員の方に言われたので、確認作業はより責任感を持って取り組むことができました。

この2日間は特に、お客様に商品の場所を尋ねられることが多かったのですが、初日に
だいたいの商品場所を覚えていたということもあり、ほとんどスムーズに案内することが
できました。お客様に「ありがとう」と言ってもらえることができ、この言葉が自分の仕
事のやりがいにも繋がるんだと思いました。

<5日目> 午前中は店舗研修をしました。この3日間での研修で学んだことを発揮して、
仕事を円滑に行うことができました。午後からは、インターンシップ研修生と本部の方と
の振り返り研修を行いました。店舗研修を通して、自分が感じたことや、気づきを発表し
ました。そのあと、本部の方が他県で行われたインターンシップの研修生の感想を聞きま
した。店舗ごとに特色があり、その地域ごとに根付くような店舗づくりをしていることが
伺えました。

4. インターンシップ研修を終えて

3日と半日の研修を終えて気づいたことは、責任感を持って働くことと、相手(お客様)
の立場に立って物事を考えなければならないことを再確認することができました。また、
スーパーマーケットは毎日同じような作業の繰り返しですが、この作業を適当に取り組ん
でしまうと、お客様に満足したお買い物をしていただけなくなるため、単純な作業でも1
つ1つ丁寧にを行うことが大切だと思いました。

また、仕事をする上では、自分が働いている職場に関する知識をより多く身に付けてお
く必要があることが大切だと感じました。研修中にも何度もありましたが、「この商品はど
こにありますか?」と聞かれても、店舗知識が不十分だとすぐに対応することができず、
慌ててしまい、笑顔での接客ができないこともあります。各場面で臨機応変に対応するた
めにも、日々の中で知識を増やしていくことは必要不可欠だと思いました。

研修を通して、これから学校生活を送っていく中で、将来を見据えて、自分がやりたい
こと・したいことは挑戦していくべきだと思います。「やってみたい!」と思うだけではな
く、行動をすることで得るものは多くあると考えます。また、興味のある職種や企業に関
して自分なりに研究をしていきたいです。いろんな職種について調べ、まとめることで、
今自分ができることをたくさん発見していきたいです。

最後に、インターンシップを受け入れてくださった株式会社マルナカの皆様、そして丁
寧にご指導してくださったマルナカ松山中央通り店の皆様、お忙しい中貴重な時間を割い
て多くのことを教えていただき、ありがとうございました。非常に親切にいただき、
とても感謝しています。この5日間の研修で学んだことを今後の学校生活や就職活動の選
択に活かしていきます。本当にありがとうございました。

【53】株式会社松山三越

〒790-8532

愛媛県松山市一番町3丁目1-1

経営学部経営学科 3年次生 村上 薫

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つ目は、将来就きたいと思っている接客や受付といった仕事が、自分に向いているのか確かめるということです。アルバイトで接客の経験はありましたが、仕事とアルバイトでは求められる接客の質にかなり違いがあると思います。就職した際に、やはり向いていなかった、想像と違っていたという後悔をしたくないので、学生のうちに確認しておこうと思いました。また、自分の敬語やマナーのレベルを認識し、向上させたいと思いました。

2つ目は、インターンシップに参加し、学んだことを生かすことによって、残りの大学生活の質を高めるということです。先輩方が就職活動をされている姿を目にする中で、アルバイトやサークル活動を中心に日々を過ごしている自分を、とても不安を感じました。インターンシップに参加することで、何か新しい目的を得ることができるのではないかと考えました。自分を成長させるきっかけになればと思い参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は幼いころから百貨店の雰囲気や丁寧な接客対応にとっても魅力を感じており、特に総合案内所の仕事に興味を持っていました。合同説明会に参加した際に、社員の方が教えてください、三越伊勢丹グループの「向き合って、その先へ。」というグループスローガンに込められた思いや、接客に対するプロ意識の高さに感銘を受け、さらに、自分の希望する部署で研修ができると伺い松山三越での研修を希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

8月11日

10:00～ 開店のお出迎え

10:20～ 総務部長による三越の販売についてのお話

11:00～ 座学

- ・三越の歴史についてのお話
- ・店内ルール・マナー
- ・販売の基本

12:00～ 放送室の見学

14:00～ 総務、広報の研修、松山祭りのお手伝い

座学では接客や販売の基本を教えてくださいました。説明を聞くだけではなく、ペアを組み、会計時を想定したやり取りを行いました。カードの受け渡しの確認はとても複雑で、メモを取りながら行いました。またこの日は松山祭りが行われており、松山三越も参加するというので、お手伝いをさせていただきました。450 個の風船を膨らまし、配り歩きました。私は松山祭りの様子をビデオで撮影しました。総務や広報の方と作業させていただきました、裏方の仕事を体験することが出来ました。

8月12日

9:45～ 婦人雑貨売り場(1階)での研修

18:50～ 閉店のお見送り

婦人雑貨売り場では接客から商品の受け渡しまで経験させていただきました。カードの受け渡し方や、袋をお渡しする際のロゴの向きがクレームにつながることを教えてください、スーパーやコンビニとは違う、百貨店だからこそ求められているクオリティがあるのだと感じました。社員の方が雑貨売り場のやりがいについて話してくださいました。

8月13日

9:45～ 世界ネコ歩き写真展での研修

18:00～ 統括部長のお話

18:50～ 閉店のお見送り

ネコ展では長時間立ちっぱなしで作業をし、毎日このような仕事をするのはとても大変だと感じました。統括部長とのお話では質問コーナーを設けていただき、百貨店に対する素朴な疑問などにも答えていただきました。また、百貨店に求められている接客についても教えてください、とても勉強になる時間でした。

8月14日

10:00～ 開店のお出迎え

10:30～ 松山三越社長とのミーティング

11:00～ 先輩社員の方のお話

11:30～ マネージャー会議見学

14:00～ 総合案内所での研修

16:30～ 研修まとめ

社長とのお話は、初めはとても緊張しましたが、話しやすい雰囲気を作ってください、質問もさせていただきます、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。先輩社員の方のお話では、就活のことから仕事のことまでためになるお話を聞かせていただきました。興味を持っていた総合案内所での研修もさせていただきました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修では、4日間という短い期間でしたが、沢山の新たな経験をする事が出来ました。

研修中、お客様からの質問にお答えした際に、感謝の言葉をいただくことも多く、とてもうれしかったです。自分はやはり、お客様と直接関われる仕事がしたいと改めて実感しました。その中でも、百貨店では、スーパーやコンビニよりも高いレベルの接客が求められています。一人一人のお客様と誠実に向き合い接客をすることで、お客様の思いや気持ちをくみ取りながらより満足していただける対応をすることが出来るのだと分かり、とても魅力的な仕事だと感じました。

実際売り場に出ると、従業員の方はお客様からの質問や問題に丁寧に対応し、解決策を見出していました。何年も毎日同じ職場で働くのは大変ではありませんか？と質問をした際、お客様一人一人に合った、最良の商品を提供できるよう、普段から商品についての勉強をしており、また、それを生かす機会が多いため、日々やりがいを感じながら仕事に取り組んでいると教えてくださいました。小さなころから少し敷居の高いイメージがある百貨店は、従業員の方々の高い意識によって成り立っているのだと思いました。インターンシップ中は、研修生であろうとも、お客様から見たら自分も従業員の一員であるという自覚を持ち、緊張感を持ちながら取り組みました。

今回の研修を通して、自分が将来やりたいことを確認することができ、接客をするうえで必要な知識や気持ちの持ちようを学ぶことが出来ました。そして、働くことの大変さや、楽しさを身を持って体験することが出来ました。自分の生活、また、自分自身を見つめ直す、とても良いきっかけになりました。インターンシップでの経験を、今後のアルバイトや学校生活、就職活動へのモチベーションの向上に繋げ、生活の質を上げていきたいです。

今回のインターンシップ研修において、当初スケジュールになかった総合案内所での研修をお願いしたところ、快く受け入れてくださりありがとうございました。研修前は不安もありましたが、社員の皆様がとても優しく明るくご指導して下さいましたため、とても充実した研修になりました。松山三越の皆様、本当にありがとうございました。

【54】 YMGF もみじ銀行本店

〒732-0021

広島県広島市中区胡町 1-24

法学部法学科 3年次生 板倉 憂太

1. インターンシップ研修の目的

私は、自身の将来について深く考えたことがありませんでした。自身の欠けている部分、つまり弱点をあまり把握していませんでした。そこで何も知らない状態で就活を迎えるわけにはいかないと感じました。私は、興味のある会社においてその内面まで知りたい。同時に自身の新しい可能性を発見したいと思ったのでインターンシップに行くことを決意しました。そして、インターンシップで得たものを学生生活に持ち帰ることで今後の学生生活を変えるきっかけにしたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、金融業に関心がありました。中でも銀行に的を絞り、銀行員はどのような仕事をするのか、どのような雰囲気で活動をするのか、またどのような考え方をしているのか等が知りたい部分であったため銀行から選択しました。選択する決め手として、大学で開かれた合同説明会の情報を活用することなく、自身で広島の企業について調べ、過去の研修内容を参考にしたり担当者の方と連絡を取る等の方法で情報を得ながら考慮しました。そして県外を研修先に選んだ理由として、将来は地元で就職を希望していたので自身の地元であり、慣れ親しみのあった広島の YMGF もみじ銀行を研修先に選択しました。

3. インターンシップの研修の内容

研修期間は、8月21日～8月25日と5日間におよび研修人数は7人でした。

初日は、8時50分に本店に集合し、担当者を含め顔合わせが行なわれました。それが終わると次はビジネスマナーについて教えていただきました。ここでは、インターンシップ活用の講義で習ったことが活かされ、より深く学ぶことが出来ました。次に、日本経済新聞の読み合わせを行い新聞の効率の良い読み方を学びました。その上で時事問題についてグループで討論を行いました。グループは、7人を2つに分けA班B班で活動しました。ここで午前の研修は終了しました。1時間の昼休みに入り昼食中に担当者を含め社員の方と様々なお話をすることが出来ました。午後から銀行業務体験を教えていただき、銀行員に必ず必要な能力等を知ることが出来ました。これらを学び初日は17時に解散となりました。

2日目は、初日通り8時50分に集合となりました。前回の復習として新聞と銀行業務の

確認から2日目が始まりました。次に、「銀行について」といった題で1時間の講話を受けました。この講話の本来の目的は、3日目に行なわれるイベントに我々が参加し、大学生が1年生から6年生の小学生に向けたプレゼンを行うために必要な知識をつけるものでした。講話後はどうすれば小学生にわかりやすく伝えることができるのか等のプレゼンのノウハウを習いました。習った上でグループによるプレゼン作りが始まりました。ここから昼休憩を含めた時間配分を全て班に任せられ、終了時刻の17時までに仕上げることを目標に作業が行なわれました。子供向けのプレゼンを意識する中で寸劇をしたり口調を緩くしたり、また参加型のプレゼンを作るためにパワーポイントを活用したりと様々な工夫をしました。時間は17時30分まで延ばすことになり仕上げる事が出来ました。

3日目は、プレゼンの最終確認も兼ねて8時30分の集合となりました。この日の予定は、プレゼンを行う「親子マネー教室」とCSを意識した支店の立ち回りでした。これを午前の部と午後の部分に分け2グループは別所で活動しました。私は午前の部の9時20分に「親子マネー教室」に参加しプレゼンを行い、残り時間は子供達と同じように参加し社員の方の公演から多くのプレゼンスキルを学ぶことができました。最後に参加者全員で銀行の内部まで見学し午前の部を終了しました。ここで1度昼休みを取り、各グループの感想を交えた状態で午後を迎えました。午後からはCSを意識した支店の立ち回りでしたが、まずはCSについて1時間の講話を担当部署の方から教えていただきました。学んだ上で立ち回りの行動を開始し研修場所付近の支店を2店舗回り、ここでは社員の方と同じ様に基本である接客と他の業務を体験させていただきました。立ち回りが終わると支店で働く方からの言葉をいただき仕事に対する意識を学ばせていただきました。最後に研修先に2つのグループが集まり1日の体験をフィードバックといったかたちで共有をし、17時に解散となりました。

4日目は、8時50分集合から始まり、新聞の読み合わせを行いました。次に、YMFGの銀行業務以外の取り組みについて担当者から軽く説明を受けました。取り組み内容は本社の関連地域を盛り上げるための工夫についてでした。ここでより詳しく学ぶために、YMFG ZONE プラニングのM社長を招き講話を聞かせていただきました。滅多に来られない社長に対して質問を交えながら学ぶことができ貴重な時間を過ごしました。この講話は私達学生が「広島を活性化させるには」といった題でプレゼンを作り、最終日に広島県庁で地方創生を担当する方々の前で発表するために必要な情報や知識をつけるためでした。ここで前回のプレゼンと違うのは観覧者が大人だということと新たな案を学生のみで思案するという事で、まさに最終課題のような難易度でした。2日目のプレゼン作成と同じ様に、時間は私達に預けられ作業が開始しました。まずは、グループで討論を行い様々な意見を交換しました。意見を出し企画の方向がまとまると台本を作ったりパワーポイントを作成したりと作業は前に進み無事17時までに完成させる事が出来ました。後は各自台詞を覚えて来るなど、自己課題を胸に秘め解散しました。

5日目の最終日は8時50分に集合となり、プレゼンの発表確認や改善等を午前中の間にしました。県庁に出発する前に緊張感のある昼食を全員で取り、その場においても各々

が発表の確認を行っており独特な雰囲気の中で昼休憩を過ごしました。午後に県庁に移動し開始時刻になり最後の発表が始まりました。各グループの発表が終わる度、各グループ共に厳しいご指摘や意見を県庁の方々から貰い、各自で新たな課題が見つかったような時間でした。ここでのプレゼンはとても感慨深い経験になったと言えます。県庁から研修先に戻り最後のフィードバックを行いました。内容は5日間を過ごした後の自身の変化について、現在と理想の自分を明確化したり同じインターン生が感じた自身に対する評価をグループで共有しました。自身がどんな能力に長けていて欠点は何なのかを5日間を過ごした仲間から教えてもらいました。また、教える側になることで仲間達の長所や短所から学ぶことが多く沢山の収穫があったフィードバックになりました。ここで私は5日間の成長を初めて実感することが出来ました。フィードバックを終えると、解散式も兼ねて5日間私達の担当について下さったK様より私達のインターンシップ開始時と終了後の相違点を教えていただいて、私達のこれからのに向けてのアドバイスを貰いました。ここで終了時刻の17時を迎え私達のインターンシップは終了しました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップでは、私にとってたくさんの変化がありました。当初の目的を達成出来たことは勿論、新たな可能性や考え方を手に入れたように思えます。同時に、能力的な面での課題も多く残りの学生生活で少しでも補う努力に励みたいと考えています。私は、今回銀行の中でも地方銀行の方に視点を置き研修に行くことで、地元に残る銀行ということで、私を含めた研修生全員が広島県の出身者でした。今回の研修先にインターンシップに参加した理由が皆似通っており、多くの地元愛を感じました。地方創生のプレゼンの時に全員が自分なりの意見を持っていたことは、地元を知っているからこそその考えでもあったのだとインターンシップを終えて気がつきました。ここで、好きだからこそ頑張れるという社員さん言葉を思い出し、自身の地元で働きたいといった考えを実現させたい程に変わりました。これにより、ここで得た経験と反省を学生生活にどのように活かされるかということが私の将来を決めるための鍵になると感じられるようになりました。私は運が良く、担当者に恵まれ、同じインターンシップの仲間にも恵まれました。よって、とても濃厚で厳しく、楽しく、思いやりのある5日間を過ごすことが出来ました。このように思えるインターンシップになったことは、担当者Kさんのおかげでした。このKさんの雰囲気作りというのもこらからのグループワーク等に活かすことができるのだと感じました。このように、研修期間の毎日が私にとって成長と発見でした。YMFG もみじ銀行様にお世話になることで、以前よりも地元への関心を違う視点から持てるようになり地元就職のために進む方向が定まりました。今後は、研修を受けた後の自分から新たに目標を設定し直すことで就職が決まるまでに失敗と成長をたくさん繰り返していこうと考えております。この度、快くインターンシップ研修のプログラムも組んで下さった YMFG もみじ銀行様には大変感謝しております。もみじ銀行と同じように私も成長し続けるために今すべきことに素直に向き合っていきます。

【55】 有限会社ゆうぼく

〒797 - 0045

愛媛県西予市宇和町坂戸 553 番地 1

経済学部経済学科 2年次生 清水 佳奈

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修をする目的は2つあります。1つ目は、自分の適性が何なのか知るためです。私は将来どのような職業に就きたいか希望が定まっていません。だからまずは、自分にとって何が得意で何が不得意なのか知り、自分に合ったやりたい仕事を見つけるきっかけにしたいと思いました。2つ目は、社会人としての経験を積むためです。マナーやルールはもちろんのこと、社会に出て実際に体験してみないと分からないことは沢山あるはずですので。それを学生の段階で経験し、吸収できたことが成長につながればいいと思いました。そして、これら2つのことを少しでも早いうちに達成したいと思ったので、3年次生ではなく2年次生のうちにインターンシップ研修を希望しました。

2. インターンシップ研修先の選択

有限会社ゆうぼくでは、畜産(ウシ)を通じての第六次産業(第一次、第二次、第三次産業を合わせたようなもの)を実際に体験させていただけるということで、たくさんの体験ができ自分の適性を知る機会が多そうだったのと、今まであまり関わったことのない分野だったので自身の視野も広がりそうだったと思い選択させていただきました。また、私は地域に関わる仕事にいくらか興味があり、地域に密着したゆうぼくの方針に興味を湧いたのも理由です。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間は8月15日(火)～8月20日(日)の6日間、研修期間中はゆうぼくにある宿舎で宿泊することになっていました。

1日目の午前は導入研修が行われました。企業説明や日程確認、注意事項の他に社長のOさんの経験談も聞かせてもらいました。印象に残っているのは「素直になってみる」という話です。他責思考をせず自責思考をしてみる、素直に受けとめることで自分の行動も周りの態度も変わっていくという話を聞き、自分も改めていきたいと感じました。

1日目の午後と2日目は牧場で研修を行いました。掃除や餌やりなどの飼育管理全般を見学したり体験したりし、生き物を扱う仕事だからこその大変さを実感しました。また、普段何気なく食べているお肉も、それまでの過程で多くの人の手間や時間がかかっている

という当たり前のことにも気づかされました。

3日目は精肉売店での研修で、お肉の整形やカットを見学したり、お肉を真空パックにして商品となったものを売店で陳列したりしました。作業中、私は荷物を台車で運んでいる途中で段差でそれを落としそうになり、その際に従業員さんに危険予知の話を伺いました。事前に考えて危険を回避するように行動するのは非常に大事なことです。そして、場合によっては危険に気づくためにそれなりの教養が必要になることもあるのではないかとも思いました。事前に物事を考えて行動すること、知識は武器になるということ強く感じられた出来事でした。

4日目は加工場での研修となりました。ソーセージの製造を実際に体験してみたり、集荷する商品を箱に詰めたり、室内の清掃をしたりしました。この日は従業員さんに話を伺う機会が特に多かったです。お話の中で「やる気のない人が周りにいると自分の士気まで下がってしまう」というのを聞いたときは、私も自身の行動を見直すべきだと思いました。「面倒くさい」「疲れた」「だるい」など、思っているのを言葉や態度で表すべきでない場面もあります。今後はそのことを忘れずに行動したいと思いました。

5日目はレストランで配給のお手伝いやお惣菜づくりなどをしました。お惣菜づくりの際に「自分たち(作る側)にとってはたくさんあるうちのほんの1つの商品でも、お客様にとっては大切な1つである」という話を従業員さんに聞いた時は、本当にそのとおりで感服しました。そして詳しく話を聞くと、そのことは失敗により気づかされたものだとおっしゃっていました。失敗はやりたくないと思う人が大半だと思えます。しかし、失敗により得られるものは多いはずで、また失敗はいけないことだと思いがちですが、そうではなく本当にいけないのは失敗から何も学ばないということではないかとも思いました。私は失敗を恐れて行動に移せないことが多々あります。しかし、致命的にならない限りは失敗しても大丈夫だろうと今回気づくことが出来たので、今後はもう少し勇気を持って、まずは思い悩むばかりではなく行動してみるのもいいと思いました。

最終日の6日目は、それぞれのテーマで研修成果の発表をしました。私は「魅力的な会社とはどのような会社なのか」というテーマのもと、ゆうぼくの魅力について感じ取ったことを学生目線で発表をしました。今までプレゼンテーションなどはどちらかというと得意に感じていたのですが、今回の発表で社会人である研修担当のAさんらに好評をいただけて自信がついたように感じます。これからはより一層このスキルを磨いていきたいとも思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

6日間という短い時間でしたが、非常に充実した実りある日々を過ごすことが出来ました。学ぶことばかりの6日間で、毎日の出来事を終業後に発表したり、研修日誌と作業日報に記したりと、振り返りを行うことの大切さにも気づかされました。また、初めて顔を合わせた他の研修生との宿舎での共同生活ということで団体行動の難しさについても実感しました。

当初インターンシップ研修をする目的であった自分の適性については、様々な作業を通して向いている作業、向いていない作業についていくつか知ることが出来ました。これからは、自分の好みに合った、向いている作業は何かを考えて、それに必要な資格や知識があれば早めに取り掛かりたいと思います。また、自身の行動や立ち振る舞い、人付き合いのアドバイスなど多くのことを見聞きし学ばせていただきました。今後の学生生活ではそれらの知識を有効に使っていけるようにしたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中インターンシップ研修を受け入れてくださった有限会社ゆうぼくの皆様にお礼申し上げます。大変貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

【56】 有限会社ラポール

〒791-1114

愛媛県松山市井門町 191-1

経営学部経営学科 3年次生 松本 真依

1. インターンシップ研修の目的

私はインターンシップ研修に行くにあたり目的を「自分に向く職種探し」にしました。自分がそれぞれの職種に対して抱いているイメージは果たして正しいものか分かりません。そのような相違をなくすための情報を実際に体験しながら得ていきたいと考えました。また、インターンシップでの学びを自分の力にすることを意識しました。実際にインターンシップで学んだ知識、感じたこと考えたことなど新たな経験を大切に、就職活動を行う上で大いに生かしていきたいと思います。「経営を間近で見て、企業の仕組みについて学び、自分に合う職種、業種探しを行うこと」を具体的な目的にしました。そのための目標として「一日に関わった社員やインターンシップ生全員と会話を行う」「質問や行動は一番に行う」「話は耳、目、口、手を使って聞き、帰ってから一日の振り返りを記録する」この三つを掲げ研修に向かいました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来どの職種に進むかまだ決めていません。そこでインターンシップ研修にあたり、興味のある分野からまずは絞っていかうと考えました。

まず初めに、経営を間近で見ることのできる企業です。私は経営学部にも所属しており、大学で経営に関して学んできました。また、開店当初からアルバイトしているフレンチレストランで、実際にお店が軌道に乗るまでの苦労や固定客を得るまでの努力を間近で見ました。そのため、企業の経営というものに興味を持っており、経営に関わる知識も学べる企業に行きたいと考えました。

次に、好きなことを入り口にできる企業です。何事も学ぶにあたり私は重視していることが自分自身のモチベーション管理です。なるべく身近な存在から学べる環境であることを優先しました。いくら興味があることでもいきなり難関に立ち向かってしまうとモチベーション低下に繋がります。私はパティシエールに憧れていた時期があり、お菓子は食べることも作ることも好きです。好きなものから経営や販売について学べることに企業に行きたいと考えました。

3. インターンシップ研修の内容

ラポールの研修期間は五日間です。研修のプランとしては、世話になっている両親に普段言えない気持ちをケーキとともに伝えるというものです。

一日目は二種類の自己分析を行いました。一つ目は私のヒストリーでインターン生一人ひとりが生まれてから今までの出来事を表にまとめ発表し合いました。二つ目はエゴグラムです。心理学から導き出された特徴などを学びました。ラポールには「お菓子作りは笑顔づくり、豊かさは心に橋を架ける」という経営理念があります。より働きやすい職場にしていくためにはお互いのことを理解することが必要ということで自己分析を行いました。自分の性格は幼少期の親との接し方によって生まれていることを知ると同時に、初対面の研修生たちを深く知ることができ、ぐっと距離が縮まりました。ラポールでは入社時に心理分析を行うそうです。企業を経営していくうえで従業員や上司と距離が縮まり情報発信、共有がしやすい環境からより働きやすい職場になると気づきました。

二日目は現場体験です。各店舗に配属され一日の営業を体験しました。接客などはありませんが、接客する姿を間近で見ながら簡単な販売作業を行いました。朝礼内容に「誕生日ケーキの予約」「常連様」という単語が多く出てきたことに驚きました。ラポールでは、お誕生日のお客様は毎日いるとのこと、お正月以外は毎日営業されていますが、その理由が納得できました。また、商品を手渡す際に「いつもありがとうございます」と声をかけており、その一言がお客様にとって嬉しいものだと感じました。また、お客様からの「ありがとう」という言葉は丁寧な接客でないと自然にでてくる言葉ではないと思います。従業員自身も進んでお客様とのコミュニケーションをとっており、一人に対する接客がとても丁寧でした。大学の講義でリピーターが経営する上で大切な存在だと学びましたが、これらの行動がリピーターに繋がっているのだとリアルな経営を目にした瞬間でした。

三日目は店長会の見学です。実際に各店舗の店長が集まり方針や報告、討論などの様子を見学させていただきました。店長会は月に一度行っているそうですが、約四時間にも及ぶ会議であることに驚きました。内容は私たちでは理解しにくい点もありましたが、詳細な内容、財務の数字など全てオープンであり、いつも通りの店長会を行ってくださいました。また、事前に全員が納得するまで話し合うと伺っていましたが、その言葉通り多くの意見が飛び交う、とても白熱した様子を見させていただきました。私は店長会を一番楽しみにしていました。強く感じたこととして、ラポールは一人ひとりの力が合わさってできていること、一人ひとりがラポールのことが好きで真剣に向き合い自分の意見を発言し、情報共有を進んでいることに、働くこと、働きたい環境について共感することができました。

四日目は各店舗に配属されオリジナルケーキの作成です。あらかじめ考えていたケーキのアイデアをそのまま再現させていただきました。私がケーキに込めたテーマは「成長」です。自分を花に見立て蕾から開花していく様子を描き、太陽みたいな存在ということで、親をフルーツで表現しました。キッチンに入り、計量やジェノワーズのカット、いちごサンドからナッペまで、教えていただきできることは全て体験させていただきました。計量

を行う時点で焼く十個分のジェノワーズを焼き上げましたが、その材料の量に驚きました。一度に作る量が多い分体力がいります。また、低温火傷しそうなほど冷たいお菓子を扱うことや、細かい作業が多く存在しています。改めて商品を生み出す大変さを痛感しました。その日の夜には Thanks Party を家で行います。自分が両親のために作ったケーキと手紙を添えプレゼントする内容です。しかし、私は店舗に手紙を挟んだノートを置いてきてしまいました。そのためこの日はケーキだけプレゼントし、口頭で簡単に感謝の言葉を述べるだけになってしまいました。

五日目は経営理念の勉強会、Thanks Party の報告、五日間の振り返りを行いました。経営理念の勉強会ではラポールについてまとめてある資料を読んだうえで、自分の夢について考えました。周りを支える笑顔にできる存在になることが夢の一つです。その点でラポールの経営理念にとっても共感しました。次に報告、振り返りでは各自パワーポイントを作成し、発表し合いました。それぞれケーキに込めたテーマは異なりますが、笑顔になってほしいという点では共通しており、普段伝えられないことを伝える機会を設けてくださり、とても感謝しています。すべての活動を終わると表彰式が始まり一人ひとり社長に表彰していただきました。

後日にはなりますが、手紙を渡すことができ、ありがとうという言葉一つに対して、普段聞きなれている言葉とは思えない以上の重みを感じる事が出来ました。

4. インターンシップ研修を終えて

五日間の研修を終えこれからの自分に活かすことは大きく三つあります。

一つ目はおもてなしの心を持って行動することです。どんな些細な行動でも相手を気遣う心を持っていると相手にもいいように伝わります。自分がやらなければならない行動のみ行うのではなく、相手のことを考えながら動けるようになりたいと感じました。

二つ目は二面性のない自分で行動することです。「生産性の高いチームには二面性がない」という言葉を聞いた瞬間とても印象に残りました。自分の性格や人柄を知ってもらい受け入れてもらうことで、発言しやすい環境が生まれることに身をもって経験することが出来ました。自分から心を開くことで、相手も心を開いてくれます。いつもの通りの自分で何事にも挑戦していこうと思いました。

三つ目は失敗を恐れず真剣に向き合い行動することです。ラポールでは積極的に行動し、何が良くて何がダメだったか振り返りまた行動に移しています。真剣に向き合うことで様々なアイデアが浮かんできますが、考えるだけで止まるのではなく、興味を持ったことには失敗など考えず前向きに行動していくことが大切だと感じました。

研修期間はお盆前でいつも以上に忙しい中だったと思います。そんな中受け入れてくださりありがとうございました。

【57】株式会社レオパレス 21

〒790-0001

愛媛県松山市一番町 2-5-20 藤倉ビル 1F

経済学部経済学科 3年次生 十川 朗人

1. インターンシップの目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1 つ目はコミュニケーション能力を向上させるためです。コミュニケーション能力といっても伝える力や聴く力、相手を理解する力など様々なスキルが含まれています。インターンシップ研修を通して自分に足りないものを知り、それを習得するきっかけにしたいと思いました。

2 つ目は職業選択の幅を広げるためです。私は、まだ将来就きたい職業が明確に決まっていなため、インターンシップ研修に参加することでどのような職業があるのかを学ぶきっかけにしたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先を決めた理由は2つあります。

1 つ目は、将来人と関わることが出来る仕事に就いてみたいとなんとなく考えていたからです。不動産業はお客様としっかり話し合っ相手にとってより良い物件を紹介するという印象があったので研修を受けたいと思いました。

2 つ目は社員さんがどのような姿勢で働いているのかを見てみたいと思ったからです。業界初の試みである家具・家電付き物件の紹介や10年前にシルバー事業部を展開するなど、世の中のニーズをいち早く察知して行動する株式会社レオパレス 21 の社員さんの考え方を知りたいと思いました。そしてその考え方を少しでも吸収したいと考え株式会社レオパレス 21 をインターンシップ研修先として選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月21日～8月25日（5日間）

研修場所：レオパレスセンター 松山店

日程	研修内容
8月21日	オリエンテーション、会社概要説明、 賃貸契約システム紹介、ヒューマンスキルワークショップ
8月22日	ビジネスマナー研修、電話受付体験、ビジネスワークフレーム体験

8月23日	物件見学、メール送信体験、ミステリーリサーチ（異業種） ミステリーリサーチのレポート作成
8月24日	ミステリーリサーチ（同業種）2店舗、マーケティング体験、 企画書作成、レポート作成
8月25日	企画書作成（4日目の続き）、ウェルカムボード作成、 プレゼンテーション

【1日目】

インターンシップ初日の午前中はレオパレス 21 についての座学が行われました。会社概要説明では展開されている事業や賃貸契約プランについて学ぶことができました。会社概要説明のおかげで現在力を入れているキャンペーンがあることや様々な契約プランがあることなどを知りました。午後にはヒューマンスキルワークショップが行われました。ヒューマンスキルとは対人関係能力のことでありコミュニケーション能力のようなもので、このスキルはビジネスパーソンには必要不可欠なものだと学びました。ワークでは1対1で相手に自社物件を紹介したりディスカッションをしたりしました。このワークで論理的に話を組み立てて相手に伝える難しさを痛感することができました。

【2日目】

2日目はビジネスマナーについての研修が行われました。研修では主に身だしなみ、あいさつや姿勢、言葉遣いについて学びました。中でも敬語は社会人になると当たり前のようには使えなければならないということでした。しっかりと研修をしていただきました。午後には店舗へかかってくる電話に対応させていただきました。午前に学んだ敬語をきれいに使おうとしましたがなかなか上手いきませんでした。普段からアルバイトなどで意識して使わないといけないと感じました。

【3日目】

午前中はレオパレス 21 の物件を 2 件見学させていただきました。実際に物件見学をすることでその部屋の良いポイントなどをおさえることが出来てお客様におすすめしやすいと思いました。午後にはミステリーリサーチと呼ばれるものをさせていただきました。ミステリーリサーチとは他会社の店舗に訪れてその店員さんの接客を受けてみて言葉遣いや身だしなみ、表情などの 10 項目を 5 段階で評価するというものでした。その評価をもとに良かったところと悪かったところを考えて良い接客とはなにかについて考えるのがミステリーリサーチをするうえで大事なことだとおっしゃっていました。3日目は他業種ということで旅行会社に行きました。その店舗の店員さんの接客を客観的に見ることができ、店舗の清掃が行き届いているかどうかなどの普段気にしないところまで見ることができました。

【4日目】

この日は不動産会社 2 店舗へミステリーリサーチを行いました。偽の設定で部屋探しをするのでおかしいと思われないようにするのが大変でした。3日目の旅行会社と比べると不動産会社の接客は常に笑顔だと思いました。訪れた店舗数が少なかったため、一概には

言えませんが、お客様と顔を合わせている時には笑顔でいるのが普通なのではないかと思いました。また同業会社を2店舗訪れたことでそれぞれの会社の強みや相違点を見つけることができました。

午後にはマーケティング体験ということでパワーポイントを使って企画書を作成しました。どのようにしてレオパレス21の認知度を上げるか、どの客層に対して働きかけるかを自分たちで決めて取り組みました。1日目で学んだレオパレス21の強みやミステリーリサーチなどで学んだ他社の特徴を比較して企画書を作ることができました。

【5日目】

4日目に作成した企画書を使ってプレゼンテーションを行いました。説得力を持ったプレゼンテーションをするためには具体的な数字が必要なのだと再認識させられました。社会に出るとプレゼンテーション能力は当然求められるスキルだと思うので学生のうちにゼミ活動などで鍛えておきたいと思いました。

最後の活動として週末に来店されるお客様のためにウェルカムボードの作成を行いました。気持ちよく来店できるようにと考えながら作るのが楽しかったです。

4. インターンシップ研修を終えて

今回の研修先は以前から少し興味があった業界でした。実際に働く方の姿を見て会社の雰囲気を感じ取ることができ、業務内容も知ることができました。5日間という短い期間でしたが多くのことを学び、また自分に足りないものがなにかを知ることができました。特に私には論理的思考力が足りないと感じました。コミュニケーション能力を向上させることを今回の研修の目的にもあげました。そのためにはこの論理的思考力は必要だと思うのでこれからの学生生活やアルバイトでトレーニングしていきたいと思いました。

5日間の研修を通して学校生活では出来ない貴重な経験をさせていただきました。お忙しい中インターンシップ研修に受け入れてくださったレオパレスセンター松山店の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【58】株式会社レデイ薬局

〒790-0082

愛媛県松山市南江戸4丁目3番37号

人文学部英語英米文学科 2年次生 河野 里菜

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。1つ目は、自分の長所と短所を理解することです。私はまだ自分が就きたい職業について明確に決まったものはありません。そこでまずは自分を理解するという意味で強みと弱みを知り、学生生活の中で活かせるように、また、就職活動の際の武器にできるようにしようと考えました。2つ目は社会人として「働く」ということの意味を知ることです。これを知るためには、実際に社会で働かれている方と同じ生活リズムや環境で仕事を体験することが必要だと思いました。また、学生アルバイトという立場では行える仕事も限られると思います。そのため、この研修で、社会人として実際に現場に出て働くことで、自分が今まで知らなかった社会を知り、社会人にはどんな能力が必要とされているのかを理解したいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先に「株式会社レデイ薬局」を選んだ理由は、もともと私自身が接客業に興味があったからです。その上で合同説明会に足を運んだ際に、担当の方のはきはきとした説明や明るい表情を見たり聞いたりして、とても良い印象を抱きました。他社の説明もいくつか聞きに行きましたが、暗い雰囲気のところや、笑顔が見られない会社が多くありました。しかし、レデイ薬局の担当の方はずっとニコニコしていて、楽しそうに会社の説明をしてくださり、もし自分が研修させていただくのであれば、このような方がいらっしゃる職場がいいなと思いました。また、研修の内容も非常に充実しているように感じました。POP作成やメイクアップ講座など、自分の興味を引くような内容で、とても魅力を感じました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月23日（水）～8月29日（火）5日間（土日は除く）

日程	研修場所	研修内容
8/23	レデイ薬局本社	オリエンテーション（自己紹介、グループ活動）、会社概要、マナー講座、医薬品接客体験、ラッピング講座、今日の振り返り

8/24	レデイ薬局本社	化粧品体験、店舗についての座学（レイアウト、陳列の仕組み）、店舗見学、自己学習の共有
8/25	レデイ薬局本社	座学の振り返り、バイヤーについて（棚割作成）、タッチアップ勉強会、POP作成、自己学習の共有
8/28	くすりのレデイ 古川店	納品作業（前出し、補充）、試飲会、商品タッチアップ、自己学習の共有
8/29	くすりのレデイ 古川店	納品作業（前出し、補充）、クリンリネス、期限チェック、試飲会

< 8月23日（水） >

初日の午前中はオリエンテーションで自己紹介から始まりました。その後は、レデイ薬局の現在に至るまでの歴史を勉強しました。座学やロールプレイングはグループで行うといった形でした。午後からは、社会人のマナー講座があり、身だしなみの事や、時間管理の重要性など、社会人としての基礎基本となることを学びました。医薬品接客体験では、ペアになって店員と客の役割に分かれ、接客のロールプレイングを行いました。ラッピング講座では映像と資料でラッピング方法や熨斗の事についての座学をした後、実際に商品を包む体験をしました。

< 8月24日（木） >

2日目の午前中は化粧品体験をしました。カネボウ様にも協力していただき、「知る」というキーワードのもと、機械を使って自分の肌を知る、肌色を知る、美人度アップのポイントを知る、接客は難しくないことを知る、という4つの項目に渡る自己分析を行いました。プロの方の指導の下、正しい洗顔の方法やメイクの仕方などを習い、実際にその場でメイクアップ体験をしました。午後からは、店舗研修の際に行うタッチアップ商品（日焼け止め）に関する座学を行いました。休憩をはさんだ後、店舗の仕組みと秘密の仕掛けについての講座を行いました。店舗内のレイアウトや陳列方法の確認、店頭業務用語について学びました。最後にグループ内で自己学習の共有の時間で、各々調べてきたことを発表しました。

< 8月25日（金） >

3日目の午前中は、店舗についての復習を行った後、バイヤーの仕事について学びました。売り場づくりをする上でどのようなことが重要なのかを知ることができました。午後からは、その座学で学んだことを使って、実際に自分たちで棚割りを考えました。個人で制作した後、グループに分かれ考えを共有してから全体発表を行いました。その後はPOP講習を行いました。POPの役割や種類、注意事項などを学びました。POPに向いている字体や数字の描き方を一通り練習し、実際に商品POPを作成しました。最後に4日目、5日目の店舗実習に向けて、タッチアップの練習と相互アドバイスをしました。

< 8月28日(月)～29日(火) >

4日目、5日目は実際に店舗に出での研修でした。最初に品出しから行いました。店舗内はかなり広く、品数も多かったためかなりの時間と労力を使いました。社員の方も私たちと同じ作業をしていましたが、非常に効率がよく見習うべき所が多くありました。昼休憩を挟んだ後は減った商品を補充したり、前出しをしたりしました。4日目はその作業の後、2グループに分かれて試飲会をする人と、日焼け止めの商品タッチアップをする人に分かれて各々担当の仕事を行いました。商品タッチアップは、初め練習通りにはいきませんが、グループ内での共有の時間に社員の方や研修生にコツやノウハウを聞いて、店舗実習2日目には反省を生かし、お客様にタッチアップすることができました。一方、試飲会の方は両日ともうまくいき、お客様に商品を買って頂くことができたので良かったです。5日目は午前中、前日と同じ作業を行いました。午後からは店舗のクリンリネスを行いました。棚や商品の一つ一つを丁寧にきれいにすることを心がけました。案外埃を被っている商品が多く驚きました。期限チェック作業では全ての商品を確認しなくてはいけなかったため大変な作業でしたが、社員の方の時短テクニックを見て学び、実践出来たのは良かったです。

4. インターンシップ研修を終えて

長いように思っていた5日間の研修はあっという間に終わってしまいました。研修初日から最終日まで関わって下さった社員の方々は、私たち研修生に温かく接して下さり、沢山のアドバイスや指導をしていただきました。研修の中で、担当の方が「発見を大切に」と何度もおっしゃられていた事が印象に残っています。どんなことをするにしても、ただの単純作業ではなく、多角的な視野を持って生活していくことが大切だということが分かりました。また、社会人にはタイムマネジメント力が重要視されることがわかりました。時間を守ることはもちろん、決められた時間の中で仕事をこなす事も非常に大切な事だということ学びました。又、これらのような細かい事をこなしていくことが信頼に繋がっているのだということも感じました。自分も今後の学生生活において、日々「発見」と「気付き」を大切に、実りの多いものにしようと思います。

最後になりますが、今回お忙しい中、私たちをインターンシップ生として受け入れ、貴重な経験をさせていただいた株式会社レデイ薬局の皆様から心から感謝いたします。明るい雰囲気の中、お客様思いの会社で研修ができ、とても実りのある5日間になりました。本当にお世話になりました。

【59】 特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ

〒790-0806

愛媛県松山市緑町1丁目2-1 和光会館

経済学部経済学科 3年次生 若林 沙恵

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は大きく2つあります。

1つ目は社会で働くということを理解することです。インターネット検索や書籍で知識を深めることは可能ですが、それだけでは働くことを理解したとは言えないと思います。自分の目で直接確かめ実際に行動してみることで、働くことのやりがいや楽しさはもちろん、社会の厳しさや、アルバイトと社会で働くうえでの責任感の違い等が得られると思いました。

2つ目は自分自身の可能性を新たに発見することです。私は研修を通じて、自分の弱みや強みなど、己を見つめなおし、そこから新たな可能性が見つかると考えています。また社会で働くうえで今の自分がどこまで通用する人間なのかを身をもって経験することで、将来社会人として働くための訓練にもつながると思っています。新たな可能性の発見は自身の物事に対する視野の拡大に影響を与え、職業選択の際にも大いに役立つと考えています。以上の2つが私のインターンシップ研修の目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

私が特定非営利活動法人ワークライフ・コラボさんを研修先として選んだ理由は2つあります。1つ目は松山大学内で開催されている社会人セミナーという講演会でワークライフ・コラボさんのお話を聴いて、その活動に興味を持ったからです。そして今回のインターンシップの研修先として名前が挙がっており、ぜひ経験してみたいと思いました。

2つ目は企業さんと関わりを持つことができるからです。研修業務の中に女性の継続就業に取り組む企業さんに取材を行う活動があると記されており、就職活動前に企業さんと接することができるという貴重な体験に惹かれ選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月21日～9月1日（土日を除く計10日間）

日程	研修内容
8月21日(月)	ワークライフ・コラボについての説明 名刺交換の練習

8月22日(火)	『まちのがっこう』企画
8月23日(水)	『まちのがっこう』愛媛トヨタさんの授業見学
8月24日(木)	株式会社パルソフトウェアサービス 取材
8月25日(金)	株式会社中川(はじめて広場) 取材 株式会社あわしま堂 取材
8月28日(月)	株式会社 クリエアナブキ 取材
8月29日(火)	『まちのがっこう』ワーコラインターンシップ生による授業
8月30日(水)	取材記事 作成
8月31日(木)	法人企業の交流勉強会 参加
9月1日(金)	最終発表会

【まちのがっこう】

まちのがっこうとは、夏休み中の小学1年生～6年生の子どもたちのために、「担任（ワーコラ正会員・賛助会員）」「副担任（企業の若手人財・大学生・地域の方）」「教科担当（地域のNPO法人、ワーコラ法人会員等）」を設け、まちの先生として子どもたちに体験学習の場、社会人基礎力を身に付ける場所の提供を与えてあげるものです。

私たちは8月29日の授業を担当し、インターンシップ生4人と研修担当者の方で意見を出し合って『大切な人に贈る写真立てとメッセージカードをつくろう』という企画になりました。企画の数日後に当初予定していた人数より大幅に増えたため企画を練り直したり、時間配分を検討してみたりを行いました。本番では子どもたちの作業ペースに合わせて進行やサポートができ、子どもたちも楽しかったと言っていたので良かったです。

【企業への取材及び記事作成】

今回はワークライフ・コラボの法人企業4社の取材にお伺いしました。

取材のための事前調査では企業のホームページはもちろん、SNSを参考にしながら質問を考えました。私が記事を担当した株式会社パルソフトウェアサービスのHさんは「社員にとって働きやすい環境をつくること」がやりがいとおっしゃっており、在宅勤務での評価基準や、有給休暇の計画的な取得など、「多様な社員の働きやすさ」を目指しているそうで、会社をより良くしていきたいという強い思いが伝わりました。

記事を書く際、企業のイメージや信頼につながるから責任が伴うということを教えていただき、表現の仕方や取材をきいていない人たちにも伝わるようにするために、研修担当者の方にアドバイスをもらい、何度も何度も記事を書き直しました。

【最終発表会】

『インターンシップで学んだこと』というテーマで10分間のプレゼンテーションを行いました。発表日の午前中にプレゼンのパワーポイントをつくり、午後に発表を行うという形のため、短時間で伝えたいことをまとめる必要があり苦労しました。発表原稿を見ないでプレゼンをし、詰まってしまう部分もありましたが、良い練習となりました。企業所の方々にプレゼンの評価とアドバイスをいただいたので、今後の発表に活かしていきたいで

す。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップ研修で、社会で働くことと、自分自身の可能性を発見することの2つの目標を達成することができました。私は社会で働くことに対しての「責任感」を感じました。取材記事は企業のイメージを左右し、信頼へとつながります。責任感を持って仕事に取り組むこと、それは社会人となり他の企業との関わりが増える中で、企業との信頼に関わる大切なことであると思いました。

自分自身の新たな可能性の発見としては、今回のインターンシップ研修で一番印象に残っている「価値観の違いを認める」ということです。現代の日本では共働きの考え方が主流であり、私自身もそれが良い、それが当然だと思っていました。しかし、中には女性は仕事をしないで家庭に就くという考え方の人もいます。今までの私はその意見に否定的になっていました。ですが価値観の違いはあるものだということを改めて理解することで、否定的になるのではなく、そういう考えもあるということを受け入れる姿勢になることができました。研修先の方が、価値観の違いを受け入れることは新入社員で入社した際に会社の上司や先輩に対して重要なことだとおっしゃっており、今後において必要なことを学ばせてもらったなと思いました。

このようにインターンシップ研修の10日間は1日1日が濃く、インプットが多いものでした。この期間で学んだことをアウトプットしていきつつ、将来に活かしていきます。

本当に短い間でしたがありがとうございました。